

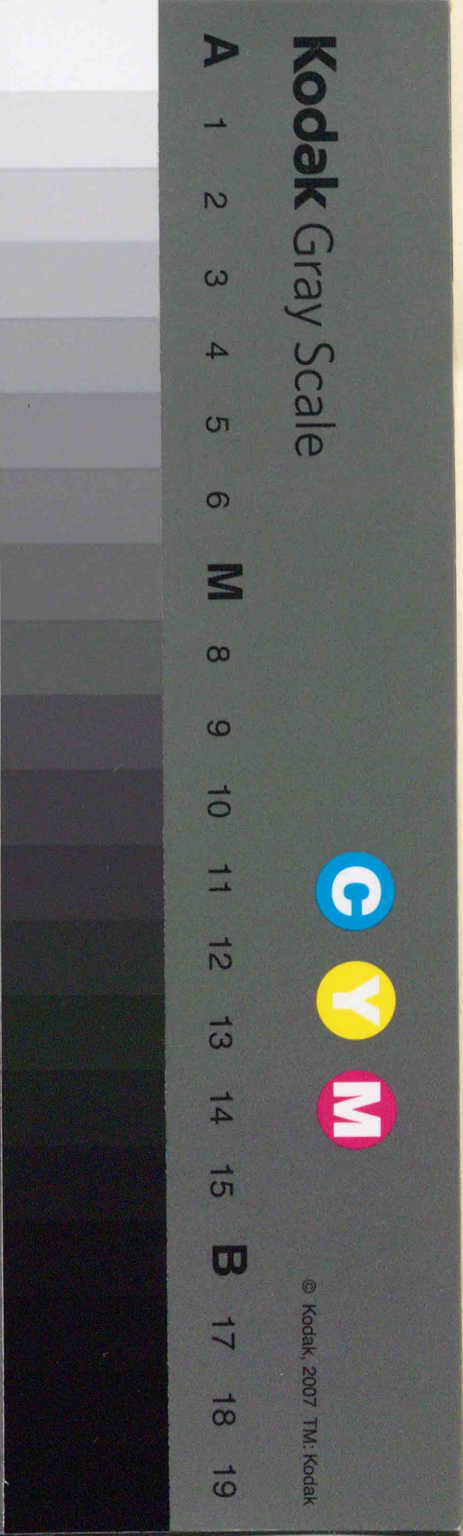
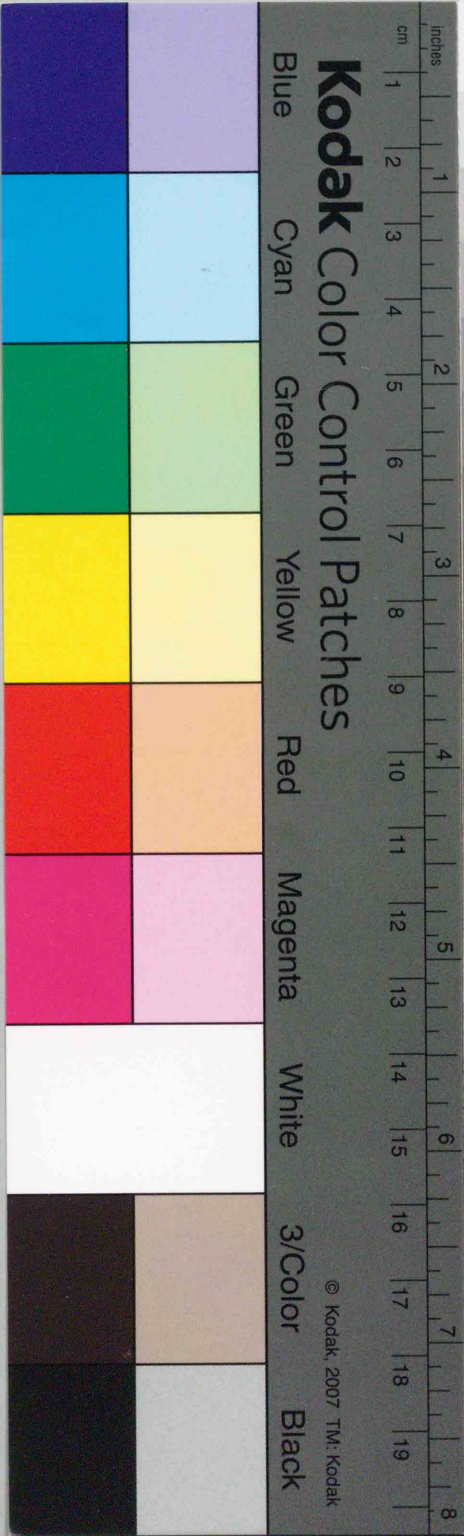
等中子女  
理地國外

版訂改

著爾啓中田

社會式株書科教校學等中

教科書文庫
4
293
42-1943
2000034391



42843

教科書文庫

4
293
42-1943
20000 34391





日一十二月八年八十和昭  
濟定檢省部文  
用科理地校學女等高

教科書文庫  
4  
293  
42-1943  
2000034391

資 料 室

375.9  
T814

等 中 子 女  
理 地 國 外  
版 訂 改

授教學大科理文京東  
授教校學範師等高京東  
著爾啓中田

広島大学図書  
2000034391  

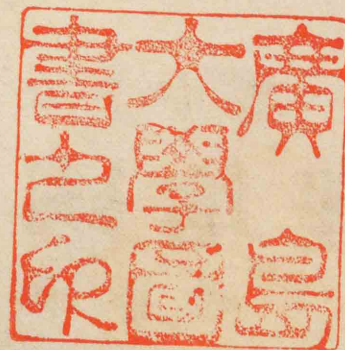




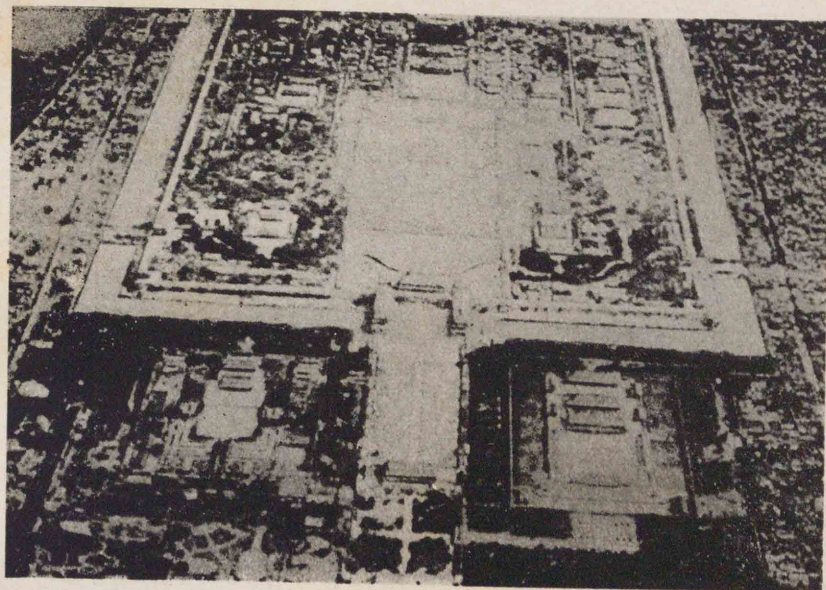

忠靈塔



奉天の城内買物街







北京(舊宮城附近)



正陽門の朝



女子外國地理 改訂版 訂正事項 (昭和一八年五月)

(一) 大東亞戰爭の勃發に伴ひ、本書中地名の呼稱を次の通り訂正する。

新

舊

新

舊

マライ

マレー

昭南

シンガポール

東印度諸島

蘭領東印度

ジャワ島

ジャバ島

ジャカルタ

バタヴィヤ

南ボルネオ

蘭領ボルネオ

北ボルネオ

英領ボルネオ

(二) 四四頁一〇行―四五頁二行の記事を左の如く訂正する。

(3) 香港 廣東灣口の一小島でもと英國の東洋に於ける商業・軍事上の根據地であつた

が、大東亞戰爭の開戦後いち早く我が軍が占領し軍政をしいてゐる。對岸の九龍半島との間は自然の良港をなし、従来自由港として伸繼貿易が盛に行はれてゐたが、將來は大東亞共榮圈内に於ける物資交流の中心地として榮えるであらう。

(三) 六三頁七行の「英領マレー」を「マライ」に訂正する。

(四) 六七頁一二行―一三行

マライ もとは英國の植民地で、行政上海峽植民地・マレー聯邦・マレー非聯邦に分れてゐる



たが現在は我が軍が占領して、一律に軍政をしいてゐる。

〔五〕 六九頁二行―六行

昭南ピナンは各一小島上にあり、共に位置が優秀なために發達し、前者は東亞・印度・濠洲に至る三主要航路の焦點に當り、曾ては英國の海軍根據地となり、仲繼貿易が盛に行はれ、又ロンドンとの間には航空路が開けてゐた。昭南は香港と共に政治・經濟・軍事上の英國の東亞に於ける前進基地であつた。

〔六〕 六九頁九行―一〇行

曾て王國であつたが、印度の一州となり、近時分離して英國の直轄植民地となつてゐた。現在は我が軍政下に獨立國としての準備を進めてゐる。

〔七〕 七〇頁六行―九行

**位置區分**

外南洋の南部を占め、臺灣の南に當り、大部分我が占領下にある。主なものは、フリピン諸島と東印度諸島に屬するジャワ島スマトラ島ボルネオ島セレベス島モルッカ諸島等である。

〔八〕 七一頁九行―一二行

もとは米領であつたが、現在は我が軍政下にある。

〔九〕 七二頁七行―九行

首府マニラはルソン島の中心港市で、附近のカヴィテは米海軍の重要な根據地であつた。

〔一〇〕 七二頁一三行―一四行

東印度諸島 大部分はもと蘭領であつたが、現在は我が軍政下にある。面積は一九〇萬方料で、我が國の三倍に近い。

〔一一〕 七三頁一―一行の「英領マレー」を「マライ」に訂正する。

〔一二〕 七五頁三行―四行の「和蘭本國とバタヴァとの間には定期航空路がある。」を削除する。

〔一三〕 七六頁六行―九行

泰國以外は、もとは悉く歐米の植民地で、政治的・經濟的勢力圏内にあつた。そして歐米人は農業投資植民地として農園農業を行ひ、輸出向原料及食糧品を生産してゐたが、これ等は我が國の夙になすべきことであつた。

〔一四〕 七六頁一三行―七七頁一行

歐米諸國人は自國船による航路と航空路とを開設して經濟的關係の維持發展に努めてゐたが、これも我が國の大いに進出すべき所である。

〔一五〕 七七頁六行に「蘭印」とあるを「舊蘭印」に、又七行に「英領」とあるを「舊英領」に訂正する。

〔一六〕 九八頁一三行―一四行の「蘭領東印度」を削除する。



〔二七〕 九九頁一―二行の「イギリスは……所有する」を削除する。

〔二八〕 一〇九頁一四行―一〇頁一行

ミクロネシヤ グラム島はもと米領であつたが、現在は我が軍が占領してゐる。舊英領のナウル島オーシャン島は、今は我が軍の占領下であり、共に燐礦の産地として知られる。

〔二九〕 一三九頁一行―三行

昔日に於ける海外發展の餘勢で、本國に六〇倍の領地をもつてゐた。

〔三〇〕 一三九頁六行

然し近年は米英に追隨して、我が國の當然の發展に對して種々の妨害を加へ、大東亞戰爭の勃發するや、遂に我が一敵國となつたため、東印度諸島は我が軍の占領する所となつた。

〔三一〕 二〇〇頁一二行の「グラム・フィリッピン」を削除する。

## 緒 言

本書は高等女學校新教授要目に準據して編纂し、拙著「女子日本地理改訂版」及「女子地理概説改訂版」と姉妹篇をなす。編纂に當つては世界各地の自然及人類生活の情態を理會せしめ、兩者の相互關係を明かにし、特に人類が自然を利用開發して各種の文化を形成せる所以を知らしめ、更に我が國の情勢を基礎とし、諸外國との比較によりて我が國の特性及世界に於ける地位を正しく把握せしめ、以て國民精神を涵養し國家の興隆と民族の發展とに資することに力め、新教授要目の趣旨に合致せしめんとを期した。

編纂及改訂に際して特に留意した點を擧ぐれば左の如くである。

一、各大陸の説述の順序は我が國の延長である東亞より始め、その外縁をなすアジア及オセアニヤを述べ、次にヨーロッパとその外縁をなすアフリカに及び、最後に北米とその外縁をなす南米に終ることにした。かく世界を地理的三大ブロック



に分ちて述べ、更に兩極地方・大西洋及太平洋を附加して結んだ。

一、東亞に關しては詳細を極め本書の半を當て、その外も我が國に關係の密接な地域及我が國策の参考に資すべき國については多くの紙數を割いた。

一、我が國に關する海外の重要資源及我が商品の取引状態については特に留意してこれを詳かに述べた。

一、各大陸を區分するには各國は國として獨立性を認め一區として取扱つてあるが、内容は充分地理區的説述に従ふことにした。

一、在外邦人の活動情況については能ふ限り詳細にこれを記述し、海外發展の精神の涵養に資した。

一、各大陸を説くに當つては先づ地勢氣候植物帶等の自然總説をなし、各地方誌を終つた後に人文を總説し、各地方別に習得した知識の相互の關係を系統づける點に重きを置き、すべて歸納的に説述した。

一、各地方を説くに當つては、最初に地勢氣候等の自然を説き、その際それ／＼地形區氣候區的に説述し、人文及處誌を述べる時に到つて、人文とそれ等との關係を學習者に發見せしめ、歸納的に統括した。

一、記述は單に羅列的にせず、能ふ限り説明的にし、問題は地理的意義豊富なものと

國民常識として重要なものを選択した。

一、各地の標式的の現象は重要視して殊に多くの紙數を割いた。

一、カットの選擇に際して地形圖・氣候圖・生産分布圖・交通運輸圖・人種分布圖・航空寫眞・歴史的沿革圖及繪畫等を豊富に挿入したのは學習者に地理的に之等を考察させて、理法を發見させ、これによつて地理的讀圖力を養成し、將來の應用を期待したためである。

一、統計は出来るだけ地圖化して地理的表現につとめた。

一、外國地圖に記載してある各大陸・主要國及重要地域の地形圖・氣候圖・植物分布圖・土地分類圖・人種分布圖・宗教分布圖・交通圖・人口分布圖・人口密度圖は重複を避けるため本書より割愛し、同圖により考察させることにした。

昭和十五年十月

著 者 識



女子中等 外國地理 改訂版

目次

第一篇	アジヤ(亞細亞)	一
序說	.....	一
第一章	アジヤの自然總說	一
第二章	東亞	三
第一節	滿洲國	三
第二節	支那(中華民國)	四
第三節	南洋	四
一	印度支那半島	四
二	マレー諸島	七
第四節	極東シベリヤ	七
第三章	西部シベリヤ及中亞	八



第四章	印度	六六
第五章	西亞地方	六八
	一 北部高原(イラン・トルコ)	六九
	二 メソポタミヤ(イラク)	七四
	三 アラビヤ半島	七四
第六章	アジヤの人文總説	七五
第二篇	オセアニヤ(大洋洲)	一〇〇
第一章	オーストララシヤ	一〇〇
	一 オーストラリア(濠洲)	一〇〇
	二 ニュージールランド(新西蘭)	一〇七
第二章	太平洋諸島	一〇八
第三篇	ヨーロッパ(歐羅巴)	一二三
序	説	一二二
第一章	ヨーロッパの自然總説	一二三

第二章	東部ヨーロッパ(東歐)	一二六
	一 ソヴィエト聯邦(ロシア)	一二六
	二 フィンランド(芬蘭)	一二三
第三章	北部ヨーロッパ(北歐)	一二三
	一 スカンヂナヴィヤ(スウェーデン・ノルウェー)	一二三
	二 デンマルク(丁抹)附アイスランド(氷州)	一二五
第四章	中央ヨーロッパ(中歐)	一二六
	一 ポーランド(波蘭)	一二六
	二 ドイツ(獨逸)	一二七
	三 ハンガリヤ(洪牙利)	一三四
	四 スイス(瑞西)	一三五
	五 オランダ(和蘭)	一三七
	六 ベルギー(白耳義)	一三九
第五章	西部ヨーロッパ(西歐)	一四一
	一 フランス(佛蘭西)	一四一



二	イギリス(英吉利).....	一四
第六章	南部ヨーロッパ(南歐)(地中海地方).....	一五
一	イベリヤ半島(スペイン・ポルトガル).....	一五
二	イタリヤ(伊太利).....	一五
三	バルカン半島(ユーゴスラヴィヤ・ルーマニア・ブルガリヤ・ギリシャ).....	一六
第七章	ヨーロッパの人文總説.....	一六
第四篇	アフリカ(アフリカ).....	一七
序 説	.....	一七
第一章	アフリカの自然總説.....	一七
第二章	北部アフリカ.....	一七
一	バルバリ諸國.....	一七
二	エジプト(埃及).....	一七
三	サハラ.....	一七
第三章	中部アフリカ.....	一七

第四章	東部アフリカ.....	一七
第五章	南部アフリカ(南アフリカ聯邦).....	一七
第六章	アフリカの人文總説.....	一八
第五篇	北アメリカ(北亞米利加・北米).....	一八
序 説	.....	一八
第一章	北アメリカの自然總説.....	一八
第二章	カナダ(加奈陀).....	一八
第三章	北米合衆國.....	一八
第四章	メキシコ及中央アメリカ.....	一九
第五章	西印度諸島.....	一九
第六章	北アメリカの人文總説.....	一九
第六篇	南アメリカ(南米).....	一九
序 説	.....	一九



第一章	南アメリカの自然總説	二〇七
第二章	東部南アメリカ(ブラジル)	二〇八
第三章	南部南アメリカ(アルゼンチン)	二一一
第四章	西部南アメリカ(チリ・ペルー)	二二三
第五章	南アメリカの人文總説	二三五
第七篇	兩極地方	二二八
第八篇	大西洋と太平洋	三三〇

女子中等  
外國地理 改訂版

第一篇 アジヤ(亞細亞)

序 説

位置・面積區分

アジヤ大陸は北半球にあつて、舊大陸の東半を占め、西半のヨーロッパと共にユーラシヤ大陸と呼ばれ、我が國と最も關係の深い大陸である。面積は約四、四〇〇萬方呎で、六大洲中最大で世界陸地の三分の一を占める。政治的には數多の國家及植民地に分れてゐるが、地理的には東亞・西部シベリヤ・中亞・印度・西亞の五區となる。

第一章 アジヤの自然總説

地勢・海洋

世界の屋根といはれるパミル高原を軸として、東西に高



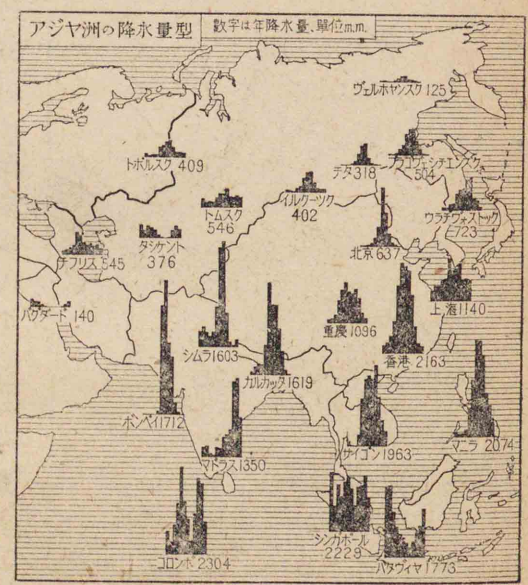
原とこれを挟む山脈とが展開し、ヒマラヤ山脈・印度支那山脈・マレー諸島と續き、ヒンヅークシ山脈及スリーマン山脈はヨーロッパの山脈に連絡がある。大陸の東縁には數多の弓狀列島が相連り、縁海には陸棚廣く、外側には海溝が列び、火山脈は各列島に沿うて走る。中央高地を出る諸大河は肥沃な河谷平野と沿岸低地とを形成する。印度アラビヤ兩半島は高原狀地塊である。かくてこの大陸を地形的に大別すると、東部邊緣地方・中央高地・西部高原・西部及北部平原・南部半島の五區となる。太平洋には日本海流・千島海流・印度洋には季節風海流があり、北極海は結氷期が長い。

**氣候** 夏はイラン高原アラビヤ半島が著しく高温となり、冬はシベリヤの東北部を中心として最低温部が生ずる。一般に内陸が大陸性で、海岸地方が海洋性である。夏は大陸の中央が低氣壓となり、季節風が起り、我が國では南東風、印度では南西風が吹く。冬はその反對に大陸の中央が高氣壓となり、冬の季節風が卓越し、我が國では北西風、印度では北東

地形圖・氣候圖・植物帶圖は附圖参照

風が強く吹く。従つて夏は海岸に雨多く、冬はマレー諸島・裏日本等を除いては一般に乾燥する。而して一年を通じて、季節風帯は濕潤多雨、内陸は乾燥寡雨地帯となる。

**植物帶** 高温多濕の南部には熱帯林繁茂し、低温寡雨の北部には純寒帯針葉樹林が東西に廣く横たはる。寒暑の較差が大で、降水量の少い内陸は草原又は沙漠を、寒帯の最北部は凍土帶をなす。



第二章 東 亞  
第一節 滿洲國

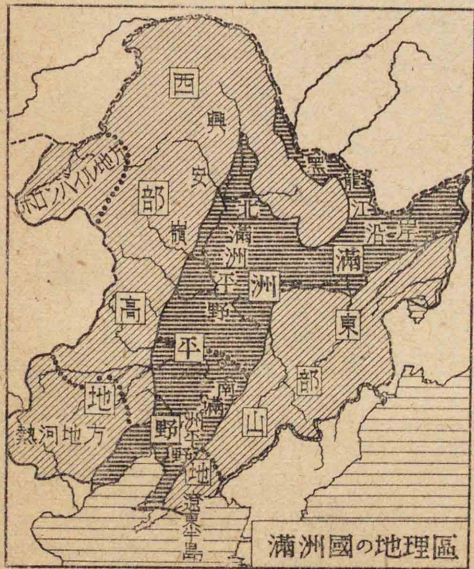


**位置・面積・區分**

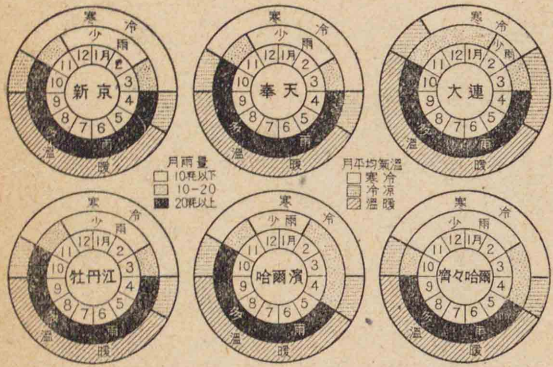
滿洲國は朝鮮の北に接し、東と北とはソ聯領シベリヤに、西は蒙古に、南は支那本部に境し、我が國の接壤地帯として極めて重要な位置を占める。緯度上からは略我が北海道樺太等と同位置にある。面積は約一三〇萬方呎で我が國の約二倍に當る。行政上、奉天、四平、吉林、濱江、龍江、北安、黑河、三江、東安、牡丹江、間島、通化、安東、錦州、熱河と興安四省（東西南北）の一九省に分れるが、地理的には、東部山地、南滿洲平野、北滿洲平野及西部高地の四區となる。

**地勢・氣候**

西部に大興安嶺があり、東方に向つて急斜し、北部には小興安嶺、東部には長白山脈が走り、その西南部は丘陵性の遼東半島をなして突出し、黄海と渤海灣とを分つてゐる。これ等の高地に圍まれて内部には滿洲の大平原がある。南滿洲平野は黃

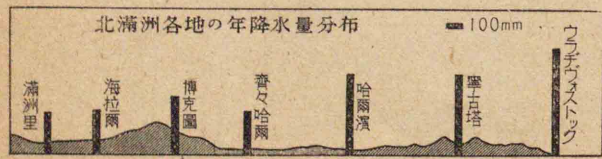


滿洲國各地の氣候

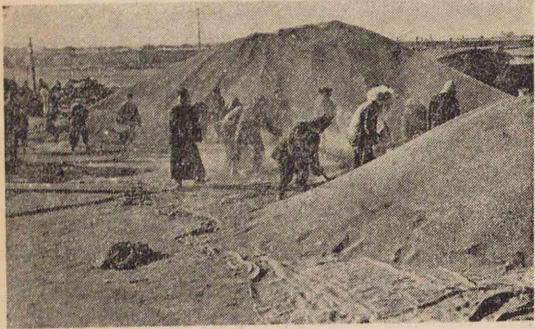


土で、北滿洲平野は黒土で被はれ、北滿は松花江、嫩江、牡丹江等の流域で、南滿は遼河の流域に屬し、南北の二斜面に分たれるが、地形的には著しい分水界は認められない。西部高地は大興安嶺の西に呼倫貝爾高原、南に熱河高地がある。東部國境は烏蘇里江、北部國境は黑龍江によつてソ聯と境する。東部山地の長白山脈は滿洲最高の白頭山(二、七七四米)

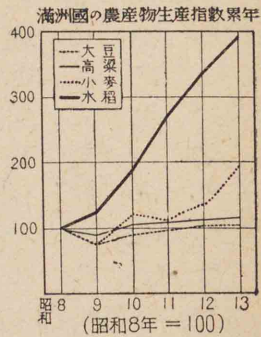
を中心として滿鮮水系の主要源泉をなし、鴨綠江、豆滿江、松花江、烏蘇里江何れも源をこゝに發してゐる。氣候は大陸性で寒暑の差著しく、殊に寒氣が嚴しいが、南するに従ひ緩和される。雨量は一般に少いが、東南部に多く、西北部に至るに従ひ少く、寡雨地は沙漠草原をなしてゐる。雨季は夏季數ヶ月で、年の三分



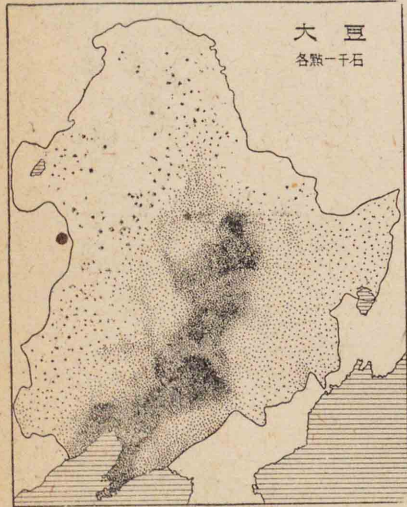




大豆の山



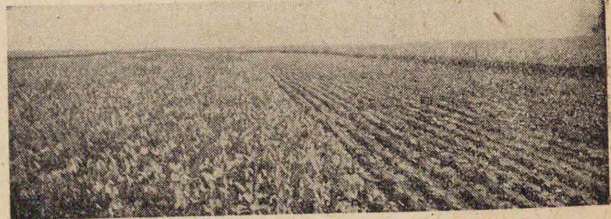
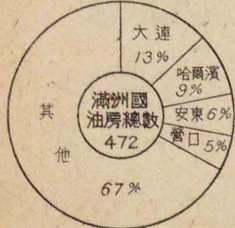
の來在るす造製



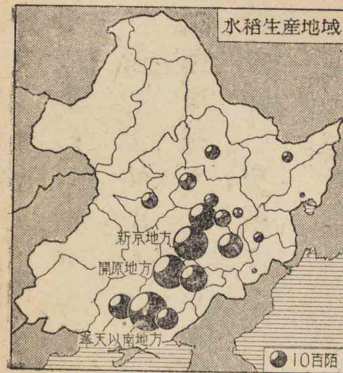
は北滿に多い。大豆は日本の生  
 絲に匹敵する滿洲農民の重  
 要作物である。大豆粕、豆油を



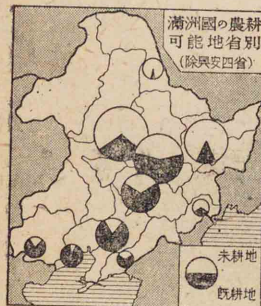
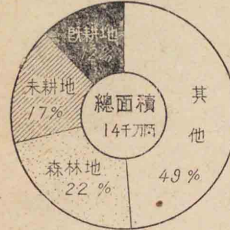
滿洲國油房數百分率



奉天附近の大豆と高粱畑



滿洲國の土地利用

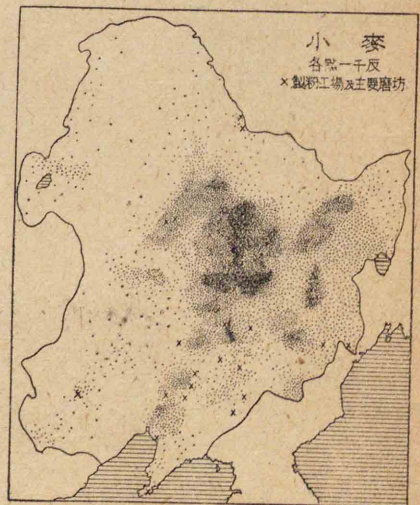
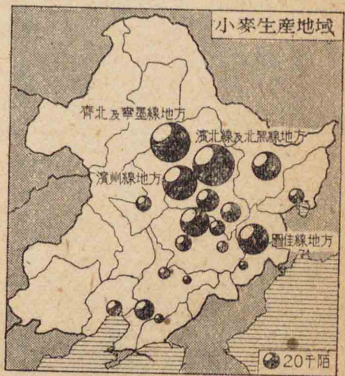


粟、高粱、玉蜀黍等も多量に産出し、何れも海外へ輸出してゐる。大豆は世界産額の六割を占め、質は南滿のものが勝れ、豊

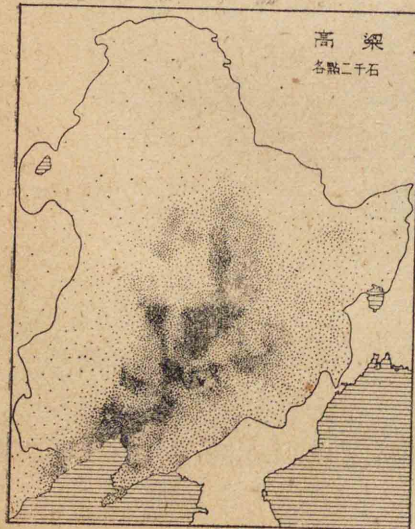
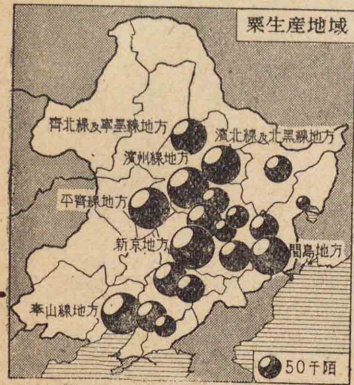
の刺戟は強くない。冬季は概して烈風がないので温度の割合に皮膚の  
 一は快晴がつゞく。冬季は概して烈風がないので温度の割合に皮膚  
 相互依存の經濟關係に重點を置いて著しく成績を挙げつゝある。可耕  
 地は總面積の約三割、人口の過半數は農民、輸出總額の八割までは農産物  
 であるからこの國は農業國である。水稻作は朝鮮人によつて始められ、  
 今は高緯度の北滿にまで及び、内地人もこれに従事してゐるが、一般に寡  
 雨のため乾燥農業即ち畑作に適し、大豆、小麦等の世界的優良作物を産し、  
 粟、高粱、玉蜀黍等も多量に産出し、何れも海外へ輸



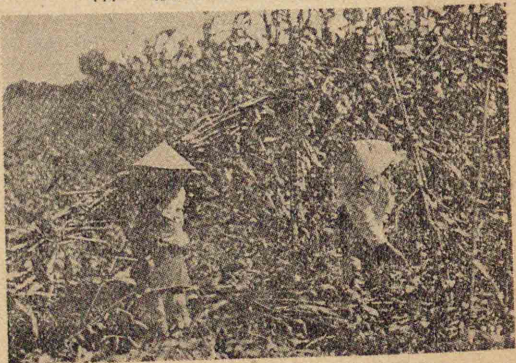
油房は各地にあるが、大連の如き新式のもの、が哈爾濱、安東、營口等に興つた。豆粕は我が内地へ、豆油及大豆はドイツその他の歐洲諸國へ輸出される。小麦は南滿の大豆と同じく北滿の重要作物で、寡雨と黒土に適し、哈爾濱その他に於て製粉され、我が内地にも輸出されるが、未だ國內消費に不足する程度である。



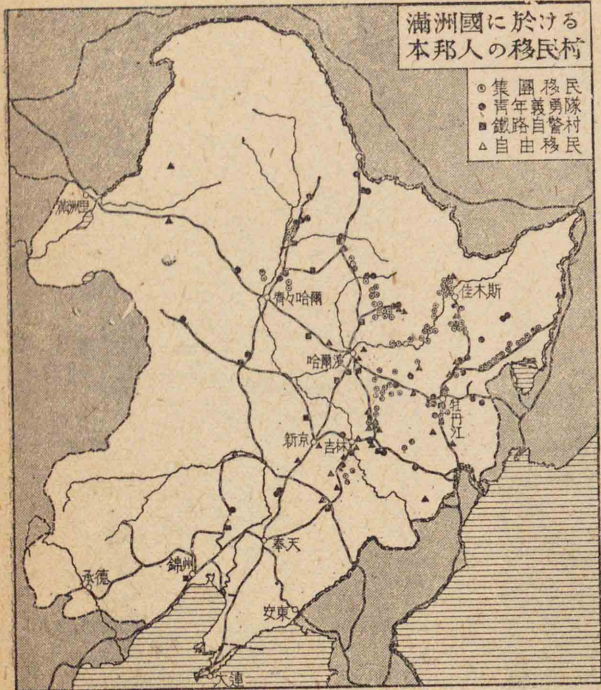
滿洲國 8



粟は朝鮮へ仕向けて、米を我が内地へ移出する朝鮮人の食料に當ててゐる。高粱は農家の主食物で、高粱酒の原料ともなり、玉蜀黍と共に常用食料である。棉花は北緯四三度半以南に栽培され、産額は自給程度であるが、我が内地への輸出を目標として増産を急ぎつゝある。苹果は氣候上關東州の隣接地域が適地で、滿洲國に於ける最良の果樹作である。北滿洲平野には可耕未墾地が多く、我が

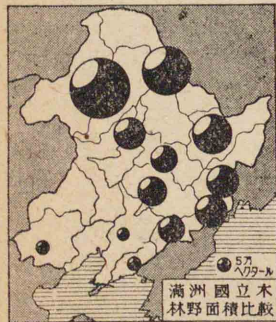
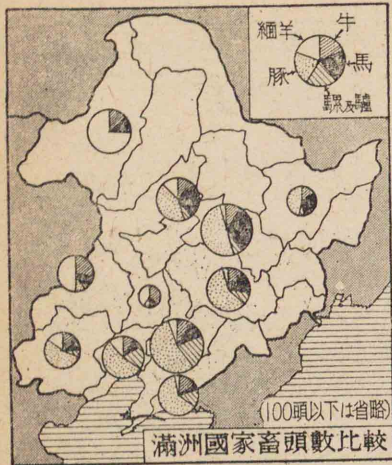


高粱畑



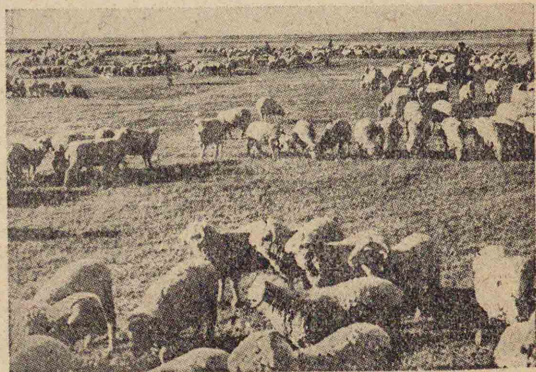
野には可耕未墾地が多く、我が





類似し、北朝鮮のものと同種で、紅松が

内地向パルプ原料として有望視されてゐる。大小興安嶺の森林は國內消費、長白山脈のものは我が内地の需要向として好地位



羊の群

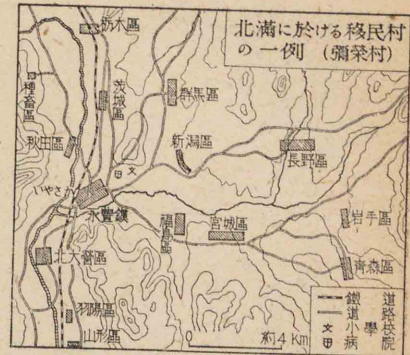
計畫的に入植せしめつゝある。千振兩村は第一二次の武装移民團の村である。滿洲特産の柞蠶絲は遼東半島を主産地とする。畜産業は滿洲の豚、蒙古の羊、馬等が有名であつ



北滿開拓民

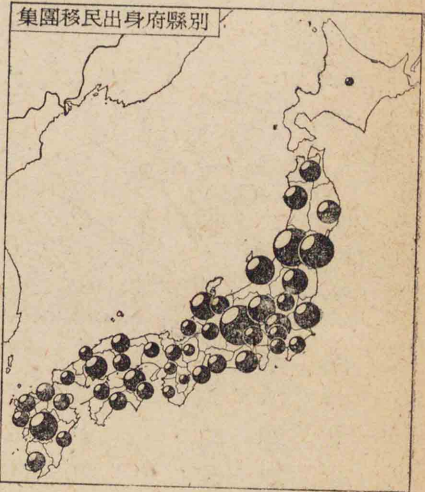


我が開拓民の製繩作業



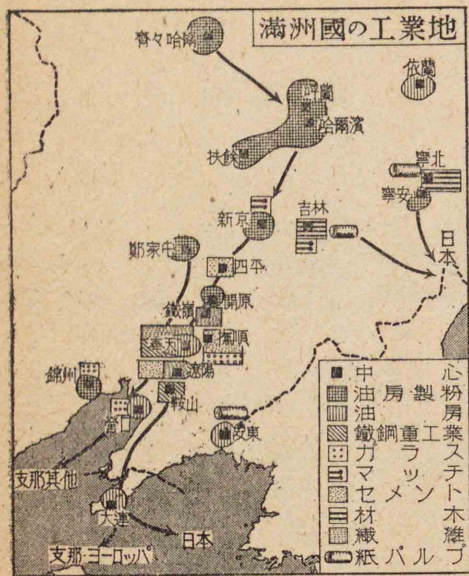
計畫的に入植せしめつゝある。

佳木斯附近の彌榮

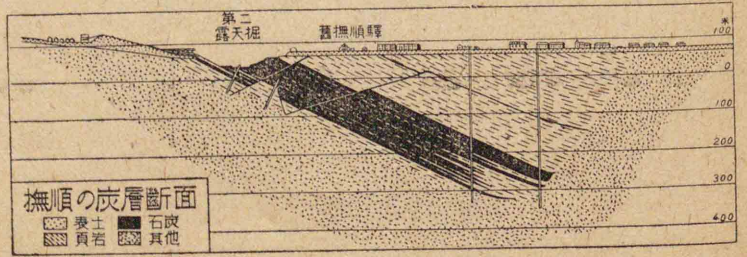


内地の耕地面積の約三倍に當るほどである。日滿兩國は國策として産業國防のため内地人の開拓民及青少年義勇隊を年々



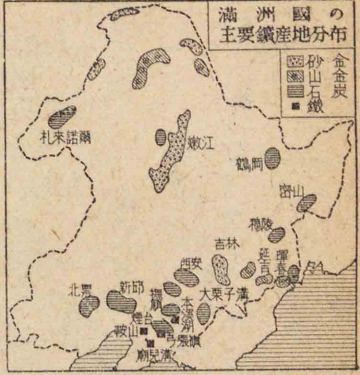
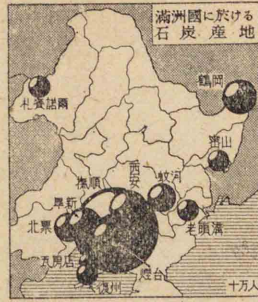


この外東邊道の通化附近にも良質の鐵鑛と石炭とが發見され通化を中心とする將來の重工業が期待されてゐる。金山、金鑛床も所々にあり、大石橋附近のマグネサイト(菱苦土鑛)は世界的の大鑛區と稱せられ、耐火煉瓦等の原料とし

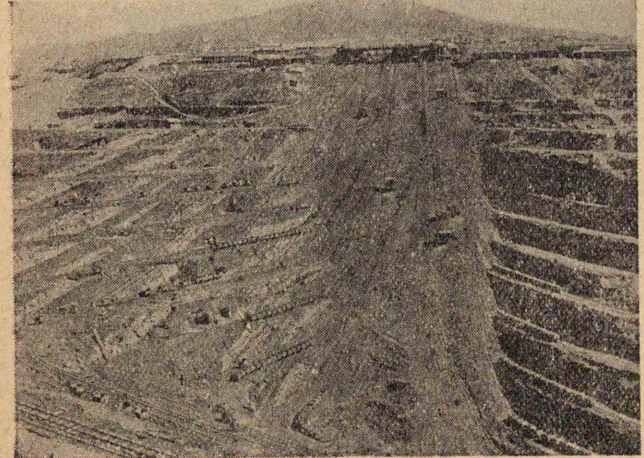


本溪湖新邱(阜新炭田)等で、中でも撫順、阜新兩炭田は埋藏量多く、且つ採掘も容易で、共に露天掘を行ひ、撫順炭坑の出炭量は全滿の七割を占め、東洋第一である。鐵鑛は主に鞍山弓張嶺、廟兒溝等で採掘され、その中、鞍山弓張嶺の鐵鑛は鞍山の昭和製鋼所で、廟兒溝のものは本溪湖の工場で精鍊される。この外東邊道の通化附近にも良質の

に重要で、埋藏量が豊富である。石炭は大豆と並ぶ重要物産で、埋藏量は莫大で質も良く、炭坑の主なものには南滿では撫順、煙臺、國の一つで、石炭鐵が殊滿洲は世界の鑛産資源輸入が期待されてゐる。鹽法で造られ、將來我が内地へ工業鹽としての



にある。鴨綠江方面(安東、豆滿江方面(圖們、松花江方面(吉林、牡丹江方面(敦化)等に伐り出されてゐるが、パルプ工業も始まつてゐる。滿洲國鹽は大石州鹽の産地に續く沿岸一帯に天日製鹽法で造られ、將來我が内地へ工業鹽としての輸入が期待されてゐる。滿洲は世界の鑛産資源國の一つで、石炭鐵が殊に重要で、埋藏量が豊富である。石炭は大豆と並ぶ重要物産で、埋藏量は莫大で質も良く、炭坑の主なものには南滿では撫順、煙臺、



撫順の露天掘

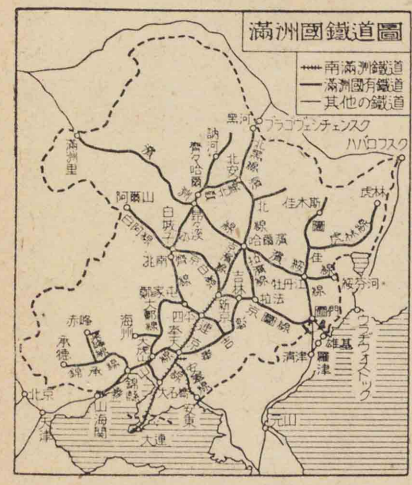


て役立つ。石油製造原料としての油母頁岩オイルシェールも亦頗る豊富で、撫順炭田の表面は全部この岩石で蔽はれ、同地に製油工場がある。石炭を液化して石油を製造する工場も撫順錦州四平街に設けられた。最近阜新に油井が發掘された。動力擴充の必要上、火力發電の外、鴨綠江松花江鏡泊湖等に大規模な水力發電所を建設しつゝある。前記の製鐵製鋼、油母頁岩による製油、石炭液化、豆粕、豆油、麥粉、パルプの製造等と共に、航空機奉天自動車同工作機械、紡績、硫酸アンモニヤ、硫酸等の製造工業が滿洲の東亞ブロッ

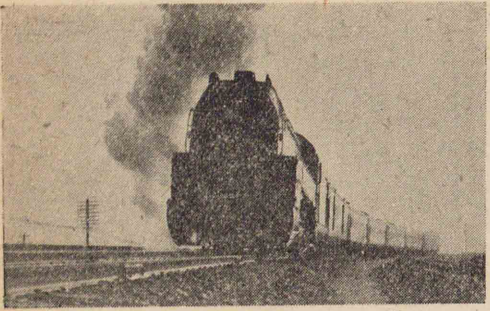
ク經濟に寄與する新興工業である。

**交通**

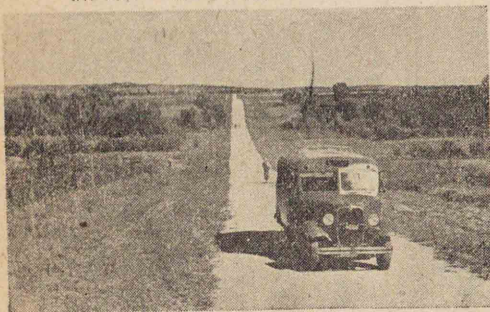
鐵道は露國の經營に端を發し、日露戰役の結果、南滿洲の鐵道は我が南滿洲鐵道會社(滿鐵)の領有に歸し、建國後は國有鐵道(國鐵)もその經營を委任された。總延長は日本の約三分の一に當り、その半は建國以後の建設にかゝる。滿鐵の連京線



は國鐵の京濱濱洲濱綏三線と丁字形に連絡し、朝鮮に至る安奉線と共に歐亞連絡の大幹線の一部をなしてゐる。我が日本海方面と首府新京を結ぶ近道である京圖線は、濱洲濱綏兩線に並行して東西に横斷し、京濱連京兩線の並行線として東に拉濱、西に平齊の兩線があつて南北に縦貫してゐる。別に北支に連絡する奉山線と、それより分岐する錦承線とがあり、古北口を経て北京に通ずる線もある。北滿開發のためには齊北濱北



滿鐵の超特急あじや號

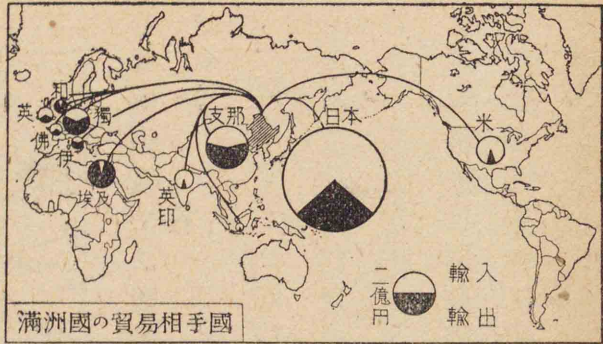


滿鐵總局のバス

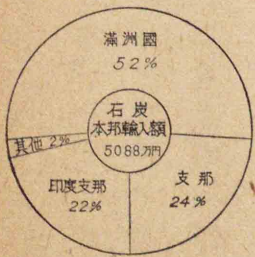
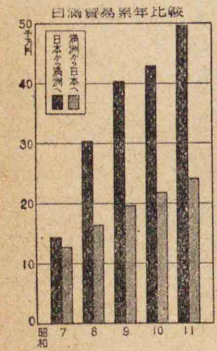
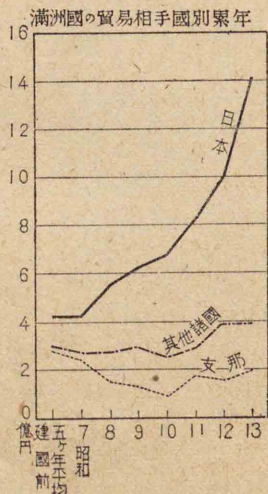
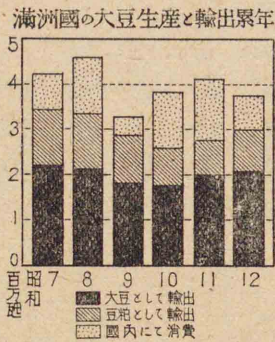
北黒の三線と北鮮へ直接連絡する圖佳線とがあつてその使命を果してゐる。渤海には營口の外に壺盧島、黄海には安東の外に大東溝を築造中であるが、日滿一體の關係から大連、羅津、雄基、清津の利用が大である。大連と壺盧島は不凍港として



これ等の工産品が輸入総額の過半を占めてゐる。建國以來輸入超過が著しくなつたのは、新建築事業に伴ふ建築材料及機械類の輸入が多



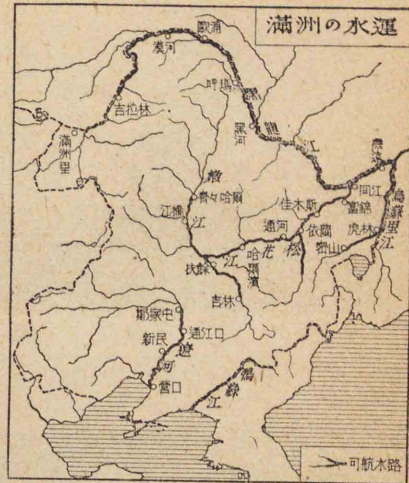
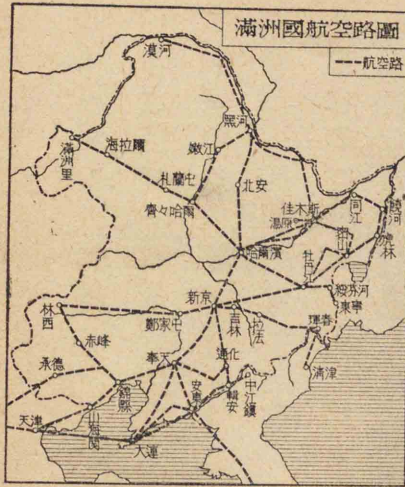
するものが輸出総額の半を占め、輸入品は鐵鋼・機械類・綿織物・車輛類・スフ類・小麥粉等で、



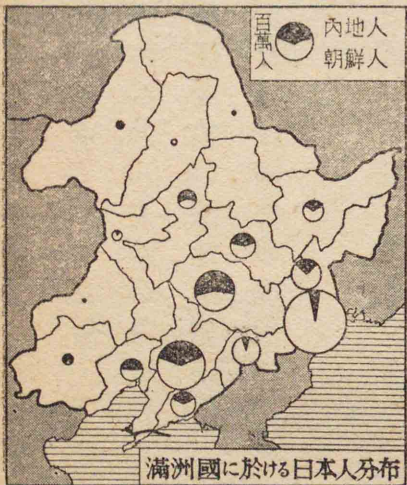
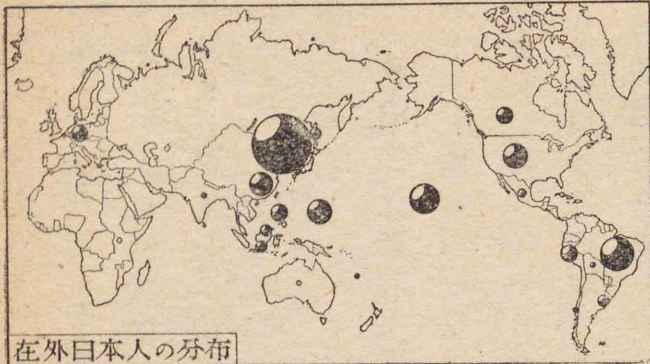
商業

建國以來政治の安定、産業・交通の發展につれて貿易額は急激に増進した。輸出品は大豆・粕・豆油・石炭・粟・高粱・玉蜀黍・硫安等が主で、大豆類に關する鐵道總局のバスは地方交通上重要な地位を占めてゐる。航空路は地形・氣候共に惠まれて發達し、日滿支連絡の航空路も近時大いに利用せられ、奉天は大連と共に航空の中心地である。

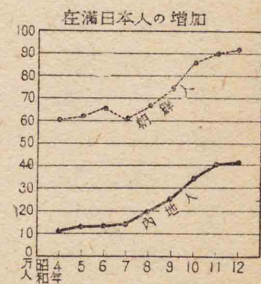
價值がある。汽船の溯航し得る大河は松花江（哈爾濱まで）、黑龍江等で、遼河と鴨綠江は戎克（シベリヤ）によつて利用され、凍結期には槳及自動車の通路として好適である。南滿では鐵道と河運とは貨物輸送上で競争線となり、北滿では河運は寧ろ鐵道の培養線となる。道路は雨季には泥濘となり頗る不便であるが、冬季には凍結して大豆その他の大量積出しに利用される。新道路を走る鐵道總局のバスは地方交通上重要な地位を占めてゐる。航空路は地形・氣候共に惠まれて發達し、日滿支連絡の航空路も近時大いに利用せられ、奉天は大連と共に航空の中心地である。







漢族は進展しつつある。朝鮮族はその國境附近

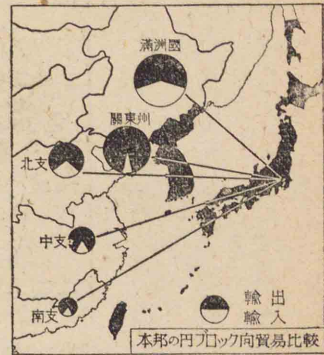


蒙古人の生活

より次第に内進移住し、約一〇〇萬人に達する。ロシア人はハ爾濱を中心とした北滿洲に住んでゐる。我が内地人は最近著しく

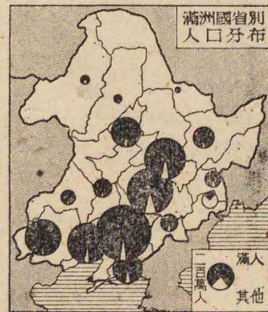
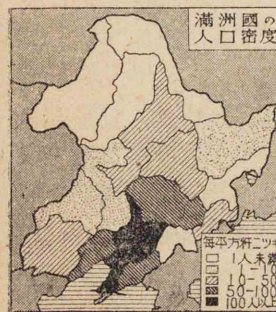
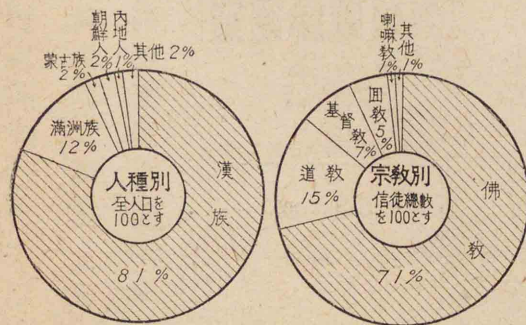
八割を占め、主要地域に安住して農商を営んでゐる。蒙古族は興安四省に於て遊牧してゐるが、ここにも

ハ爾濱、國境では圖們と山海關等である。  
**住民** 人口は約三、七〇〇萬で、滿洲族は原住民であるが全人口の一割に過ぎず、河北、山東兩省より移住又は定期的出稼に入り込んだ漢族(普通には漢族と滿洲族と合せて滿洲人と呼ぶ)は、全人口の

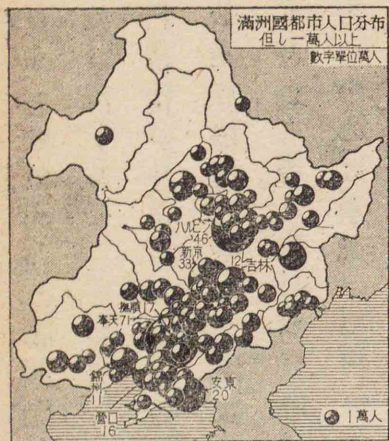


いからである。貿易相手國は我が國が優勢で、その過半を占めるのは日滿不可分の經濟ブロックの然らしむるところで、これに次ぐものは支那、ドイツ(大豆取引)、英領、米國等である。貿易場は約七割を占める大連の外、海岸では安東と營口、内陸では奉天、新京

滿洲國の住民



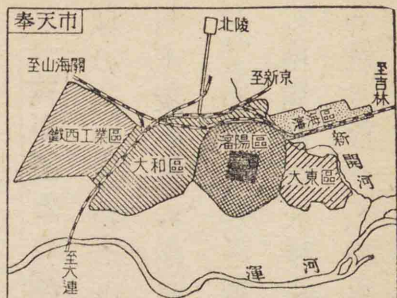




齊齊哈爾  
爾濱の北西  
北滿には哈  
州がある。  
港の外に、錦  
河口の營口  
南部には遼  
更にその西  
最も大な地域をなし  
てゐる。



ロシア風のハルピン市街



街の商業區と工業區とに分れ、又全滿交通の中樞である。哈爾濱はロシア風の景觀を有し、製粉工場等があり、松花江の河港で、北滿の商工業の中心である。南滿には奉天の外に、撫順、鞍山、本溪湖の重工業地と四平、開原、鐵嶺、遼陽等の農産物の集散地とがあり、都市密度の最も大な地域をなし、更にその西部には遼南、河口の營口、錦州がある。北滿には齊齊哈爾

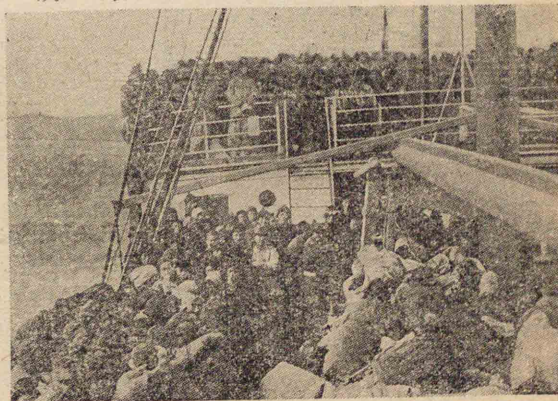
増加して國內到る處に住み、政治産業國防等あらゆる方面に所謂五族の指導者として活動してゐる。人口密度は一方約二八人、我が内地に比すれば遙かに小で、移住開拓の餘地が充分にある。密度の比較的大な所は南部の滿鐵沿線である。

### 政治

立憲君主國で首府新京に中央政府があり、五族協和の政治が行はれてゐる。極東ソ聯に隣接するため北滿國境は日滿兩國國防上の重要警備地域である。

### 都邑

全滿の中心は新京、南滿の中心は奉天、北滿の中心は哈爾濱で、これ等は縦貫線の特急列車によつて連絡されてゐる。首府新京は政治・經濟・軍事學術等の中樞地で、我が大使館が置かれ、諸官衙を中心として建設された新都は壯觀である。奉天は全滿の商工業の中心で、舊市街、新市



山東移民の渡來

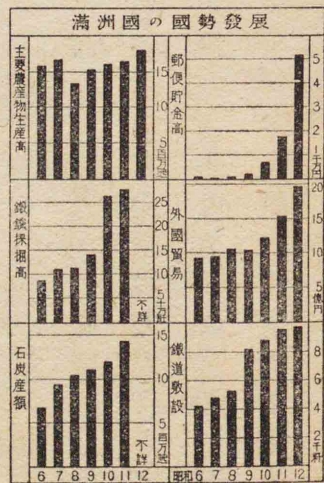


（嫩江流域の中心）南東に牡丹江があり、佳木斯は移住開拓地の新興都市、黒河は東の綏芬河、西の滿洲里（シベリヤ鐵道との連絡驛）と共にソ聯に對する國境都市である。東滿地方には吉林（松花江上流地方の中心）をはじめ安東圖們、通化の外、朝鮮人の開拓地間島の中心に延吉龍井村がある。西部の漢蒙兩族接觸地帯には海拉爾、洮南、鄭家屯、遼源、通遼、赤峯等の兩族交易都市が發達し、殊に海拉爾は呼倫貝爾地方の中心として重要である。熱河地方の中心は承德で、清代の離宮と壯麗な喇嘛廟の所在地で知られ、支那との國境の町として山海關が萬里の長城の海に盡きる所にある。

### 我が國との關係

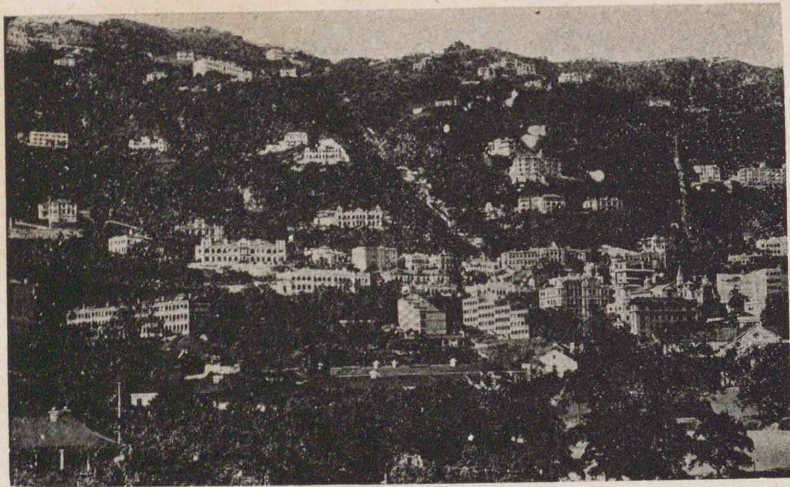
滿洲國は我が朝鮮の接壤地帯であるから、その地域の治安は我が自衛と重大な關係がある。それ故嘗て此の地が露國の南下策のため侵略を蒙るや、我が國は滿洲の領土保全と我が國防のために立つてこれと戰つた。その結果我が國は露國に代つて關東州を租借し、南滿洲に於ける鐵道、森林、鑛山等に關する利權を得たが、後南滿洲鐵道會社を設立し、種々な文化的施設によつて南滿の開發に貢獻した。その

後この地に滿洲帝國が成立し、我が國との間に外交上日滿議定書の交換、軍事上滿洲國防の共同防衛、經濟上日滿ブロックの形成等を見るに至り、兩國の關係は頓に親善を加へた。滿洲國の最近の目ざましい國勢發展は我が國に負ふ所極めて大である。



我が國との貿易は緊密な日滿經濟提携の上に飛躍的發展をとげ、主な輸出入品は悉く我が國が占め、圓ブロック内の取引國中最重要地域である。更にこの國の廣大な面積と稀薄な人口とは、富源を開發するため我が國民の移住を要望するので、我が開拓民の數は近來頓に激増した。これ等の移民は主として農業移民であるが、中には日滿合辦事業や各種の大小企業に従事してゐるものも多い。滿洲國はこのやうに我が國防及經濟上密接不可分な關係を有するので、我が生命線であるといはれてゐる。

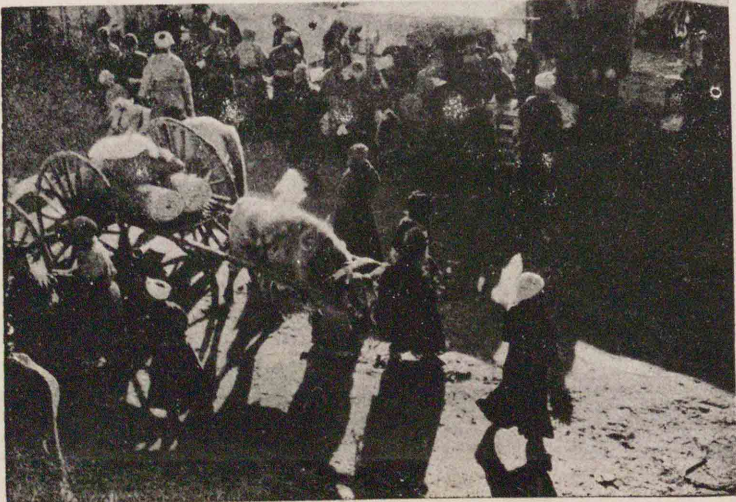




香港の傾斜地に於ける占居状態



廣東の中心



蒙古の市場

- (一) 滿洲國と我が内地との地勢氣候を比較せよ。
- (二) 滿洲國と我が國との關係を詳述せよ。
- (三) 我が國の移民地としての滿洲國について所感を述べよ。
- (四) 滿洲國と大連との關係を説述せよ。
- (五) 滿洲國の産業について詳述せよ。

### 第二節 支那(中華民國)

#### 位置面積區分

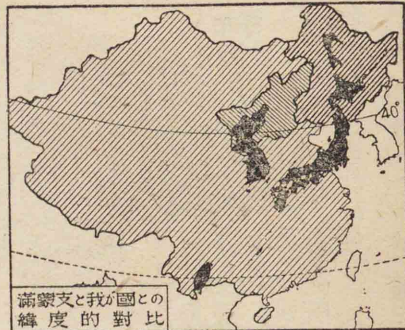
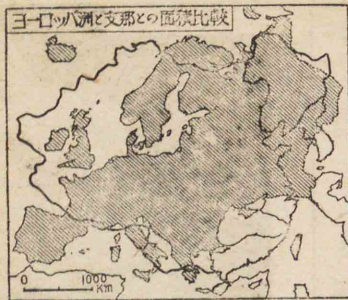
支那はアジアの東部及中部を占め、東部は黃海・東支那海等の縁海を隔てて我が國と相對してゐる。面積は約一千萬方料で、アジア洲の四分の一を占め、ヨーロッパ洲よりも廣く、我が國の約一五倍に當つてゐる。行政上、二三省と蒙古聯合自治政府・蒙古人民共和國・西藏チベットとに分たれてゐるが、地理的に分つと支那本部・蒙疆地方・邊疆地方の三大別となり、支那本部は更に北支那・中支那・南支那の三區となる。

#### 地勢

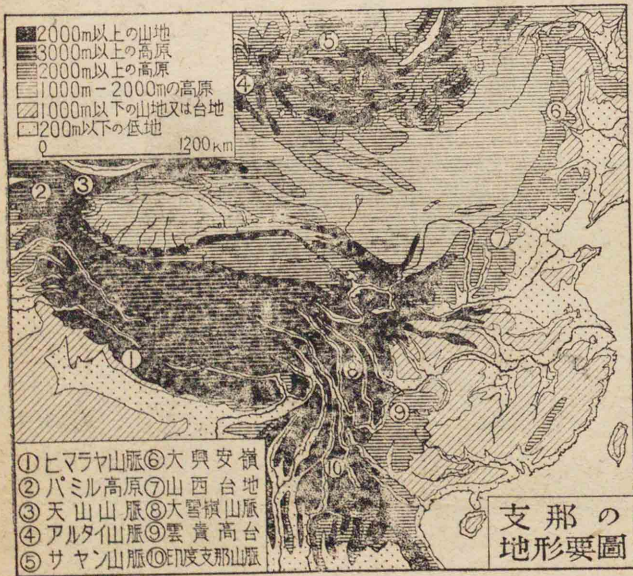
西部高地はアジア大陸の中央に於ける高峻且つ廣大な部分で、更に西藏高原・タリム盆地・蒙古高原に分たれ、多くは内陸流域で、沙漠を



峽によつて遼東半島と對する山東半



り、その東に渤海海  
支那平野等から成  
平野中支那平野南  
東部低地は北支那  
地等の盆地がある。  
各渭水盆地四川盆  
大渭河の上流に  
臨む。東流する  
黄河揚子江の二  
集つて中亞と境し、東部は大興安嶺大行山脈等に  
なし、これ等の境をなすヒマラヤ、崑崙、天山等の諸山  
脈は略東西に走る。西部は諸山脈がパミル高原に  
つて東部低地に



なし、これ等の境をなすヒマラヤ、崑崙、天山等の諸山  
脈は略東西に走る。西部は諸山脈がパミル高原に  
集つて中亞と境し、東部は大興安嶺大行山脈等に



上海



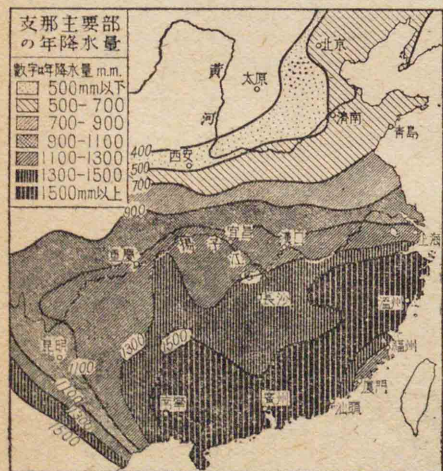
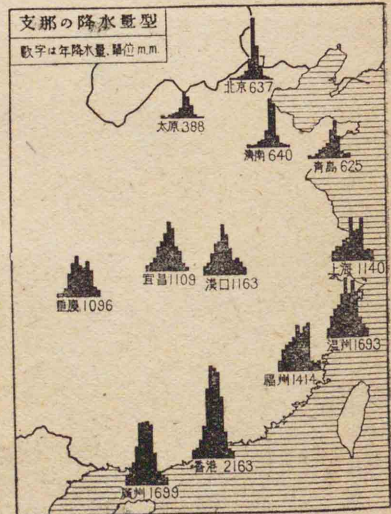
東半島と渤海とがあり、半島部には沿岸に小出入があるが、その他は三角洲の砂濱海岸が多く、南部は南嶺の海に臨む所である。小出入に富む。

**氣候** 東部低地は季節風帯に屬し、西部高地は大陸性の氣候をもつ。東部低地の北部は溫帯に屬するも、冬季著しく氣溫の下ることがあり、中部は適度の氣溫を帯び、南部は亞熱帶性及熱帶性である。雨は南部に多く、北部に少く、海岸に多く、内地には少い。雨季は夏であつて、乾季は冬である。

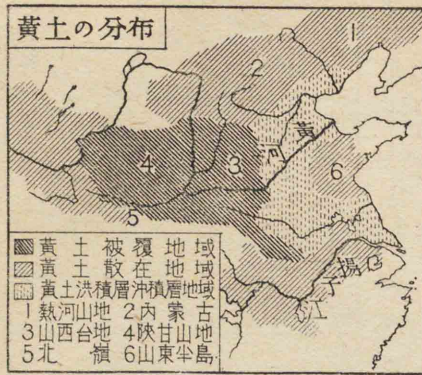
**氣候**

東部低地は季節風帯に屬し、西部高地は大陸性の氣候をもつ。東部低地の北部は溫帯に屬するも、冬季著しく氣溫の下ることがあり、中部は適度の氣溫を帯び、南部は亞熱帶性及熱帶性である。雨は南部に多く、北部に少く、海岸に多く、内地には少い。雨季は夏であつて、乾季は冬である。

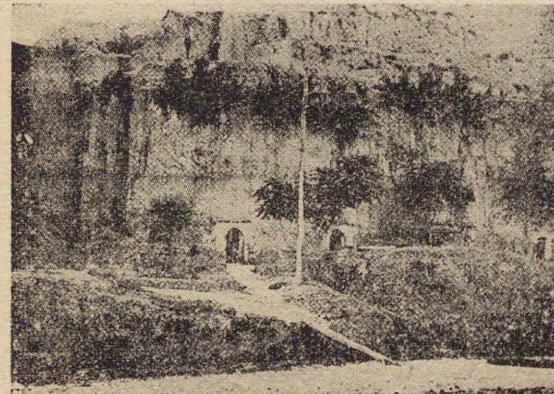
東半島と渤海とがあり、半島部には沿岸に小出入があるが、その他は三角洲の砂濱海岸が多く、南部は南嶺の海に臨む所である。小出入に富む。



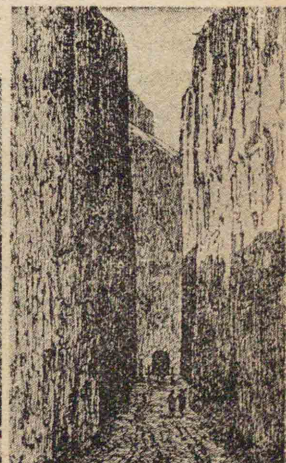
平野は珠江の流域にある。海岸は北部では山



島の地塊がある。以上の三平野は北嶺、伏牛山脈、大別山脈、南嶺によつて境される。北支那平野は白河及黄河の下流の堆積低地である。中支那平野は揚子江中流の湖廣盆地及江西盆地と下流の江浙平野とから成り、洞庭湖の二大湖は二盆地の低地に湛へる。南支那

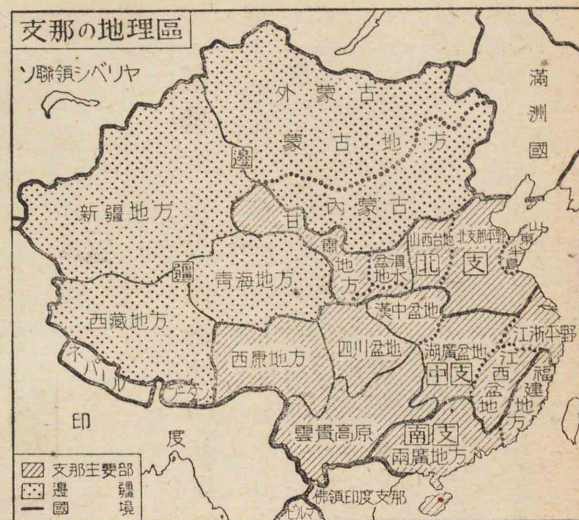


河南省の黄土層中の穴居生活



黄土層中の隘路





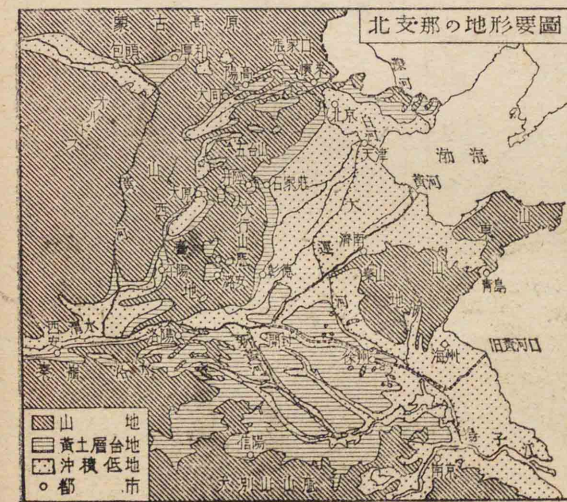
る。西部高地は寒暑の差が極めて大で、降水量著しく少く、草原又は沙漠をなしてゐる。

處誌

(甲) 支那本部 面積は全支

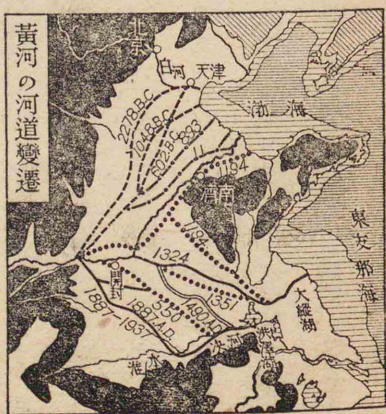
の四割に當るが、人口は九割を超え、全支中最も重要な地域である。

(一) 北

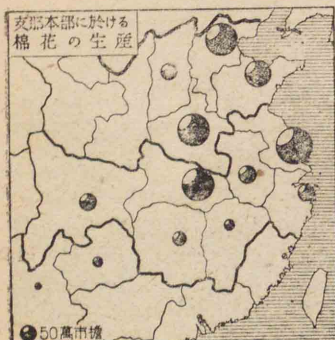


支那 主に黄河の流域で、漢蒙交界山地から北嶺に至る間を占め、行政上主として河北山東山西河南陝西甘肅の六省をいひ、地理的には山東半島北支那平野山西臺地渭

水盆地及甘肅地方の五區となる。又渭水盆地及甘肅地方を含めて陝甘地方と謂ひ、これに寧夏省を加へて西北地區とも謂ふ。黄河は青海に發し、途中大迂回をなして潼關に達し、渭水を合せて大平野に出で、山東半島を挟んで南又は北に屢流路を變じて氾濫し、多量の黄土を堆積し大平野を造つた。この黄土は山西臺地等に



農作物のうち、高粱大豆等は滿洲と同様この地方の主要農産物であり、小麥も殆どこの地方に限られた観がある。棉も夏季の大陸性氣温を利用し、灌溉によつて栽培される。米は氣温及降水量の不足等で中支那以南



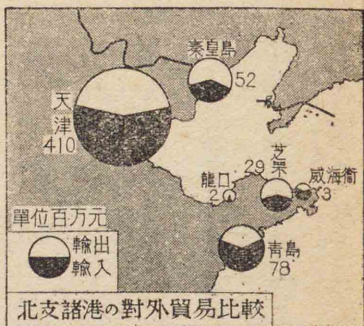




北支那平野の棉花の輸送

の如く多くは産しない。故に住民は米よりも高粱・小麥等を主要食料とする。一般に年降水量は多くないが、夏の成育時期が雨季で、一年の三分の二はその時期に當るため耕作に便利である。然しその降水量が少しく不足すれば旱魃となり、又時に量が過ぎれば洪水となり、往々にして不作を來し、時に饑饉の虞がある。北支の農産資源の全支に對する

比率は棉花約六割、小麥約五割、大豆約五割の多きを占めてゐる。馬驢は滿洲に似て最も多く、山東牛は我が國に輸入され、羊は西部高原が主である。石炭の埋藏量は全支の八割強、鐵の埋藏量は全支の半を有し、山西河北山東等がこれ等の産地として知られてゐるが、未だ殆ど採掘されず、開平・英支・井陘・日支兩炭坑の採掘量は全支の四割に及び、金嶺鎮の鐵山、坊子淄川、博山等の炭坑は日支合辦で採掘されてゐる。この外山東の金アル

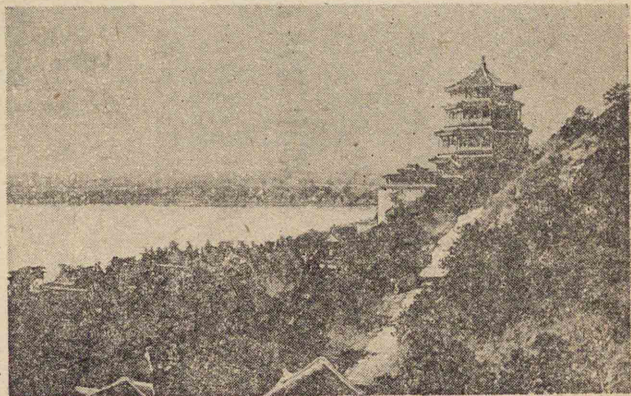


ミニウム原鑛、陝西の石油等が注目されてゐる。北支の沿岸は地形氣候が製鹽に適し、天日製鹽による長蘆鹽と山東鹽とは全支の約四割を占め、我が國は工業鹽として輸入する。工業は天津、青島を中心として行はれ、兩地に於ける我が紡績業の進展は著しい。貿易は天津、青島が盛で、我が國との取引はその

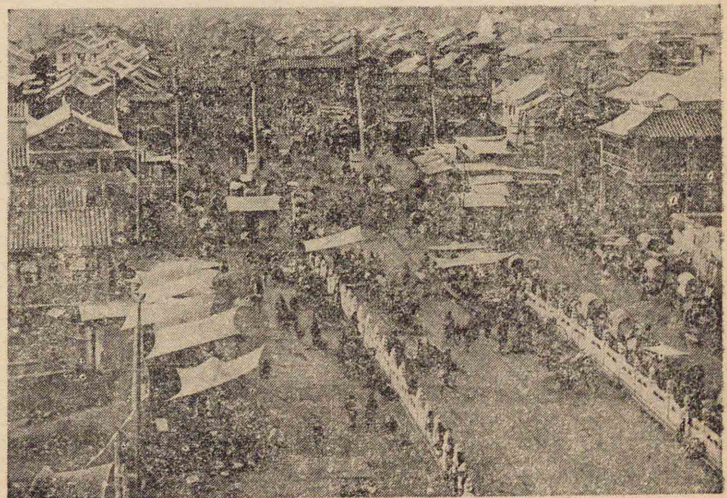
約半に達し、日滿の占める比率は輸出に於ては事變前三六%であつたものが、最近四一%となり、輸入に於ては四八%であつたものが、六二%に激増した。(1)北支那平野(河北河南) 北支那の心臓であり、又久しく全支那政治の中心であつた地域である。黄河の流域の河南開封は舊都で、河南はもと洛陽と稱し黄河の支流の洛水の北畔にある。この附近は所謂中原の地であつたが、政治の中心が北方に移動したため、河南開封共に振はず、その中間の鄭州が京漢線と隴海線との交叉點に當り發達しつゝある。津浦隴海兩線の交叉點には要地徐州があり、隴海線の終點に連雲港があ



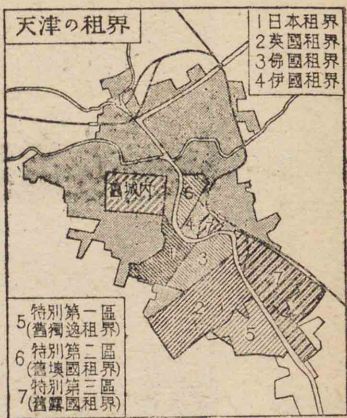
る。北支の政治文化の中心北京は北に偏するが北方に満蒙を控え、嘗て全支那の政治の中心として建設せられた都市である。この首府に従属する経済市として天津が発達し、蒙古の防禦のためには萬里の長城(延長三千軒)が建設された。北京は宏壯な城門、宮殿と城壁とに圍まれた標式的の城郭市で、内城、外城共に整然と區劃される。天



北京城外の萬壽山

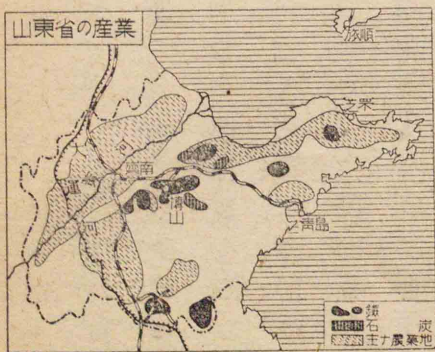


北京街上の景觀

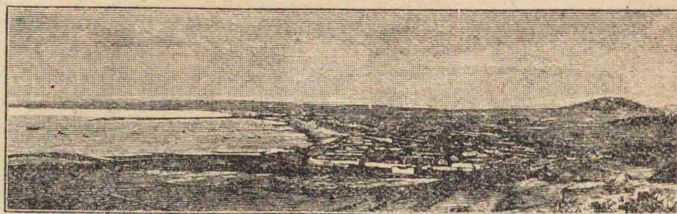


津は手指状をなす白河の支流の會合する要に當り、全流域の物資を集め、又紡績製粉を始め工業の盛なことは北支第一である。この地を起點とする大運河も天津の繁榮を助け、津浦線京漢線等によつてその沿線との取引が盛で、京包線の内蒙古への進出はその後背地を一層廣大ならしめた。冬季河海凍結する時は秦皇島を以てこれに代へる。東北

部の石炭の産地は開平と灤州で、長城の東端の關門山海關は京山奉山兩線の連絡する國境の要地である。白河口の塘沽と白河溯航の終點通州は共に京津に於ける要地である。京漢線に沿つて保定、石門(石家莊新郷)があり、石門は石太線の分岐點で、邦人の進出も著しい。(2)山東半島 山東半島地塊の一部は支那第一の名山である泰山をなし、平野に臨んで







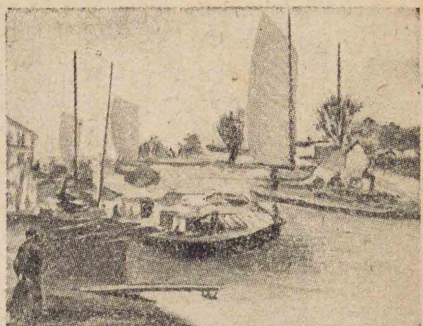
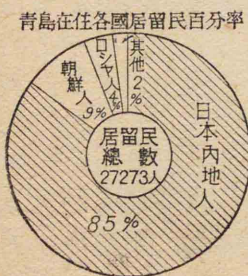
一八九八年の青島



一九〇七年の青島

半島の中樞を横断して青島に達する。この地方の石炭鐵の富源と膠州灣の良港と、その北支

聳え、その南麓の曲阜にはこの地を郷土とする孔子の廟がある。出入に富む岩石海岸は青島威海衛(元英租借地)芝罘等の良港を持つ。この地方は柞蠶を飼ひ、繭紬を製し、石炭鐵に富み、製鐵も亦行はれる等、南滿洲に類似する。住民は勞力が過剰であるため、滿洲國及内蒙古地方に農繁期となれば集團的に大規模の出稼をする。この地方の中心は西部に位置する濟南で、津浦線はこの地を通過し、又膠濟線はこれより分れ、



大運河の支那北

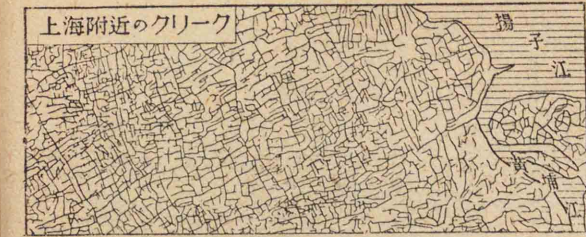
の商圏に對する位置とに着眼し、膠州灣を九十九箇年間租借の約を結び、青島に港灣及ドイツ式の市街を建設し、膠濟鐵道を敷設し、鑛山の採掘權を獲得した。然し世界大戰の結果これ等は一時我が國有に歸したが後皆支那に還附され、鑛山のみは日支合辦で經營するに至り、尙最近は青島に我が紡績工場等が多く設けられた。(3)山西臺地

石炭の埋藏量は頗る多く、質も良く、この地方の中心は太原で紡績工場があり、邦人の居住者も漸次増加しつつある。(4)渭水盆地(陝西) 函谷關、關の狹隘を關門とする渭水盆地は西部高地の別天地で、耕地發達し、西域の要所に當る。故に嘗て秦は咸陽に、漢は西安(當時長安)に奠都し、高度の文化が發達したが、今は政治經濟の中心が東漸し、一地方都市と化した。この地は隴海線により鄭州と連絡してゐる。(5)甘肅地方 ソ聯領中央アジアに通ずる要路に當る蘭州は羊毛の集散地で、長城の西端の關門と

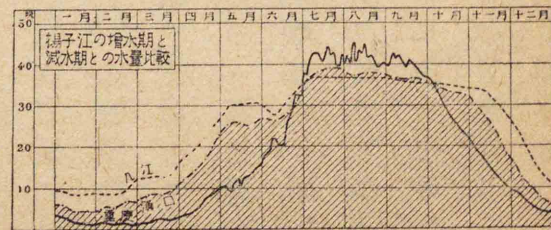


して嘉峪關がある。

(二) 中支那 主に揚子江の流域で、北嶺から南嶺に至る間を占め、行政上は主として江蘇浙江安徽江西湖北湖南四川貴州雲南



及西康の一〇省を含み、地理的には揚子江下流平野江西盆地湖廣盆地四川盆地及雲貴地方等に分れる。揚子江は青海地方から發し、四川盆地の水を集めて所謂三峡の險をなして東流し、湖廣盆地に於て、漢江湘江沅江等の諸水を合せ、そこに洞庭湖があり、江西盆地には鄱陽湖があり、揚子江下流平野は大三角洲をなす。揚子江は黄河に比すれば水量は多いが、夏の増水期と冬の減水期とではその水量に著しい相違があり、洞庭鄱陽の兩湖は増水期には著しく



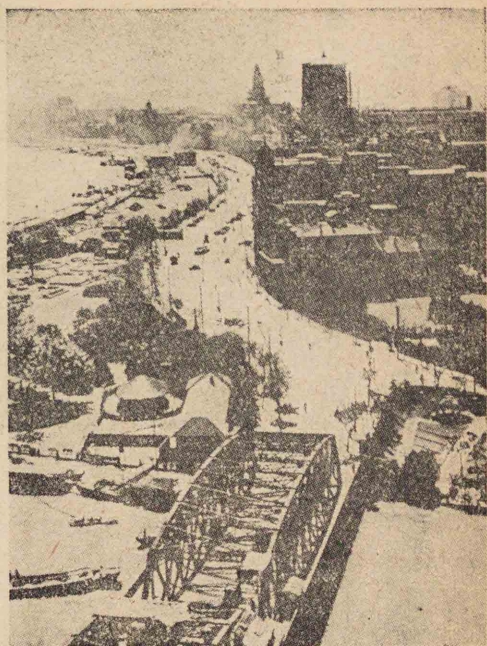
湖廣及び江西の低地



海面を始め各地に於ける紡績業の發達が著しい。漢口ではソ聯向の磚茶を製造する。(1) 揚子江下流平野(江蘇浙江安徽)中心地上海は急速に發達した支那第一の商工業の盛な近代的の都市で、殊に我が國人の經營する

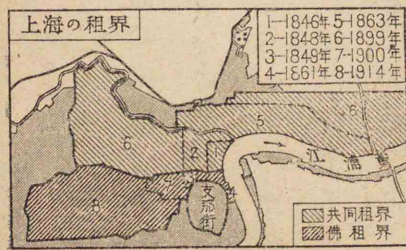
湖面が擴大する。諸平野は氣候温暖で、降水量も多く、温帶の季節風帶を代表する地域で、耕地發達し、殊に水田多く米の主産地で、住民は米を常食とし、その輸出を禁ずる程重要視する。養蠶が盛で、茶を多く産出すること等は米作と同じく我が國に類似し、季節風帶の特色を現すが、棉を産する點は我が國と異なる。養鶏は北支と共に盛で、揚子江下流四川盆地を主な地方とし、上海は有名な鶏卵の集散地である。養蠶に伴ひ生絲の産多く、従つて絹機業が古來發達し、杭州蘇州等はその中心で、近代工業としては上海





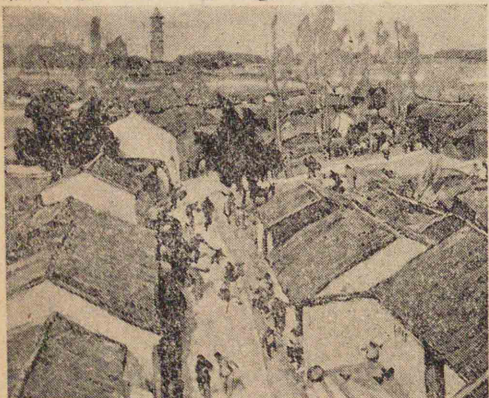
我が日清汽船會社もこの地を起點として揚子江上中流にまで航路網を張り、歐洲航路もこの地に寄航し、東洋に於ける大小航路の焦點である。主に生絲、茶、棉花等を輸出し、その外港は吳淞である。海南線は工業市無錫、省城地鎮江を経て上海と南京とを結んである。首府南京は江畔にあり、丘陵と城壁とをもつて圍まれた都市で、屢首

紡績業が盛である。揚子江口に近く、黄浦江を溯つた所にあって、西の漢口、北の天津、南の廣東及香港に對し、支那の中樞に位し、殊に揚子江の全流域を商圏とし、漢口、九江その他の貿易港は殆どこの港を仲繼港として取引をする。



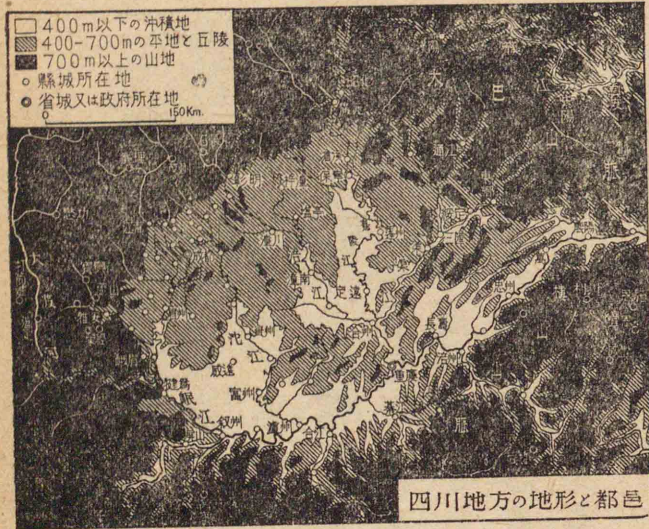
上海附近のクリーク府となり、近時北京に代つて新支那の政治の中心地として復活した。對岸の浦口は津浦線の終點で、水運の便ある淮河と津浦線との交叉點の蚌埠は運輸の要地である。大運河に沿ふ蘇州及杭州は絹織物を産

する外共に標式的の支那都市の景觀を有し、附近は名勝古蹟に富み、杭州の西湖は特に景色がよい。寧波は我が國と古くから交渉のあつた港である。南京から揚子江を溯れば蕪湖、安慶を経て江西地方に達する。(2)江西盆地中心の九江は鄱陽湖脚にあり、茶を輸出する。湖に臨む廬山は長江流域在留外人の高地の避暑地として名高く、湖頭の南昌は九江から我が借款



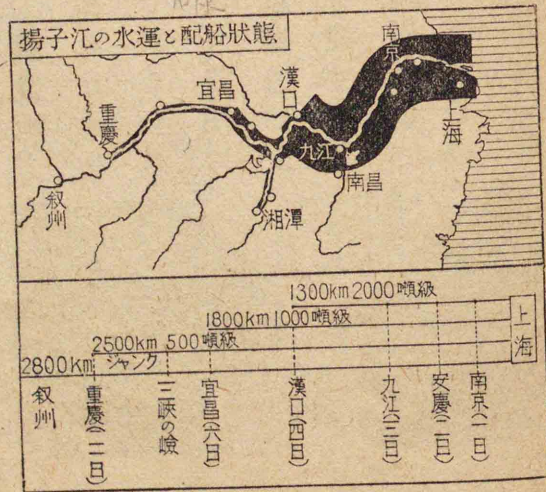
蘇州の春(石川寅治氏筆)



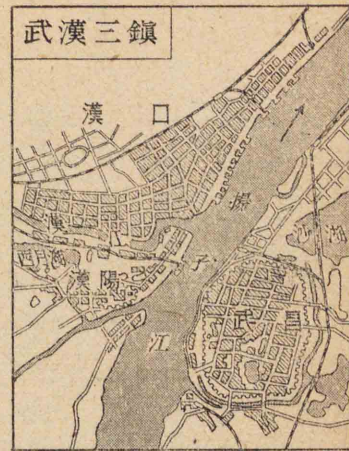


は豊富な鐵鑛を産し、石灰鑛から積出し、その大部を我が八幡製鐵所に送り來り、一部は漢陽に送り、萍郷から來た石炭と結んで製鐵業が起つた。

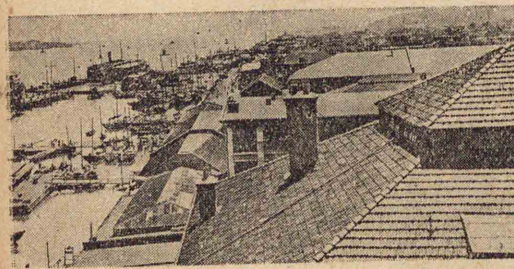
それ等は漢冶萍煤鐵公司の經營で、我が借款に負ふ所多く、その代償として毎年鐵鑛と銑鐵を我が國に送つて來てゐた。(4)四川盆地 面積略我が國に等しく、米・小麥等の各種農作よく行はれ、石炭・金・石油・鹽等も産出し、工業も行はれる。



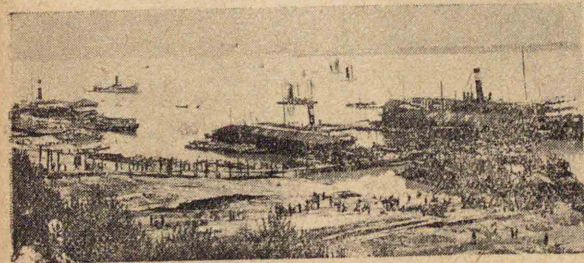
連絡點に當り、位置が極めて優秀である。増水期には一萬五千噸級の大洋航行の汽船が溯り、上海と共に中支の新式工業地である。洞庭湖脚に岳州があり、その南に湖南省の中心開港長沙がある。本流を溯れば沙市宜昌の二開港があり、一千噸級の船が通ずる。江畔に近い大冶



にかゝる南潯線が通じ、湖東の景德鎮は陶器の名産で弘く知られる。(3)湖廣盆地(湖北湖南) 中心は漢口で、揚子江と漢江の會合點にあり、漢陽武昌と鼎立して武漢三鎮と呼ばれ、揚子江の水運と京漢粵漢線との



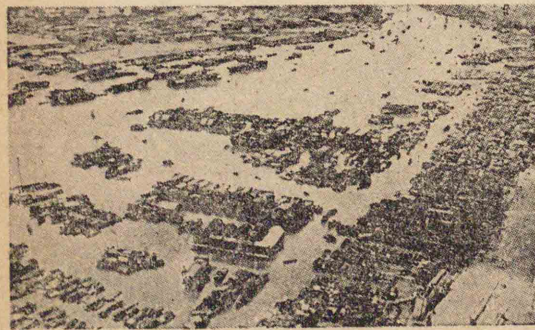
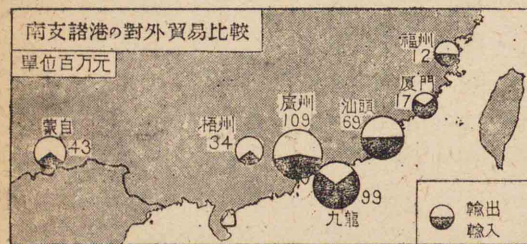
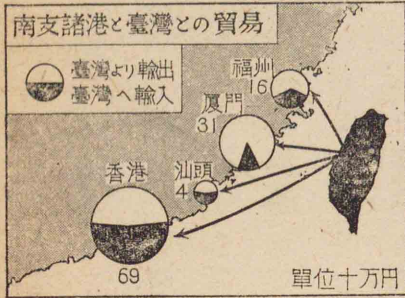
増水期の漢口



減水期の漢口



きも四季緑葉で、養蠶は殆ど年中行はれ、生絲絹織物・茶等を多く産し、輸出する。南支の住民は南洋に移住又は出稼するものが多く、



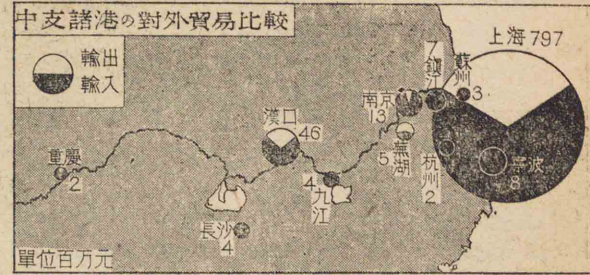
廣東の水上生活者

上主として福建廣東廣西三省を含み、地理的には福建地方兩廣地方香港海南島の四區に分れる。南嶺の海岸には三都澳馬尾泉州厦門汕頭香港等の港市に富み、珠江は西江北江東江から成り、西江が最も長く、廣東灣に三角洲を造る。氣候が亞熱帶性で、雨も多いため、米茶甘蔗等の成育よく、桑の如

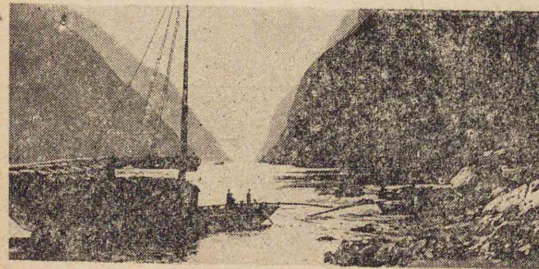
(三) 南支那

珠江の流域が主で、南嶺以南を占め、行政

ある。つて海に通じ、又大理に至る要地である。蒙自と騰越とは各國境貿易場



その中心成都は絹織物を産し、盆地の咽喉港重慶は嘉陵江と揚子江との會合點にあり、近時蔣政權の首府となり、漢口から溯ること一、二〇〇料の上流にあるが、三峡の嶮も増水期には一千噸級の特殊快速船が航行する。西康省は大雪山嶺山脈が南北に走り、西藏への通路に康定(打箭爐)がある。(5) 雲貴地方揚子江と珠江との分水嶺をなす高原で、中南支の漸移地域である。高原内に中心昆明貴陽があり、昆明は佛領印度支那に至る滇越鐵道による。

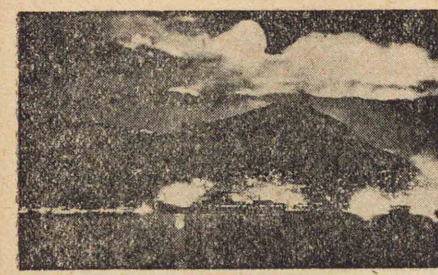


三峽の一(新灘)



これ等は華僑と稱せられ、厦門・汕頭・香港から毎年多數往來し、年々の送金も多い。我が臺灣の本島人もこの地方から移住して來たものが多い。

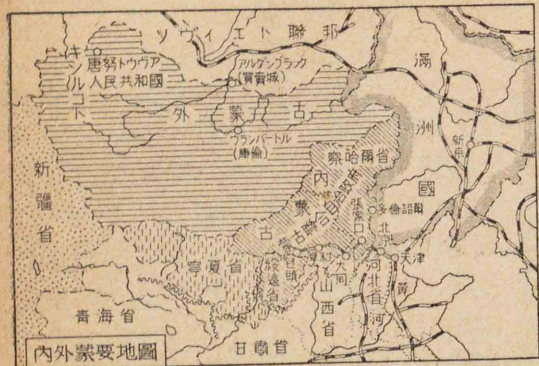
(1) 福建地方 臺灣と密接な關係があるから支那は他國への土地不割讓を我が國に約し、取引の關係も深い。閩江流域の中心は福州で、その外港は馬尾である。福州・三都澳は茶、温州(浙江)に温州蜜柑の集散が行はれる。泉州は昔榮えた貿易港で、厦門と汕頭(廣東)とは共に港市である。(2) 兩廣地方(廣東・廣西) 中心の廣東は珠江の三角洲上に在り、南支で最も商工業



香港の夜の見たる海上

の盛な都會で、粵漢線はこゝから南嶺を越えて武昌に通じてゐる。西江の上流廣西地方には梧州・桂林・南寧等の中心がある。(3) 香港(英領) 廣東灣口の一小島に過ぎないが、英領の自由港で軍港を兼ね、英國の東洋に於ける商業及軍事上の根據地である。港市をヴィクトリアといひ、洋式の街區をなす。取引額は大であるが、主に仲繼貿易で、我が國から輸入する石炭・人絹布・ポプ

リン・晒金巾は獨占的である。九龍半島の南端は英領で、それにつゞき廣い租借地がある。澳門(葡領)はポルトガル人活動時代に我が國にまで知られた港である。廣州灣(佛租借地)は佛領印度支那に近いためフランスが租借したが餘り利用されず、近く還附に決してゐる。(4) 海南島 面積略我が臺灣と等しく、熱帯性の農業が行はれ、資源に富み、且つ位置上南支南洋に對する要地である。その首都瓊州と海口・



三亞の港市がある。

(乙) 邊疆地方は更に蒙古聯合自治政府・寧夏省蒙古人民共和國・新疆・青海・西藏に分れる。

(一) 蒙古聯合自治政府 蒙古は廣大な高原で、ゴビ沙漠によつて内外蒙古に分れる。内蒙古は主に蒙古人が住み、牧畜が主であるが、滿支の接壤地帯であるから、漢人の移住するもの多く、放牧の外粟・高粱・小麥等を栽培し、漸次滿支に編入され、察哈

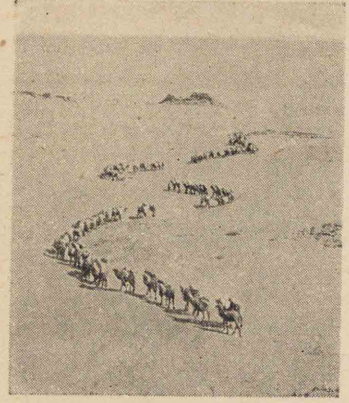


爾綏遠及寧夏の三省が置かれたが、最近察哈爾綏遠兩省は山西省北部と共に蒙古聯合自治政府を建設して支那政府から獨立した。龍煙鐵鑛宣化大同石炭は重要資源として知られてゐる。この地は日滿兩國と共に防共の第一線に當る使命を有するものである。主な中心地は張家口、多倫諾爾、大同、厚和包頭で、張家口は首府で漢蒙の交界にある重要な貿易市、羊毛、駱駝毛、毛皮等の取引が盛で、包頭は京包線の終點で、黄河により寧夏地方との取引が行はれる。

(二) 寧夏省は牧畜が主で、黄河畔に首府寧夏がある。

(三) 蒙古人民共和國 外蒙古は喇嘛教主活佛が首長となり、自治を行つてゐるが、今はソ聯の勢力下に蒙古人民共和國と稱する自治政府を樹てた。首府はウランバートル(庫倫)で、喇嘛教の大寺院があり、張家口から自動車を通ずる。

(四) 新疆 天山山脈によつて天山北路と天山南路に分たれ、北路には伊犁盆地がある。南路にはタリ



商隊中の沙漠蒙古

行つてゐるが、今はソ聯の勢力下に蒙古人民共和國と稱する自治政府を樹てた。首府はウランバートル(庫倫)で、喇嘛教の大寺院があり、張家口から自動車を通ずる。

(四) 新疆 天山山脈によつて天山北路と天山南路に分たれ、北路には伊犁盆地がある。南路にはタリ

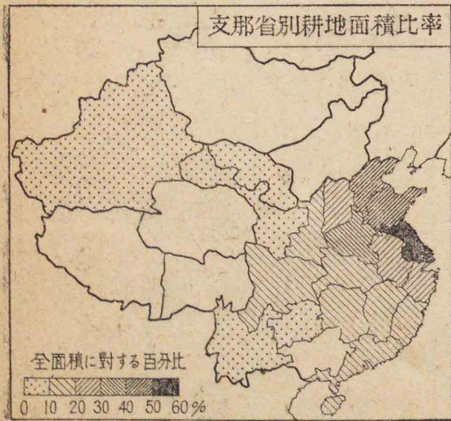
ム盆地があり、中央にタクラマカン沙漠が横たはる。天山山地の雪融の水が流れ出る山麓線の泉地に聚落があり、天山南北路の交通路もこれによつて決定される。新疆はソ聯との接壤地帯でソ聯の勢力が延び、伊犁迪化(首都)哈密は連絡路の要地である。

(五) 青海 西藏と共に一大高原で、四千米以上に達し、寒暑の差極めて甚しく、降水量少く、ヤク(犛牛)羊の牧養が主業である。首都は青寧である。

(六) 西藏 中心は拉萨で、莊嚴な達賴喇嘛の宮殿があり、達賴喇嘛は喇嘛の教主で、英國駐在兵の後援の下に政治上の實權を握つて半ば獨立する。この西藏は英領印度の接壤地帯である。

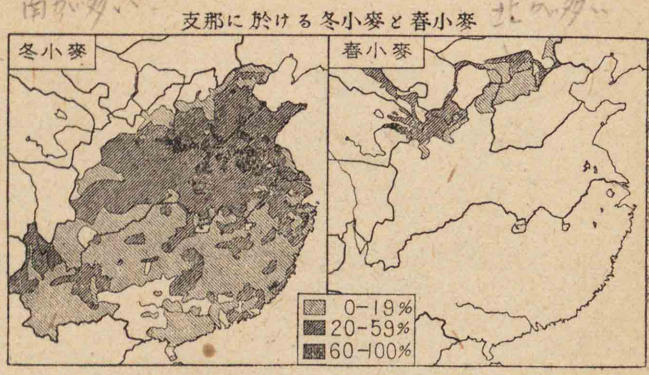
**産業**

支那は国土廣く、地形氣候の變化が多いため、産業も亦各地に於て相違がある。農業は古來最も主要な産業で、殊に東部低地の季節風帯は農産が極めて豊富である。耕地面積、農業戸數等から見れば、北支が最も農業が盛で



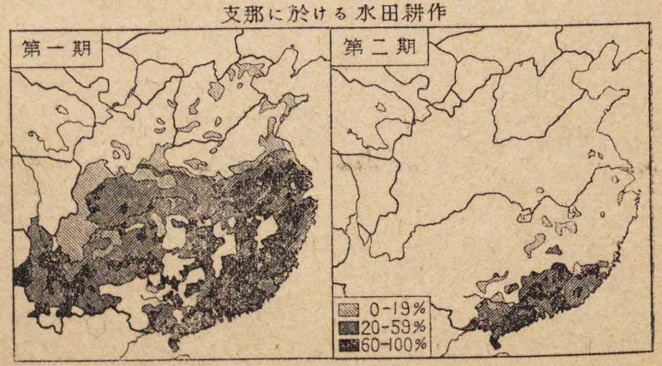


支那の小麦  
冬小麦

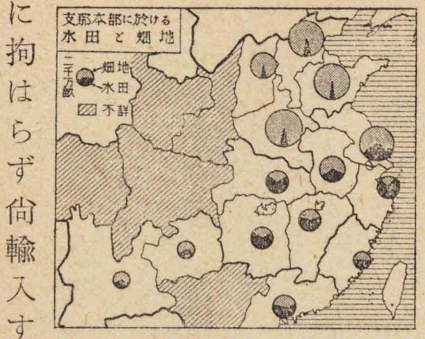


を生産する。北支の西部山地蒙古及西部邊疆地方は雨少く、草原多く、羊  
山羊馬等の放牧が主な生業で、羊毛は寧夏包頭張家口等を経由して天津  
に集められ輸出されるが、質の改良を要することは滿洲と同じである。

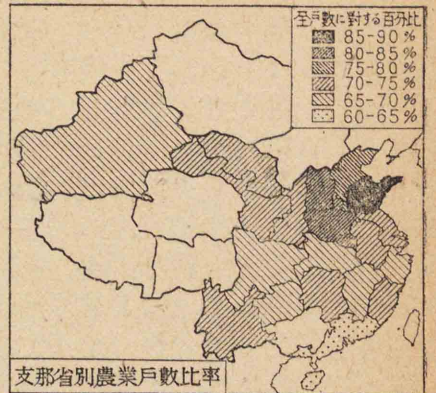
棉種を朝鮮より移植して改良をはかり、我が國に輸出する。養蠶は盛で、我が國と共に世界の二大養蠶國で、南支は年五回の飼育さへ行はれ、茶は世界一といはれるが、輸出量は四位である。果實は北支の苹果類から南支の柑橘類、龍眼、荔枝、鳳梨、バナナ等に至るまで各種の氣候適應種



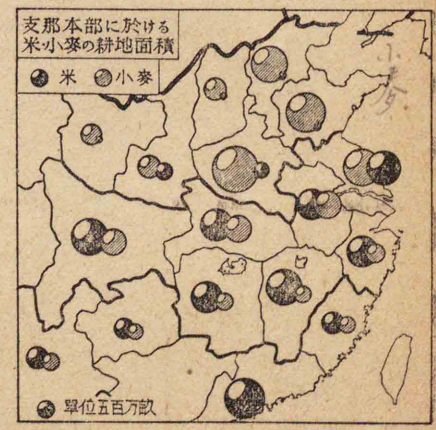
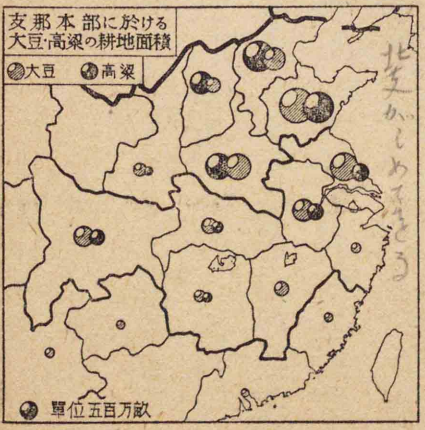
北支への行きの便  
支那の小麦



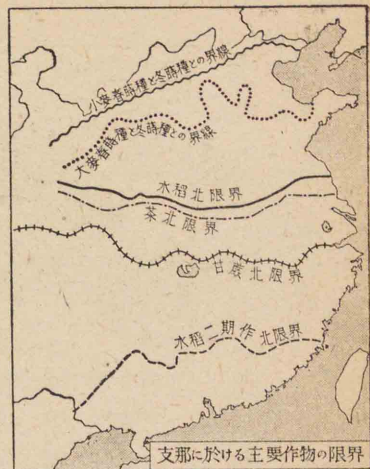
に拘はらず尙輸入する。棉は在來種の外に米は北支を主とし、中支これに次ぎ世界の一割強に當る。小麦は冬蒔と春蒔とに於て南北地域を異にし、稲は南支に二期作が行はれ、何れも多量に生産する。棉は在來種の外に米



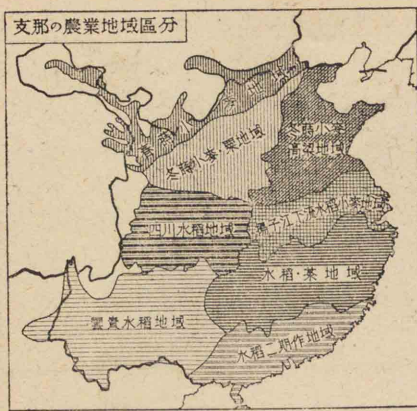
ある。北支は降水量少く、専ら畑作で高粱大豆、小麦、玉蜀黍等を主産物とし、中南支は氣温高く、雨量多く水田大いに開け、米産豊に、茶、甘蔗等を多く産する。棉の栽培







支那に於ける主要作物の限界

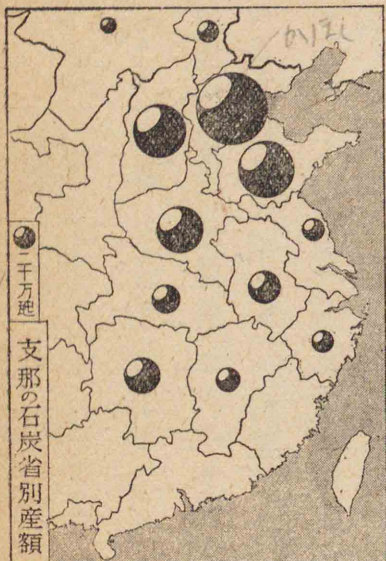


支が最大で、殊に山西省が多い。鐵の埋藏量は北支八八%、中支六%、南支一%の比である。大冶鐵山は全支の過半を産出し、漢陽と大冶の兩製鐵所はこの鐵鑛に依存してゐる。タングステンはこの鐵鑛に依存してゐる。江西省が多く、アンチモニーも世界の約六割を産し、湖南省が多く、錫は雲南

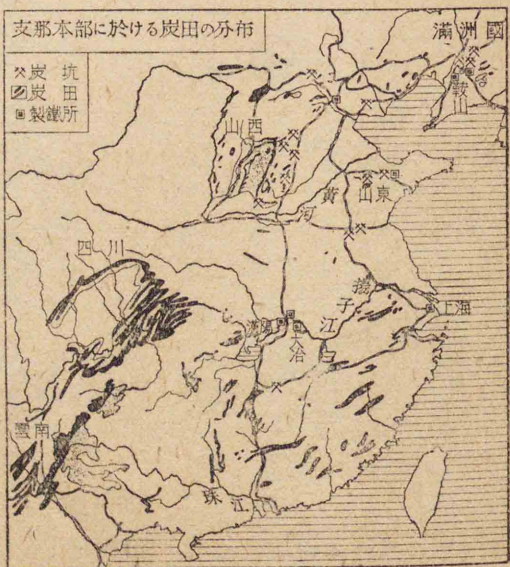
北支は馬驢、騾、黄牛、南支は黄牛、水牛を特色とし、豚鶏は全支を特色づける。山東牛は青島に、奥地及湖廣の皮革は漢口に集められてそれへ輸出される。鑛産は豊富で、北中に於ては石炭と鐵とを多量に埋藏し、世界の注視する所であるが、未だ採掘は充分で無い。石炭の埋藏量は北支八八%、中支六%、南支一%の比で北



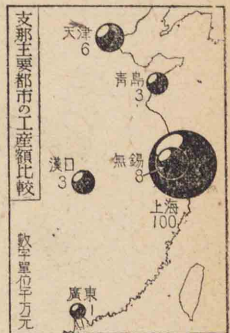
は蒙古二八%、北支二四%、中支三六%、南支一〇%の比である。大冶鐵山は全支の過半を産出し、漢陽と大冶の兩製鐵所はこの鐵鑛に依存してゐる。タングステンはこの鐵鑛に依存してゐる。江西省が多く、アンチモニーも世界の約六割を産し、湖南省が多く、錫は雲南



に省に多い。石油の埋藏は陝西・四川・新疆等に在るものと見られてゐる。食鹽は北支の天日製鹽、四川その他奥地の井鹽等があり、工業鹽として輸出される。天然の資源は豊富であるが、未だ工業



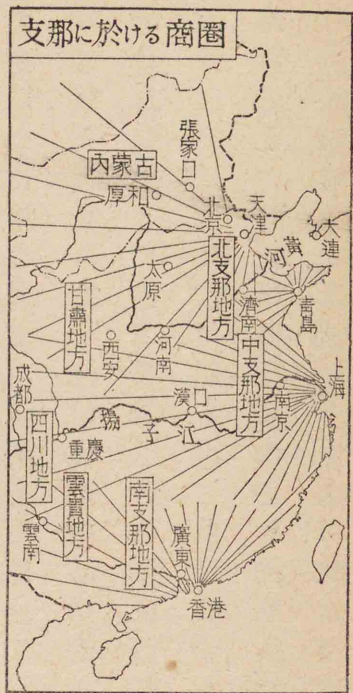
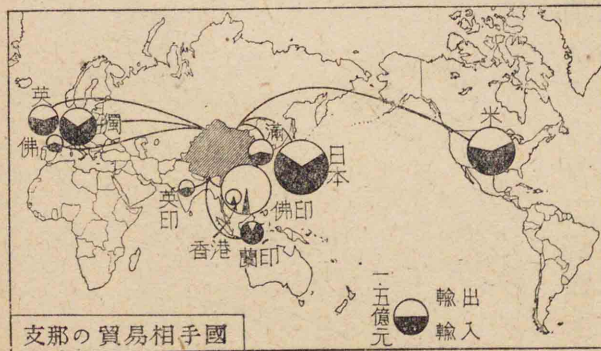
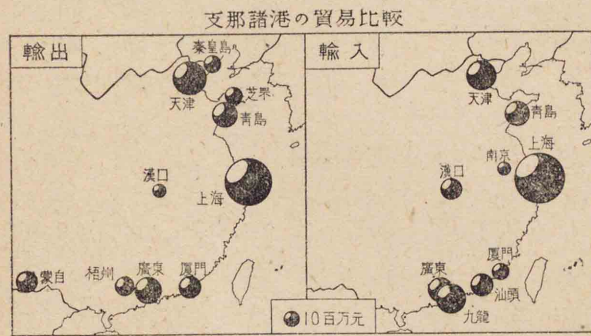
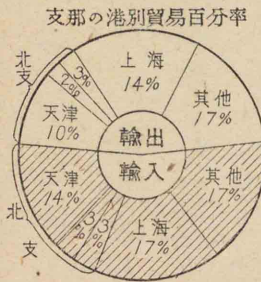




は幼稚である。然し製絲は江蘇浙江廣東地方に行はれ、茶と共に重要輸出品であつたが、我が國に壓倒され、絹織物も亦嘗て輸出に於て世界の首位を占めたものが我が國の十分の一に減じた。陶器をはじ

め手工業は在來のまゝ尙盛である。近代の新工業は上海が最も盛で無錫天津青島漢口これに次ぎ、香港廣東等にも紡績製粉マツチ煙草製造等が興りつ

つあるが、ただ國內の需要を充たすには前途遼遠である。



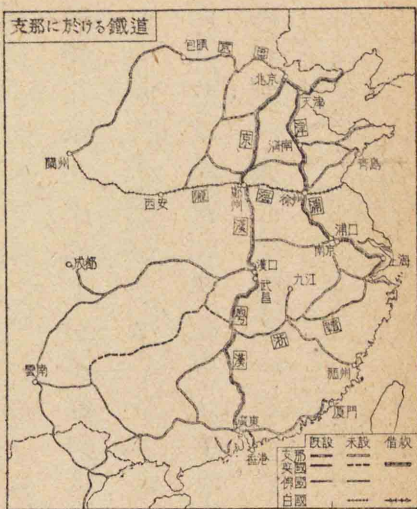
工業中紡績業が最も盛で、前記の外各地方中心に工場があり、桐油工業は漢口等で行はれ、塗料として歐米へ輸出する。

東等が各地方の核心で、それ〴〵商圏を持ち、貿易額の比率は北支一五%、中支六二%、南支二三%で、上海の貿易は全支の五割以上を占めてゐたが、事變後は北支の取引が優勢となつた。取引國は日英米であつたが、最近日は日佛印米獨英の順となり、輸出品の主なものは金屬鑛物油類生絲鷄卵茶大豆皮革棉花落花生綿絲等で、輸入品は米金屬鑛物機械器具棉花紙石油染料藥品小麥木材等である。

**交通**

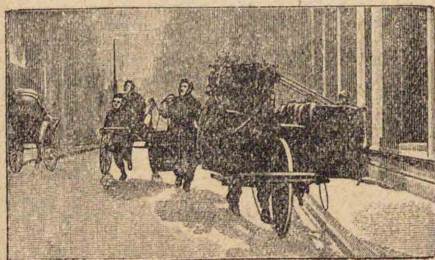
中南支は河湖運河の舟運の便があり、北支は陸路による外はないので、所謂南船北馬の語がある。東部低地では一輪車馬車轎驢馬等





を用ひ、西部高地では駱駝ヤク等による。京包線以外の鐵道は悉く日英佛白米等の投資によつて開通し、縦貫線は東に京山(滿洲と連絡)津浦海南等の諸線、西に京漢、粵漢の二線があつて南北を連絡し、横斷線は膠濟線、隴海線、浙贛線がある。航空路は米獨等の資本

により上海天津香港より漢口北京青島蘭州重慶昆明(雲南)等の内地に及ぶ。黄河を除く白河揚子江珠江等は水運盛で、殊に揚子江は支那の地中海と稱せられ、上海から重慶まで約二、五〇〇浬の間は汽船、漢口まで一、三〇〇浬の間は大汽船を通じ、我が汽船會社も主要航路網をもつ。大運河は天津より杭州まで約一、三〇〇浬に及び北中支を結び、もと米の輸送に役立つが、今

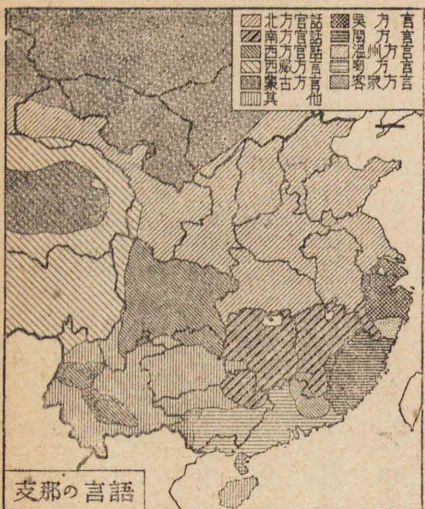


一輪車

は一部埋積してゐる。海上交通は我が汽船の力により發達し、我が國は英國と共に優勢で、米國がこれに次ぎ、航路の中心は貿易の中心と一致する。

住民

アジヤ人種(蒙古人種)に屬し、最も多數を占める漢族は古來支那文明の代表種族で、主に支那本部に住み、一部は滿洲國及邊疆に發展してゐる。滿洲族は滿洲が原住地で南下して政權を握つたが、漢人化し、蒙古族も往昔南下して威を振つたが漢人化し、蒙古に残つたものはなほ遊



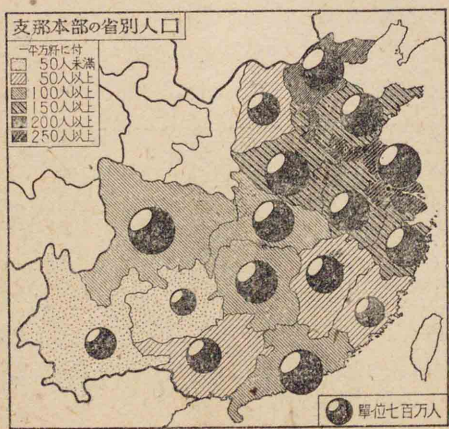
牧をこととする。トルコ族は新疆地方に、西藏族は青海西藏地方に住むが、文化の程度は低い。言語文字は種族によつて異なり、漢族さへ北方南方の官話の別があり、人種の複雑と共に國家統一の困難な一原因となる。宗教も多種多様で、本部では儒教道教佛教が主であるが、蒙





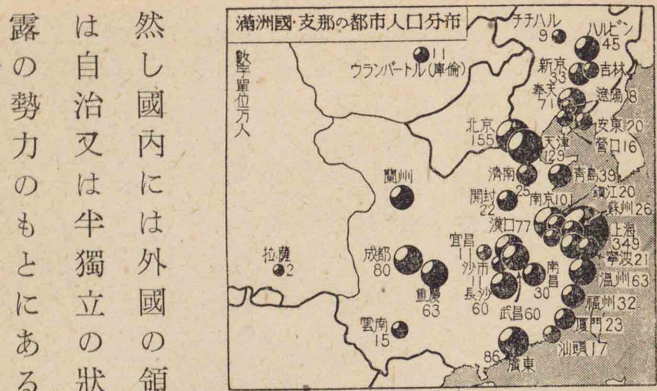
古及西藏は喇嘛教が盛で、新疆その他には回教クワイ（マホメット教）が行はれる。キリスト教徒は漸次増加し、米佛の宣教師が勢力をもつてゐる。支那は人口多くその數約四億五千萬で、世界の全人口の約五分の一に當る。その大部分は東部に集まり、揚子江、黄河、珠江等の下流平野、湖

廣・四川の諸盆地等が殊に密度が大である。従つてその過剰の地方では國外に移住又は出稼し、北支の住民は滿蒙へ、南支の住民は南洋へ向ひ、又過去に於て一般に濠洲、北米、南米、南阿等世界到る處に移住し、漢族の國外にあるものは約八百萬人に達する。然し白人の温帶の植民地では多く移住を禁ぜられた、熱帶植民地の南洋のみは支那人移住者の獨占場の觀がある。



**政治**

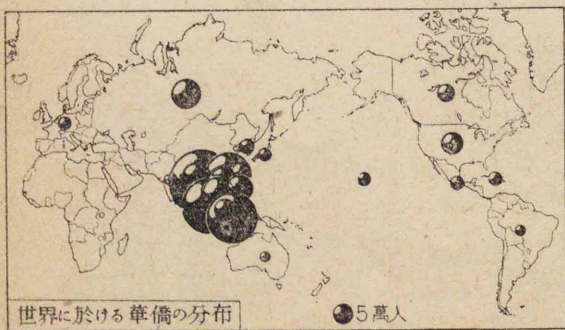
支那は古來政變が多く、漢族の外、滿蒙族も政權爭奪に加はつたが、明治四十五年中、華民國興り、共和制を布き、南京の國民政府が天下の統一に當つた。然るに蔣政權は抗日を續けつゝあるが、我が國と共に東亞新秩序建設に當る汪政權が成立したので、我が國はこれを承認して日支條約を締結した。



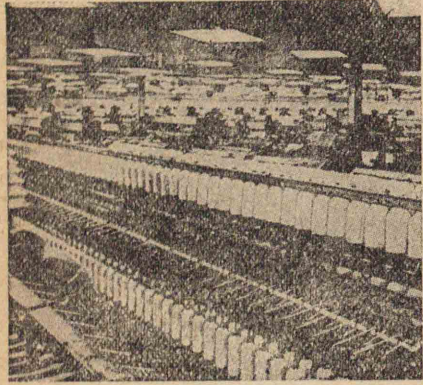
然し國內には外國の領土租借地租界等があり、邊疆は自治又は半獨立の状態にあり、寧ろ接壤地帯の英露の勢力のもとにある。

**我が國との關係**

日支は同文の國で古く我が國は支那の文化に負ふ所が多かつたが、日清日露兩役後は我が國は常に新文化を支那に輸出してその



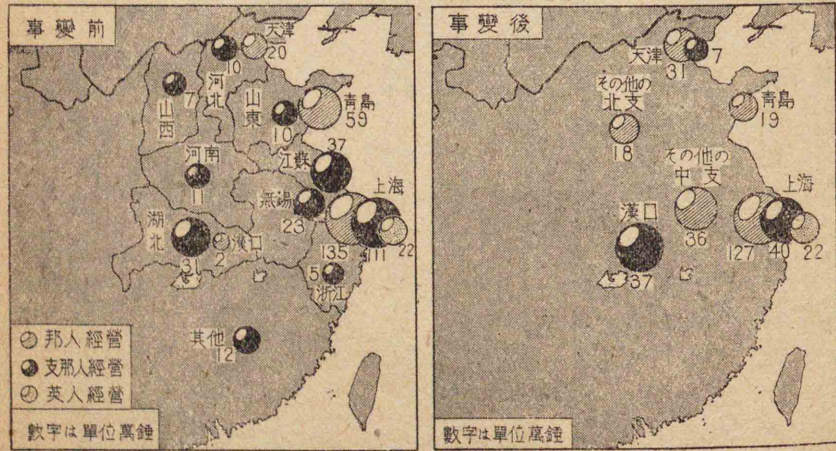




上海紡績工場の内部

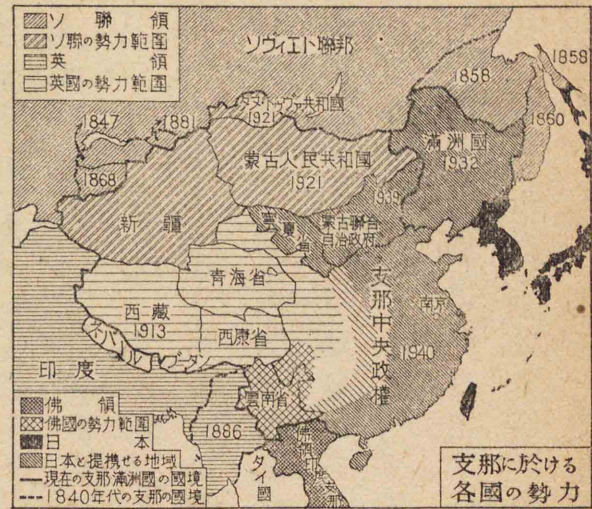
我が製品を彼に  
我が國に輸入し、  
彼の原料資源を、  
隣國であるから、  
離の極めて近い  
要が多く、且つ距  
くて、精製品の需  
に富むが、工業は未だ進まず、而も人口は多

支那に於ける紡績錠數比較

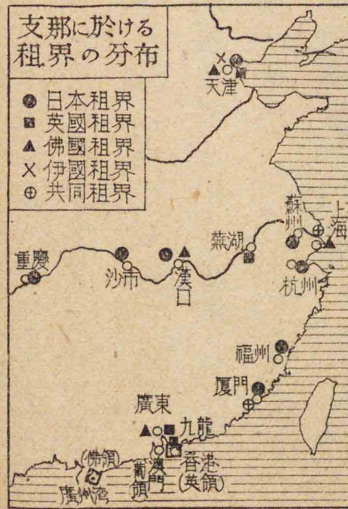


へて未だ反省するに至らない。最近新に國民政府が樹立され、南京を首府とし、我が國と協力して日支共存共榮の實を擧げんことを期してゐる。蓋し支那の運命は直接我が國に影響することが大である。この國は面積が廣くて工業原料品及食料品に富むが、工業は未だ進まず、而も人口は多

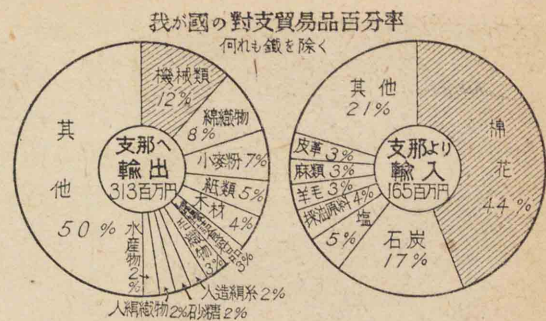
の支那事變を惹起し、今や北支は勿論、上海國都南京漢口廣東等は我が軍の有に歸したが、國民政府は第三國の援助を求めてなほ屈せず、首府を重慶に遷し、長期抗日を唱



遂に今次我が眞意を解せず、徒らに抗日容共政策に狂奔し、我が素地を作らんとした。然るに支那は一はこの國を扶け、一は列強に對應するの犠牲を拂ひ、北支及中支の鐵道鑛山製鐵等に投資し、上海天津青島等に紡績工場等を設け、彼我の關係は益深きを加へ、

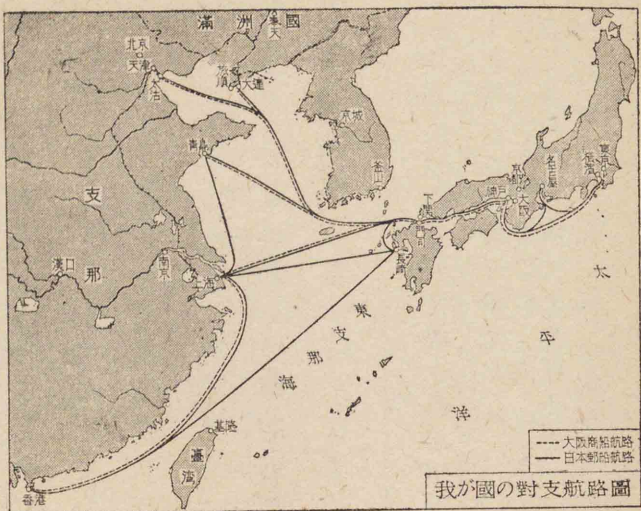






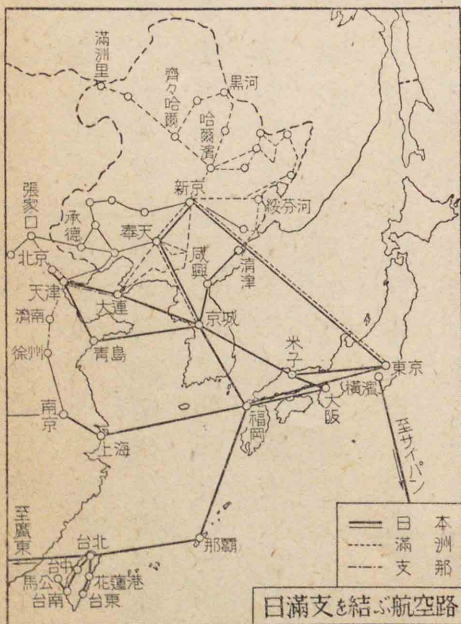
の増産も亦我が化学工業の發達に貢獻する所大であらう。かくしてはじめて滿洲と共に日滿支ブロック經濟が秩序づけられるのである。これ等生産地域を考慮すれば北支が特に重大關係を有することが認められる。目下我が國は日支合辦で、我が資本技術を以て北支の石炭、鐵、鹽等の重要資源の開發に従事し、北支經濟の積極的指導に當りつゝある。こゝ

輸出するに絶好の取引國である。北支の埋藏量の多い石炭は我が國の指導によつて今後大いに開發さるべく、又大冶挑冲(安徽)の鐵鑛は事變前既に我が八幡に運ばれ、漢冶萍の銑鐵も我が國へ輸出されてゐたほどであるから、今後は他の鑛産物と共にこれ等龍大な鑛物資源は我が國の重工業の發達に資すべきである。棉花羊毛の改良増産が我が國輕工業の發展を利すべく、上海、天津、青島に於ける邦人の紡績業の著しき躍進も事變前の業績に徴して期して待つべきである。鹽



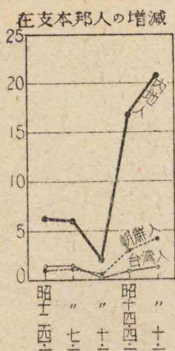
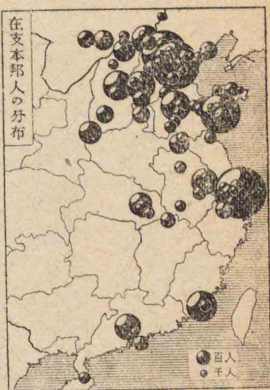
原料品、肉類等の食料品及油槽大豆、穀を輸出し、その額は我が全輸入額の一八分の一に當り、我が國からは

革類麻等の



に於て國防上滿洲に次ぐに蒙疆、國防經濟上滿洲、蒙疆に次ぐに北支、これに次ぐに中南支と、順次東亞の新秩序建設のため、我が國は東亞協同體の綜合的國防經濟計畫を實行中である。故に事變前は我が國へは棉花、採油原料、石炭、鑛石、皮





増加の傾向がある。

機械及同部分品、鐵、綿織物、紙類、水産物、精糖、毛織物等の精製品を輸入し、その額は我が全輸出額の一七分の一に當つてゐたが、最近は輸出に食鹽が、輸入に人絹及人絹織物、小麥粉、木材等が目立つて増加して來た。我が對支航空路網は日滿支一體に貢獻する所が大である。邦人の渡支するもの近時著しく多く、天津、上海、青島、北京、濟南、南京は勿論、張家口、厚和、石門、太原、漢口、厦門、廣東等にまで及び、尙續々

- (一) 支那の地勢、氣候、産業と我が國のそれ等との差異を擧げよ。
- (二) 北支、中支及南支を比較せよ。
- (三) 日滿支ブロック經濟の必要を述べよ。
- (四) 東亞新秩序建設の必要を述べよ。
- (五) 蒙疆地方の地理を説明せよ。

### 第三節 南洋

南洋は内南洋と外南洋とに分れ、内南洋は我が南洋群島を意味し、外南洋は印度支那半島、マレー諸島を含む。外南洋の總面積は我が國の六倍に當り、東南亞に位するが、東亞の外郭の意味で廣義の東亞に含ましめる。

#### 一 印度支那半島

**位置・區分** この地方は、アジヤ大陸の東南部の半島で、行政上、タイ(泰)國、佛領印度支那、英領マレー、ビルマ(緬甸)に分れるが、地理的には同一地域性を持つてゐる。

#### 地勢・氣候

印度支那山脈掌狀に縦走し、その各縦谷にメコン、メナム、サルウィン、イラワヂ等の諸河が相竝んで流れ、各下流に廣大な三角洲を造り、一山脈はマレー半島として長く南に延びる。氣候は熱帶性季節風帶に屬し、氣温による四季の別がなく、夏は南西風が卓越して雨季



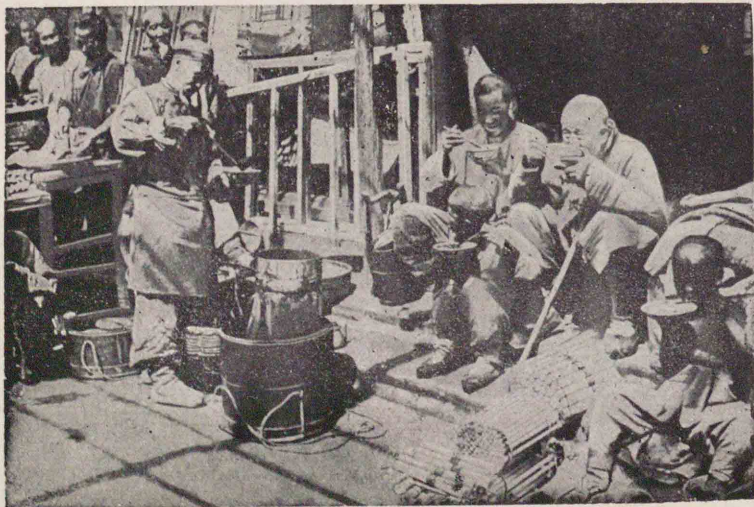




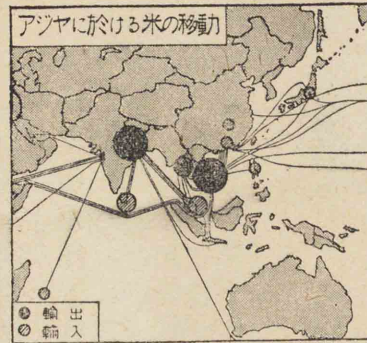
シンガポールの街上景観



ジャヴァの農山村



支那人の生活様式



となり、冬は北東風が吹いて乾季となる。

**産業**

各三角洲地域は米の好適地で、高温多雨のため収穫年二回以上に及び産額頗る多く、ソンコイ河流域の米はハノイに集り、トンキン(東)京米として外港ハイフォンから、メコン河流域のものはサイゴンに集り、サイゴン(西)貢米として同港から、メナム河流域のものはバンコクに集り、タイ米として外港、パクナムから、イラワヂ河流域のものはラングーンに集り、ラングーン(蘭)貢米として同港から輸出される。我が國にとつて米の重要な補給地帯である。又この地方は栽培ゴム、チーク材、無煙炭、鐵鑛、錫、石油等の重要資源に富んでゐる。

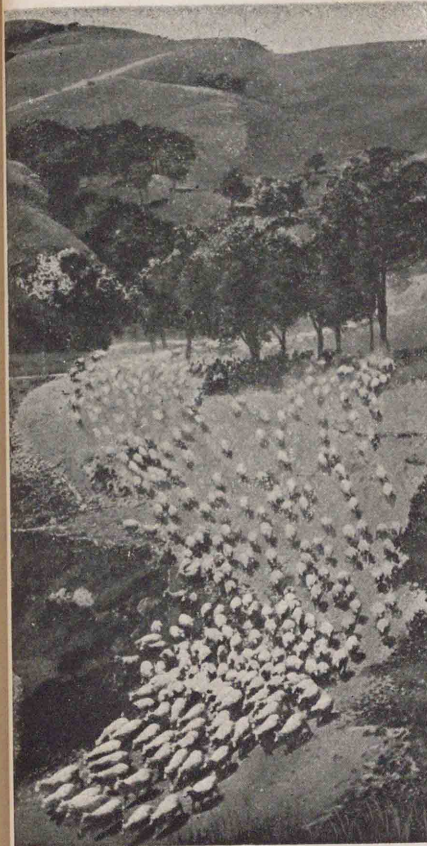
**處誌**

**泰國** (舊稱シヤム) 面積は約六二萬方

で、我が國の約九割に相當し、人口は約一、五五〇萬で、住民の九割餘は佛教徒である。從來英佛勢力の間の緩衝國として獨立を保つてゐたが、最近頓に國民主義勃興し、新興アジア民族として起ち、立憲君主國



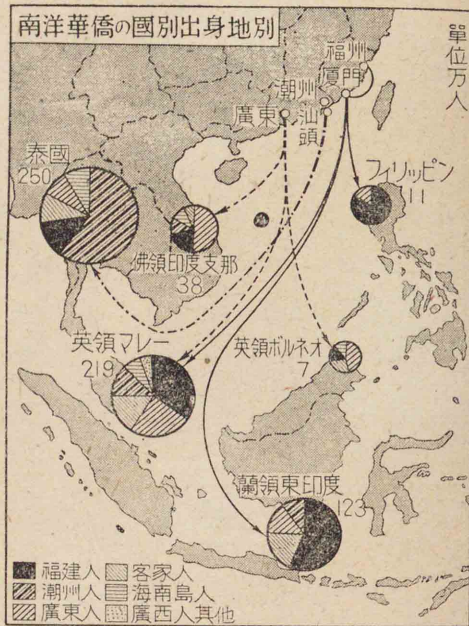
ニュージーランドの羊の群



セイロン島の茶畑



オーストラリアの羊毛の運搬と乾燥地域の景観



の國で、米は年産の三割を輸出する。北部はチーク材に富み、南部はゴムの栽培も進み、錫鑛は南部の半島に多く、大部分輸出される。以上の輸出品に對し、輸入品は綿織物、食料品、金屬製品等である。輸出先としては我が國は六位であるが、輸入は我が國が首位である。華僑は二五〇萬人と稱せられ、總人口の二割に近く、商業方面を獨占し、精米業、製材業に進出し、あらゆる労働も殆ど獨占してゐる。首府バンコク(盤谷)はメナム河に臨

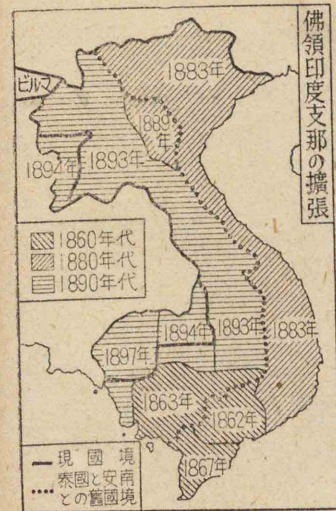
となり、我が國はこの國を援助し、日泰友好親條約を締結し、相共に東亞の共榮に貢獻することとなつた。嘗て天正慶長頃この國に邦人が渡り、日本人町をつくつたこともあり、最近には我が國が泰佛印間の國境紛争を調停した。總人口の八割は農民で、米作本位



み、一國の政治經濟文化の中心で、バクナムを外港とする。近時東京との間に定期航空路が開かれた。鐵道は奥地のシエンマイまで通じてゐる。

### 佛領印度支那

面積は約六三萬方呎で、我が國の約九割に當り、人口は約二、二〇〇萬で、安南人が約七割を占め、佛人は三萬人に過ぎない。華僑は三〇餘萬人で、經濟的の勢力を殆ど獨占してゐる。フランスは東洋經營に志し、安南國から交趾支那カウチン首府サイゴンサイゴンの割讓を受けて直轄植民地とし、次に同國のカンボヂヤ王都プノンペンプノンペン、トンキントンキン首府ハノイハノイ及安南アンナム王都ユエユエそれぞれ自身を保護國とし、シャムからラオス國ラオス王都ルアン普拉バンルアンプラバンを獲得して保護國とし、現在の佛領印度支那聯邦を構成した。尙その上隣接支那から廣州灣を租借し、ハノイから國境老開ラウカイを経て昆明に通ずる滇越鐵道インシヤウを敷設した。米が主産で、棉花・ゴム・茶・甘蔗等も産するが、輸出の半は米で、ゴムは一割五分に當る。鑛産は石



佛領印度支那の擴張

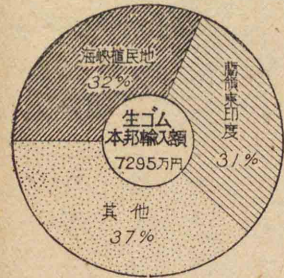
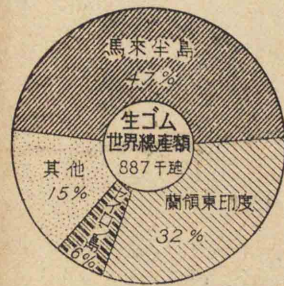
炭が主で、ホンゲイ炭の名によつて我が國にも知られ、品質優良な無煙炭で、三分の二は我が國及附近の國へ輸出してゐる。錫・亞鉛・タンングステン等も産出して輸出される。輸入品は綿織物が主であるが、輸出入共佛國が過半を占め、我が國は第六位である。我が國が佛印と取引の少いのは佛國が輸入制限策を講ずるためであつて、邦人の在留者の少いのも外人の企業を極力制限してゐるからである。交趾支那の中心サイゴンは佛印最大の經濟都市で、貿易港と軍港を兼ね、シロンはその外港である。トンキンのハノイハノイ（河内）はソンコイ河畔に位し、政治の中心で、總督はこの地に駐在し、航空路はパリとの間に開けてゐる。外港ハイフォンハイフォン（海防）は佛印第一の商工業地で、我が汽船も定期に發着する。安南のカムラン灣は良港灣である。

### 英領マレー（馬來）

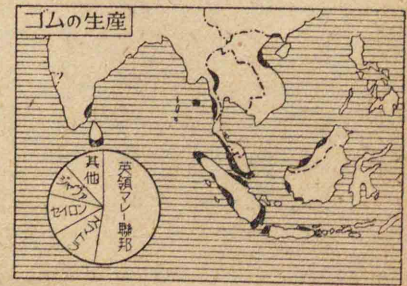
面積は約一三萬方呎で、海峽植民地・マレー聯邦・マレー非聯邦から成る。海峽植民地はシンガポール・マラッカ・ピナン等を含み、西歐人の東洋進出最古の根據地で、最初は葡人、次は蘭人、最後は英人によ



つて領有され、シンガポールはジョホール王との條約によつて割讓されたものである。人口は約五〇〇萬で、内マレー人は約二〇〇萬、華僑は約二二〇萬で、歐洲人は僅か二萬人に過ぎない。ゴムはブラジルより移植したものから始まり、南米の野生ゴムの市場を奪つて、セイロン、蘭印産のゴムと共に世界市場を壓し、米國を始め各國に輸出される。ジョホール附近には邦人のこの栽培に従事する者が多い。錫はゴムと並ぶ重要資源で、世界の首位(四割)を占め、英支人の投資によつて採掘され、米日諸國へ輸出される。鐵鑛



はジョホール州及其の附近に産し、採掘は我が國の手で行はれ、殆ど全部我が國に送られる。我が國は輸出入共第三位で、我が國より輸入する綿布、人絹布類には輸入制限が行はれてゐる。



シンガポールに於ては總人口七二萬中五五萬までが華僑で、各方面に勢力をもつてゐる。シンガポール(新嘉坡)・ピナンは各一小島上に在り、共に位置が優秀なために發達し、前者は東亞印度濠洲に至る三主要航路の焦點に當り、伸繼貿易が盛であり、又英國の海軍根據地があり、ロンドンとの間には航空路が開けてゐる。シンガポールは香港と共に政治、經濟、軍事上の英國の東亞に於ける前進基地である。ピナン(彼南)はマラッカ海峽に臨むマレー第二の港市であり、マラッカは歴史的の港である。

ビルマ(緬甸) 面積は六〇萬方呎で、我が國より稍狭い。人口は一、四〇〇萬で、ビルマ人が約九割を占めてゐる。嘗て王國であつたが、印度の一州となり、近時分離して英國の直轄植民地となつた。米作が主で、棉花、チーク材等を産し、石油、鐵錫、タングステン等に富み、これ等を輸出するが、資本は殆ど英國系の獨占である。輸出入とも印度及英國が優勢で、我が國が輸出に於て第六位、輸入に於て第三位、綿織物、人絹織物等を占めるのは輸入制限を受けるからである。イラワヂ川の下流平野に首府ラングーン、



中流にマンダレー、雲南との國境にラシオバモ等があり、これ等は英國が陸路により支那へ進出する通路に當る。

- (一) 印度支那半島の重要資源について 詳述せよ。
(二) 我が國と印度支那半島との關係を 統括して述べよ。

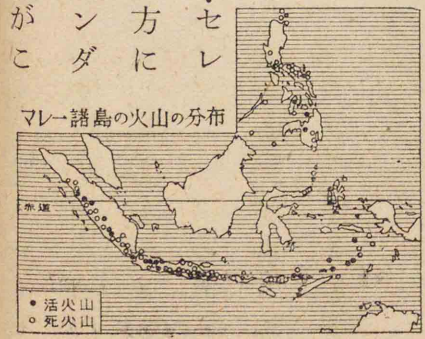
二 マレー諸島

位置・區分

外南洋の南部を占め、我が臺灣の南に當り、米英蘭葡四國の植民地で、主なものには米領フィリッピン諸島、蘭領東印度に屬するジャヴァ島、スマトラ島、ボルネオ島、セレベス島、モルッカ諸島等である。

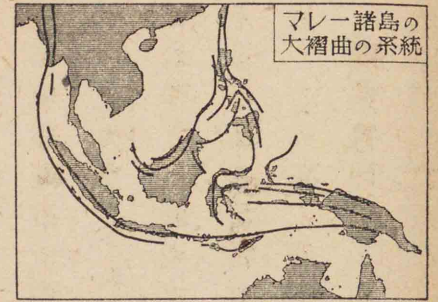
地勢・氣候

臺灣の褶曲と火山とはフィリッピン・セレベス及ボルネオにつき、フィリッピン海溝がその東方にある。印度支那山脈の繼續はスマトラ・ジャヴァ・小スンダ列島の骨格を形成する一大彎曲をなし、多くの火山がこ



マレー諸島の火山の分布

れに伴つて噴出してゐる。氣候は赤道の南北に跨るため純熱帶性で、氣温高く、年中の較差が殆ど無く、乾雨の二季にのみ分れるが、一般に降水量多く、従つて植物はよく繁茂する。



マレー諸島の系統の大褶曲

フィリッピン(比律賓諸島)が總人口の九割を占め、白人華僑との混血も多く、歐米化されてゐる。スペイン領から米領となり、最近では自治を許され、一九四六年に完全に獨立することになつてゐる。白人は僅かに一萬二千人で、華僑が約一〇萬人もあるが、今は入國を禁ぜられ、邦人は約二萬二千



中作業倒切麻ニラマの移民邦木の

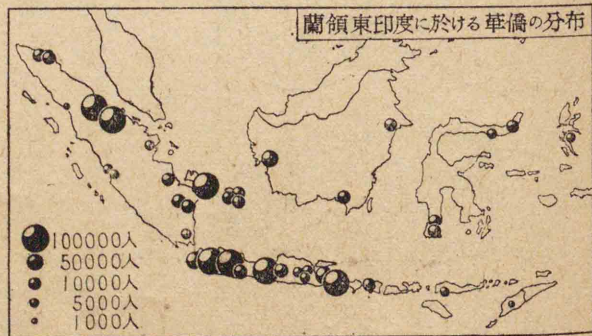


人で、内一萬四千人はダヴァオに集つてゐる。華僑はこゝでも經濟的に活動してゐる。農業が主で、米、甘蔗糖、コブラ（世界一位）、マニラ麻（一位）、煙草等を産し、又ラワン材に富み、我が國へ輸入し、「南洋材」として知られてゐる。鑛物は金、鉛等を産し、鐵鑛は石炭に乏しいため殆ど全部我が國へ輸出される。我が國にマニラ麻、木材、鐵鑛、葉煙草等を輸出するのに對し、我が國から綿織物、絹織物、メリヤス等を輸入する。取引國は米國が首位で、我が國がこれに次ぐが、近年輸入制限を受けてゐる。首府マニラはルソン島の中心港市で、米本國とは太平洋横斷航空路によつて連絡してゐる。附近のカヴィテは米海軍の重要な根據地である。ミンダナオ島のダヴァオは邦人經營のマニラ麻栽培の中心地で、外南洋第一の我が國拓植開發地を成し、麻の産額は全比島の三分の一に及び、輸出品の七割は邦人商社が扱つてゐる。我が汽船はマニラ、ダヴァオ、サンボアンガ等に寄航する。

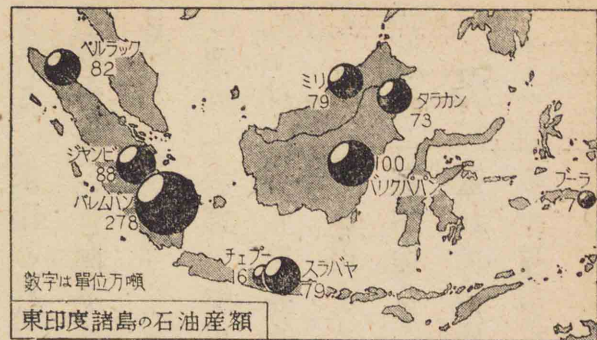
**蘭領東印度** 面積は一九〇萬方呎で、我が國の三倍に近く、和蘭本國の五八倍に當る。人口は約六、一〇〇萬で、土人は約五、九〇〇萬（九八%）華僑



は一二三萬、蘭人は二四萬、邦人は約六千人で、蘭人の大部分は蘭印生れか又は混血兒である。この地の華僑も各社會に優勢である。東印度會社所有から和蘭本國の植民地となり、總督がバタヴィヤに駐在してゐる。米作の外、ゴム（世界二位）、甘蔗糖、茶、コーヒー（三位）、規那（二位）、椰子油（一位）、コブラ（二位）、煙草香料（胡椒）<sup>コシヨウ</sup>（胡椒）是一位カポック（パンヤ）一位等の熱帶農産物を豊富に産し、何れも大部分輸出される。砂糖はジャヴァ糖と稱して世界的に知られ、粗糖を我が國及歐洲に輸出する。紅茶はジャヴァが主産地で英國へ送る。ゴムは英領マレーに次ぎ、世界の約三分の一を産し、遅れて發達したものであるが、今やジャヴァは勿論、スマトラ、ボルネオ等にも發展性が大きい。規那はキニーネの原料として世界の需要の約九割を供給してゐる。鑛産は錫、石油共に名高く、

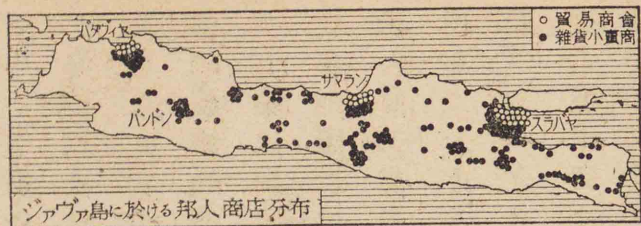
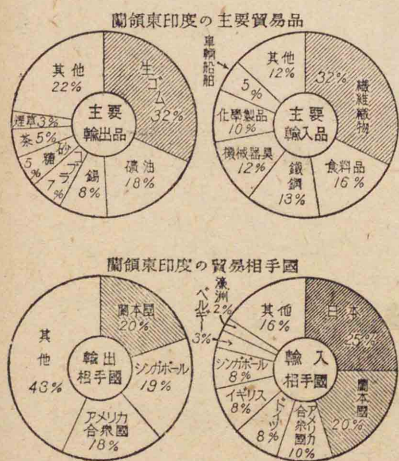






錫は世界の約二割を産し、バンカピリトン・シンケブの三島に採掘され、その五割は米・日・英等に輸出し、米國は最大の取引先である。石油はスマトラ・ボルネオ・ジャバ等に産出し、シンガポール・日支等に輸出し、英米の會社が採油權と販賣を競ひ、我が國も若干參加してゐる。輸出品のゴム・石油・椰子油・錫・コブラ・砂糖・茶・煙草・香料・コーヒー等に對し、輸入品は綿織物・綿絲・食料品・金屬・機械類等で、輸出先は蘭シ・ガポール・米・英・日の順

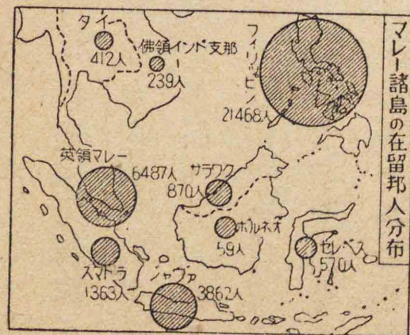
位で、輸入相手國は日・蘭・米・獨・英の順位で、我が國へは石油・ゴムが國が首位である。我が國へは石油・ゴム・砂糖・木材等を輸出し、我が國から土人向綿布・絹布・鐵器類・自轉車・陶磁器・雜貨類が多



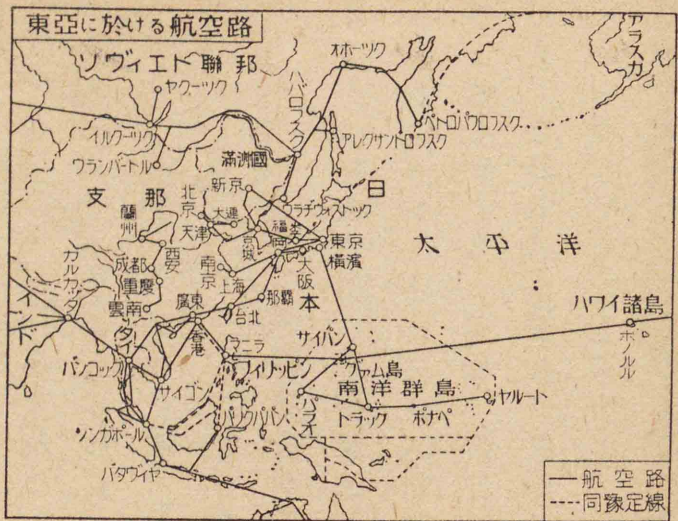
く輸入され、殊に綿布は英領印度に次ぐ主要市場で、その進出が著しかつたので、最近日蘭會商が行はれて輸入制限を受けた。和蘭本國とバタヴィヤとの間には定期航空路がある。ジャバ島は米・甘蔗・茶・コーヒー・煙草・規那石油等に特色が見られ、首府バタヴィヤはその西部にあり、政治・經濟・文化の中心で、又有數の港市である。同島東部のスラバヤ、中部のサマランは共に砂糖の輸出港である。スマトラ島は煙草・ゴム・茶・椰子油・コーヒー・石油・錫等に特色が見られ、北部にメダン、南部にパレンバン、西部にパダン等がある。ボルネオ島はゴム・コブラ・木材・石油等に特色が見られ、バリクパパン・バンジエルクマシ・ボンチャナク等の中心があり、英領ボルネオには中心サンダカン・タワオがある。セレベス島はコブラ・香料(肉荳蔻)に特色があり、メナド・マカッサルが中心である。モルッカ諸島は香料(丁香)小スンダ列島はコブラの主産地である。



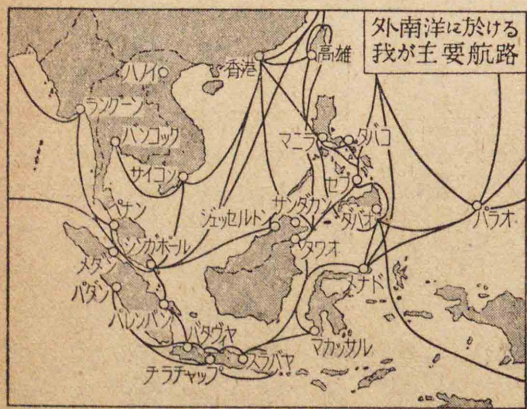
南洋と我が國との關係 南洋の資源の世界に於ける地位は、ゴム九割、椰子油四割、コブラ七割半、規那九割、麻五割半、米二割、錫五割半、タンングステン一割、石油三分で、東亞共榮圈の一部としてブロック經濟構成のために必要なゴム、麻、砂糖、棉花等の熱帯農林資源、錫、石油、鐵鑛、無煙炭、ニッケル、マンガン等の鑛産資源等をこの地方は豊富に包藏してゐる。鯨鮪等の漁獲のためにも我が漁夫は出漁してゐる。泰國以外は悉く歐米の植民地で、政治的經濟的勢力圏内にあり、歐米人は農業投資植民地として農園農業を行ひ、輸已向原料及食糧品を生産してゐるが、これ等は我が國の夙になすべきことであつた。而して歐米人は工業未發達のこの土人に對して精製品を輸出しつゝある。これこそ東亞のブロック内に於て供給さるべきもので、我が綿織物その他の工業品の最近の進出はこれを證するものである。英佛蘭米諸國人は本國から自國船による航路と航空路を有し、



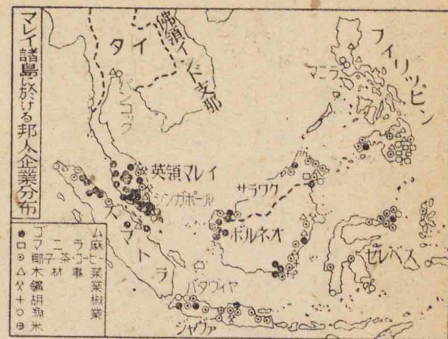
入卸商も相當に進出してゐる。その他は水産業工業農業に従事してゐる。南洋の華僑は六〇〇萬と稱せられ、あらゆる事業とあらゆる地



經濟的關係の維持發展に努めつゝある。これも我が國の汽船の進出すべき所である。全人口一億三千萬に對し歐米人は僅かに數十萬に過ぎず、在留邦人は約四萬人で、比島の二萬二千人が最も多く、

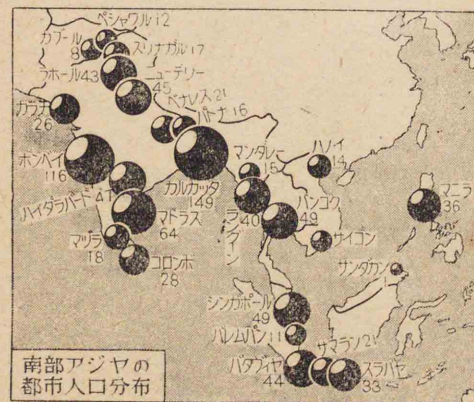






域に浸潤してゐるが、新式工業及貿易事業には歐米人に壓倒されてゐる。邦人が進出の遅れた理由は、歐米諸國に比し發展上立遅れたこと、従つて資源開發事業に先鞭を着けられたこと、最近は政治的理由から邦人の入國制限、企業上の障碍等が多くなつたこと、種々の人種が居て邦人に對する感情に誤解のあること等で、英蘭佛米の警戒、華僑の排日の如

きはその例證であるが、泰國民とは益友好關係にあり、多數を占める土人は日本人に親しみを感じてゐる。華僑の好悪も時に變化がある。世界的の大變動は歐米の支配的植民地から脱して、東亞人の東亞共榮圈の完成に好機を與へつゝあり、貿易、投資、移民の發展、華



僑との親和互助も遠からず實現さるべきである。

- (一) マレー諸島と我が國との氣候・産業を比較せよ
- (二) 熱帯植民地としての外南洋と各本國との關係を説述せよ
- (三) 我が國とフィリッピン諸島及蘭領東印度との關係を別々に説述せよ
- (四) 我が國と南洋との關係を總括して述べよ

#### 第四節 極東シベリヤ

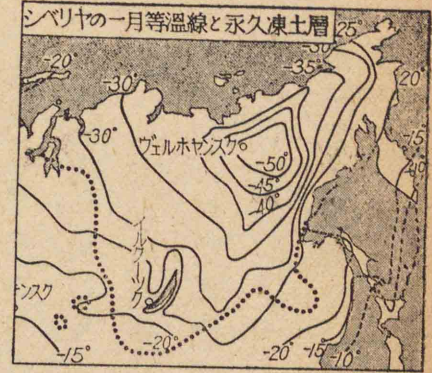
##### 位置・區分

シベリヤは略北緯五〇度以北を占め、西はソ聯本國、南は支那及滿洲に接し、東は我が國及ベーリング海峽を隔てて北米大陸に對する。外蒙古、滿洲、朝鮮、樺太等に於て、日滿支三國と密接な關係がある。シベリヤの面積は約一、二〇〇萬方浬であるが、こゝには東亞の外郭として極東シベリヤ(イルクーツク州以東)を述べる。地理的に大別すると**高地帯**、**森林帶**、**凍土帶**の三區となる。

##### 自然

東部は高地をなし、ヤブロノイスタノヴォイサーヤン等の山脈





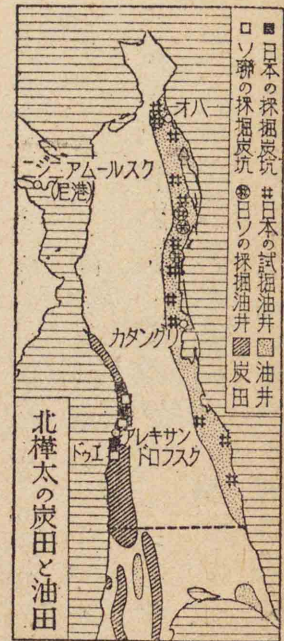
高緯度の地方であるから寒暖の較差が大である上に、東部には山脈があつて海の影響を絶ち、北極海からは寒風が容易に吹き込むため、内陸は一層較差が甚だしく、ヴェルホヤンスクの如きは一月と七月との較差が六〇度に達する。降水量は少く、一般に乾燥して凌ぎ易い。

北樺太の中心はアレキサンドロフスクで、我が國は尼港事件の代償としてオハ油田及ドウエ炭田の採掘権を得た。ソ聯領内の日本海・オホーツク海及ベーリング海は世界三大漁場の一つで、日露戦役

が走り、その縦谷にバイカル湖を湛へ、又黒龍江・レナ河等の本支流が流れるが、一般に高臺性で、西部の斜面にはエニセイ河が北流する。太平洋岸にはオホーツク海・カムチャッカ半島及樺太島の變化があり、カムチャッカ半島には火山が多い。露領樺太は我が南樺太と同一地形の繼續で、大陸と間宮海峡で境する。

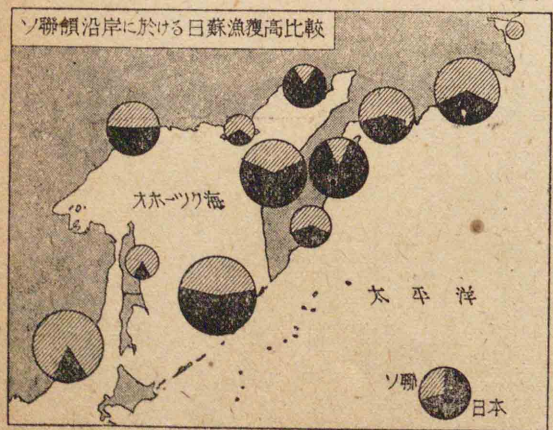
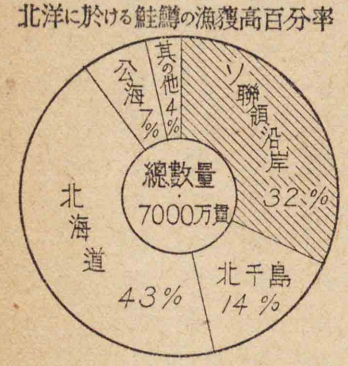
人文處誌

の結果我が國の漁業權が確認せられ、鮭・鱒・蟹・鱈・鯨等を漁獲する所謂北洋漁業に出漁する邦人が多く、黒龍江口のニジニエアムールスク(ニコライエフスク、カムチャッカの

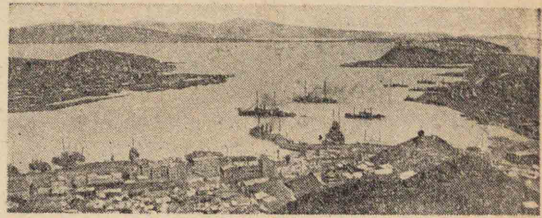


の根拠地で、鮭罐詰類は主に英國へ輸出される。臘豚獸の繁殖地としてコマンドル諸島がある。黒龍江流域及それ以西の山地には金・銀・鐵石炭等の鑛物を埋藏し、一部は採掘され、農業も亦行はれる。シベリヤ鐵道はウラヂヴォストクからカリムスカヤま

北洋に於ける鮭鱈の漁獲高百分率



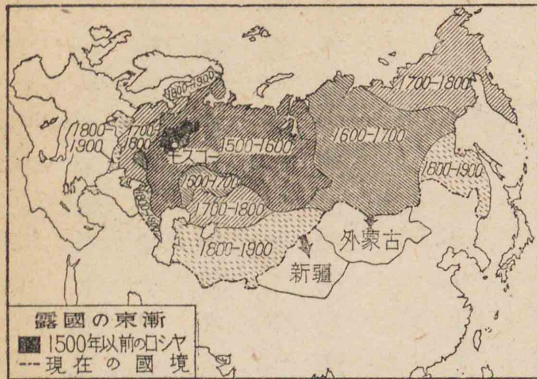
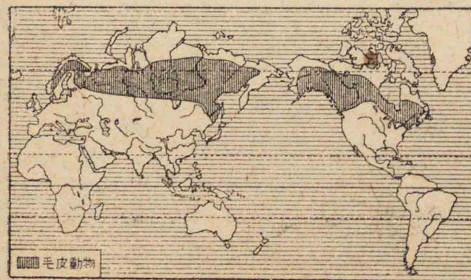




ウラヂヴォストック港

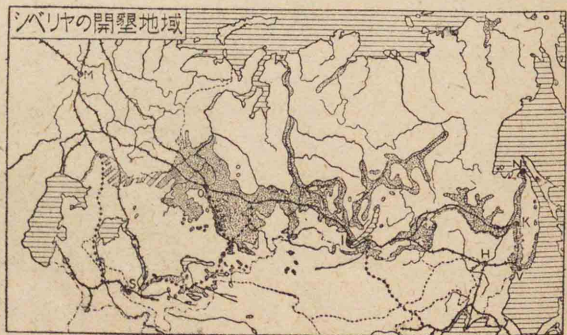
では國境を走る極東線黒龍江線で迂回し、イルクーツクを経て、モスコーに達する。ハルピン經由の場合には滿洲の濱洲、濱綏兩線を利用する。この鐵道は露國が極東に發展せんとして政治上、軍事上のために設けたもので、歐亞の連絡に役立ち、鮮滿から滿洲里經由が最も時間の短縮になる。冬は橇の使用が盛である。黒龍江は冬季凍結するが、他の季節は水運が便で、ニジニエ、アムールスク、ハバロフスク、ブラゴヴェシ、チェンスク等の河港がある。海外貿易は

ウラヂヴォストックで行ひ、北滿との國境貿易はブラゴヴェシ、チェンスク、外蒙古との取引はトロイコサフスク(キヤフタ)に於て行はれる。ウラヂヴォストック(浦鹽斯德)は重要な門戸で、我が敦賀及北鮮との關係は頗る密接で、冬は碎氷船を必要とする。バイカル湖の東にチタ、西にイルク



ツクがあり、共に交通、經濟の中心で、イルクーツクは炭田によつて**アンガラ**バイカル重工業地帯が興りつゝある。**森林帶**には寒帶性針葉樹林が廣く東西に連なり、中に住む**狐**、**貂**から貴重な毛皮が獲られ、**ヤク**、**ツク**はその取引の中心である。樹木限界の北

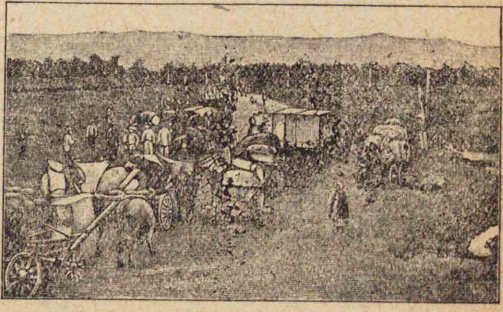
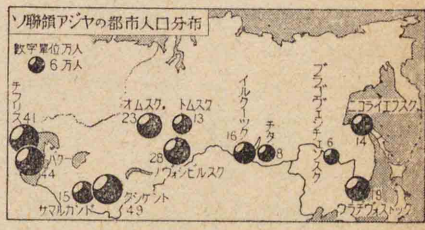
は**凍土帶**(ツンドラ帶)で、一年の大部分は地下深く凍つてゐて、夏季は地表に苔が生じ、馴鹿が飼はれる。



住民の九割はヨーロッパから移住したスラヴ族で、ギリヤーク、ツングース等の土人は人口少く、遊牧狩獵を營む。露國は最初國事犯の流刑植民地として經營したが、開拓の進むにつれ、自由移民が増加し、シベリヤ鐵道開通後



はその沿線に著しく發展した。我が國と特殊關係にある滿洲國との接壤地域であるため、シベリヤと我が國とは重大な關係を有し、彼我が國防は緊張状態にある。ソ聯は近來外蒙方面に發展し、漸次勢力を占めるに至つた。シベリヤは行政上ヨーロッパシヤと共にソヴィエト聯邦を組織する。

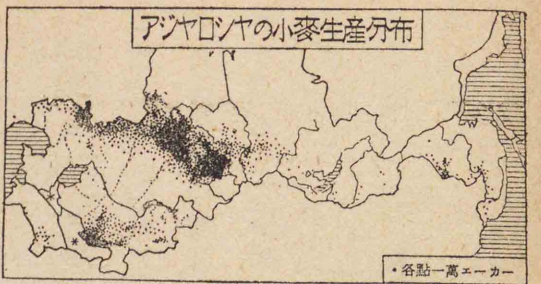


移民がシベリヤへ

(一) 東シベリヤの資源を説述せよ。 (二) 東シベリヤと我が國との關係を述べよ。

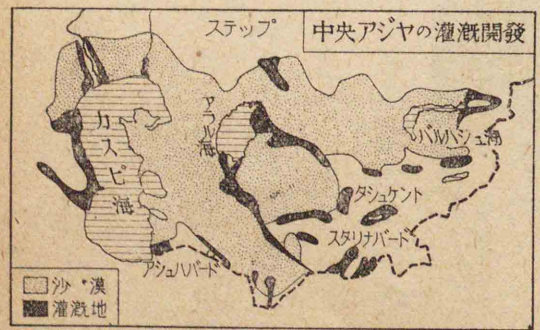
### 第三章 西部シベリヤ及中亞

西部シベリヤ 極東シベリヤの高地帯から西部シベリヤに下ればオ



ビ河流域の大低地が横たはり、草原帯をなし、夏季比較的高温のため小麦を始め燕麥ライ麥馬鈴薯等の産多く、シベリヤの穀物倉と謂はれ、トムスク・オムスクの中心都市がある。サーヤン山麓地方にはクズネツクの石炭とウラル及ミヌシンスクの鐵鑛とによつてクズネツク(スターリンスク)に重工業が勃興した。ノヴォシビルスクも新興工業地である。この地方もソ聯共和國の一部で、最初のシベリヤ移民の入植した地方である。

中亞 北部はシベリヤに續く草原で牧畜が行はれ、南部は概ね沙漠であるが、シル河・アム河による灌漑工事が大規模に進み、棉の産出が多い。ここもソ聯共和國の一部で、中心はタシケントである。ソ聯





はこの地方から新疆地方に勢力を伸しつゝある。

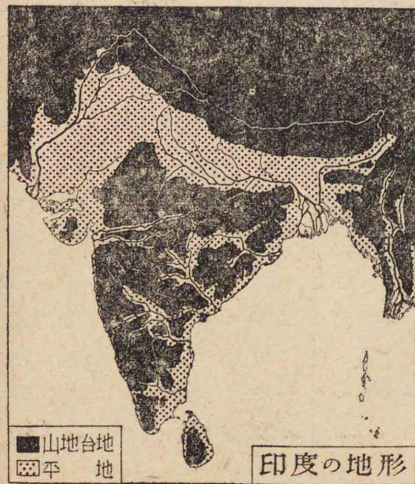
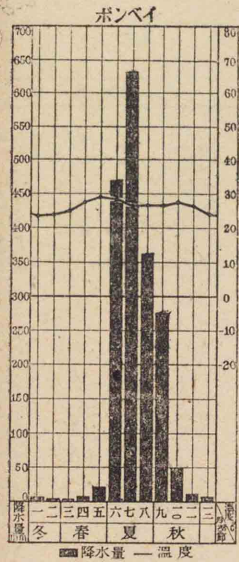
## 第四章 印度

### 位置・區分

印度は南部アジアの中央に突出する半島で、行政上の印度帝國からベルチスタンを除き、セイロン島を加へたもので、面積約三八〇萬方呎、地理的には、半島部印度平野・ヒマラヤ山地の三區となる。

### 地勢

半島部デカン高原は西部を熔岩で蔽はれた臺地で、その西縁を西ガッツ山脈と呼ぶ。北方のヒマラヤ山地は高峻を極め、世界の最高峯エヴェレスト山がある。南北兩高地間の印度平野はインダスとガンジスとの二流が相反して流れ、

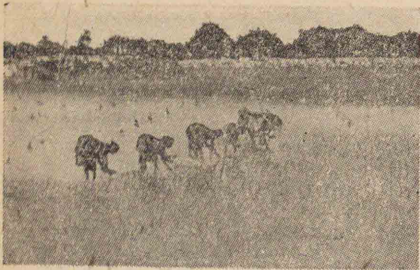
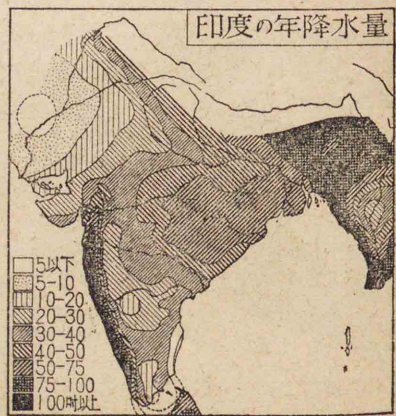
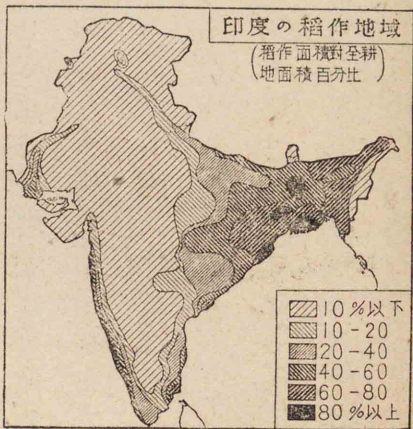


ガンジスの下流とブラマプトラ河との會合點に大三角洲がある。

### 氣候

純熱帯

性で、夏は南西季節風卓越し、雨量はマ



植田の附近のラスマド

ラバル海岸及ビルマ山地の西麓に多く、殊にアッサム丘陵地は世界最多雨の地である。冬は反對季節風が吹き、コロマンデル海岸の外は雨量が極めて少い。年中最も寡雨なのはインダスの流域で、そこにタール沙漠及パシヤブの乾燥地がある。

### 産業・交通・處誌

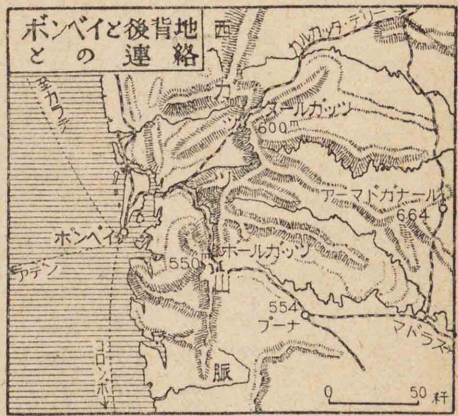
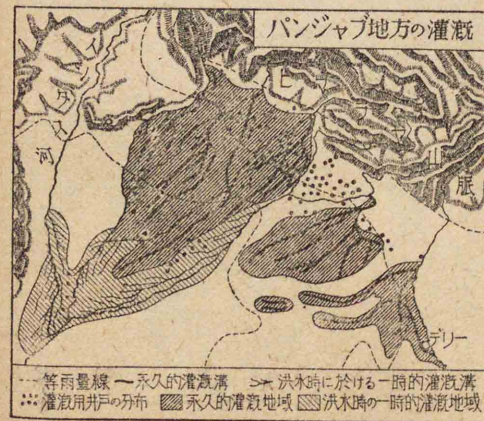
印度は風土よく農牧に適し、その生産は多種多様で、米(世界一位)、小麥、甘蔗糖(二位)、棉、コ





ヒール茶、ジュート(黄麻)二位、藍阿片、牛二位等の産  
 が特に多い。米作は印度平野に多く行はれ、  
 高温多湿で年二回以上の收穫がある。小麦  
 はパンジャブが主で、ヒマラヤの融雪の水を引  
 く大規模の灌漑設備によつて大量に生産さ  
 れ、カラチから輸出される。棉はデカン高原

の黒土地方が地味が肥え、保水力が強く、栽培に  
 好く適し、ボンベイはその地方と容易に連絡し、  
 世界屈指の棉の集散地となり、綿絲紡績綿布の  
 製造が盛であるが、尙日英から輸入する。棉花  
 の輸入のため我が汽船の往來が多い。茶はアッ  
 サム丘陵の傾斜地が多産地で、セイロン島は紅  
 茶の良質で知られ、コロンボ港から盛大に輸出  
 する。ジュート、甘蔗藍等は平野に産する。半島

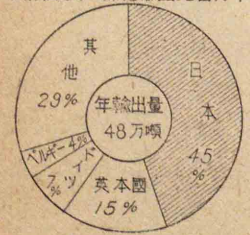


金屬・機械器具等を輸入し、貿易額は大である。取引は英本  
 國との關係最も深く、我が國これに次ぎ、近時英本國と我  
 が國と貿易上の競争が甚だしく、日印會商となり、輸入品  
 が制限された。我が國へは棉花、銑鐵、麻皮革、豆類、鑛産物  
 等を輸出し、又綿織物、綿絲、人絹織物、人造絹絲、硝子製品、毛  
 織物、鐵及鐵製品、メリヤス、生絲、陶磁器等を輸入する。

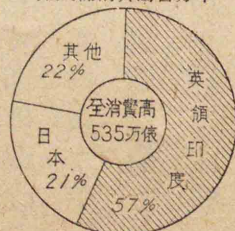
部は又石炭、鐵鑛、マンガニ位等に富み、鐵鑛は  
 五割を輸出する。工業は尙振はず、綿絲綿織物  
 の製造獨り盛で製麻がこれに次ぎ、前者の中心  
 がボンベイであるに對し、後者はカルカッタであ  
 る。

外國貿易は主として原料品棉花、ジュート、採油原  
 料、鑛産物、皮革、綿絲等及食料品(米、  
 小麦、茶等)を輸出し、精製品(綿織物、

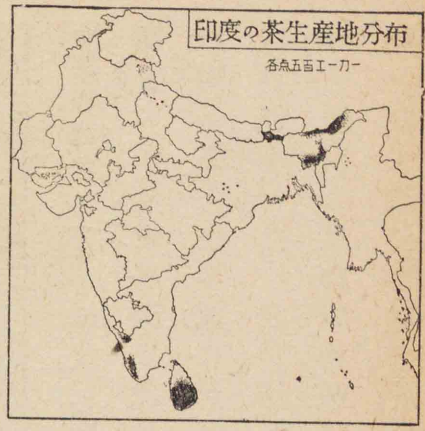
英領印度の棉花輸出先百分率



印度棉消費高百分率





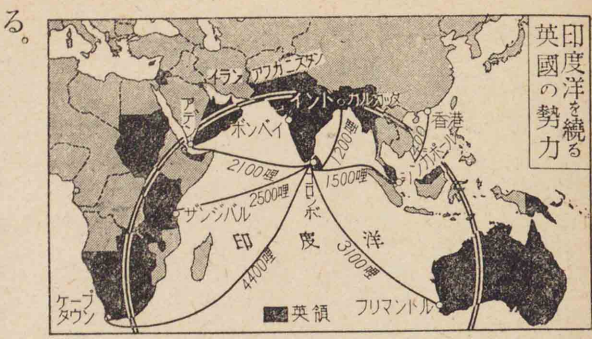
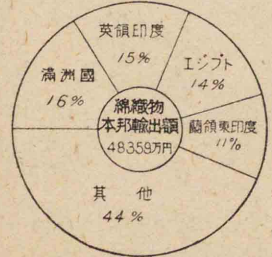
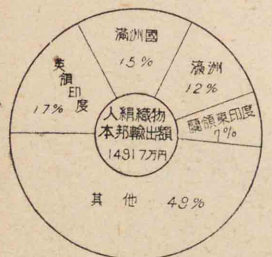


平野の經濟上の中心都市カルカッタは貿易港で、印度の政治の中心都市はデリーである。ヒマラヤ山地は支那との間の一大障壁をなし、前山にあるダーチリングはカルカッタに在るベングル政廳、シムラはデリーに在る印度政廳の夏季の避暑地で名高い。半島の東岸にマドラスがある。セイロン島は半島の尖端に横た

はり、コロンボは印度洋上の位置が優秀なため、英國はこの島を特に直轄植民地とした。航路はカルカッタ・ボンベイ・コロンボ及カラチ等より諸外國に通じ、我が汽船もボンベイ・カルカッタに航路を開く。英本國との間にはカルカッタから連絡航空路がある。

住民政治

原住民族のドラヴィダ族はデカン高原の一部に残存する。ヒン



ズー族は住民の大部分を占め、古代文明の進歩は著しかったが、今は文化は不振の状態にある。然し近時アジアに住む民族として覺醒し、イギリスの羈絆を脱せんとする意氣を持つてゐる。宗教はヒンヅ一教(六八%)最も勢力を有し、ベナレスが靈都で、回教(三二%)これに次ぐ。佛教は今本土にその跡を絶つて、セイロン島のみ盛で、北方のブダガヤに遺跡が残るに過ぎない。人口は約三億四千萬で、最密地域はガンジス平原の下流、疎な所はインダスの平原である。

歐洲人の東漸以來、葡佛經營の後を受け東印度商會の經營が成功して、印度帝國が成立し、イギリス王が印度皇帝を兼ね、皇帝の任命した總督がこれを治めてゐるが、自治獲得よりも完全獨立の要望が盛である。



- (一) 我が國と印度との關係を詳述せよ。
- (二) 印度の産業を説き、且つ我が國にとつて重要なものについて説述せよ。

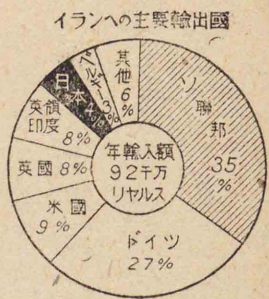
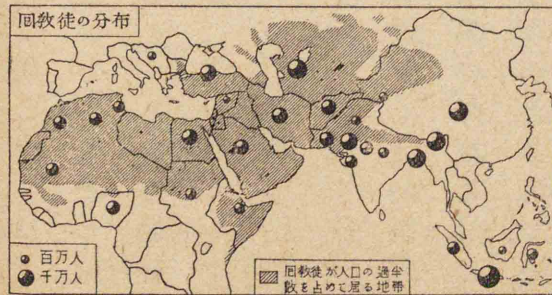
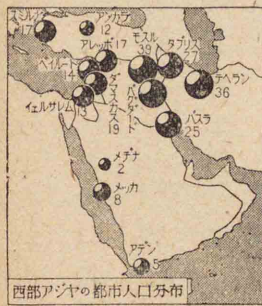
### 第五章 西亞地方

- (三) 印度の氣候と産業の關係を述べよ。
- (四) 印度の降水量と農業との關係を述べよ。

一般に高臺で乾燥地域をなし、酷熱で而も寒暑の較差が極めて大であるが、地中海沿岸のみ所謂地中海性氣候である。この地方は回教圏の中樞で、近時我が綿織物その他の商品の輸入が顯著で、將來の我が商圏の發展すべき地域である。

#### 一 北部高原(イラン・トルコ)

(一) **イラン地方** 印度の西に在り、諸山脈に圍まれた内陸流域の高原で、概ね沙漠をなし、従つて遊牧が主

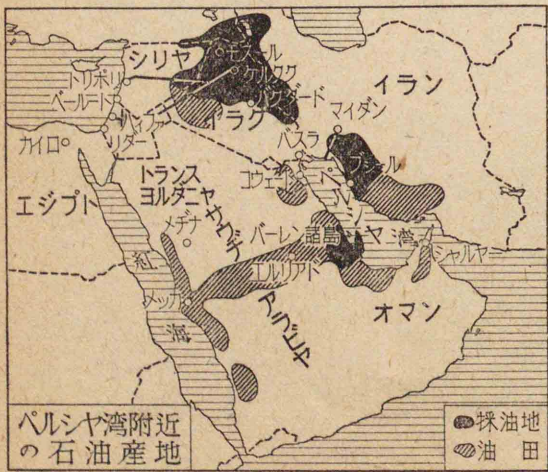


である。

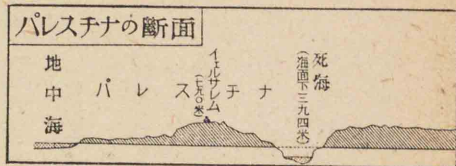
(1) **ベルチスタン**は印度帝國の一部である。(2) **アフガニスタン**は英ソの緩衝地帯をなす立憲王國で、首府を**カブール**といふ。(3) **イラン**(舊稱**ペルシヤ**)は英ソの緩衝地帯で、イラン族の立憲王國である。油田(世界四位)は大いに世界の注意を惹き、泉地**テヘラン**が首府である。

(二) **トルコ**(**土耳其**) 小アジア半島の高原を占める共和國で、第一次世界大戰の結果歐亞に互る廣大な領土を失つたが、近時國勢の振興に力めてゐる。首府は**アンカラ**である。

(三) **コーカシヤ** ソ聯に屬し、**バクト**の石油は世界的に著名で、黒海岸の**バツーム**から輸出する。







二 メソポタミヤ(イラク)  
 チグリス・ユーフラテス兩河の平野で、雨量は少いが、山地に養はれた河水の潤で古代文化の發達した所、今はバグダード・モスル地方の油田が重要視される。バグダード鐵道はイスタンブールの對岸スクタリより發し、首府バグダードを経てペルシヤ灣頭に達してゐる。

三 アラビヤ半島

卓狀の一大地塊で、紅海地溝帯によつてアフリカ大陸から分離したもので、地理的には北アフリカに酷似する。

(一) シリヤ地方 地中海性の景觀をもつてゐて、内陸は沙漠に漸移する。パレスチナはユダヤ人の郷土であるが、英國の統治下にアラビヤ人と争つてゐる。この地はキリスト教の發源地で、ベテレヘムは



ベテレヘムに巡禮の到着

キリストの誕生地、イエルサレムは墳墓の地、共に巡禮參拜者が古今を通じて多い。シリヤは佛國の委任統治下にあり、泉地のダマスカスは隊商貿易の中心である。トランスヨルダニヤ(テラク)は英國の委任統治下にゐる。

(二) アラビヤ(サウヂアラビヤ等) 沙漠が主で、紅海沿岸は回教の發源地で、マホメットの誕生地メッカ及墳墓の地メチナは巡禮者が絶えない。

(三) アデン 紅海の口を扼し、交通上軍事上重要な位置にあるため夙に英國の直轄植民地となつた。

(一) 西亞に於ける列國の勢力を説述せよ。

(二) 西亞の資源及民族について説述せよ。

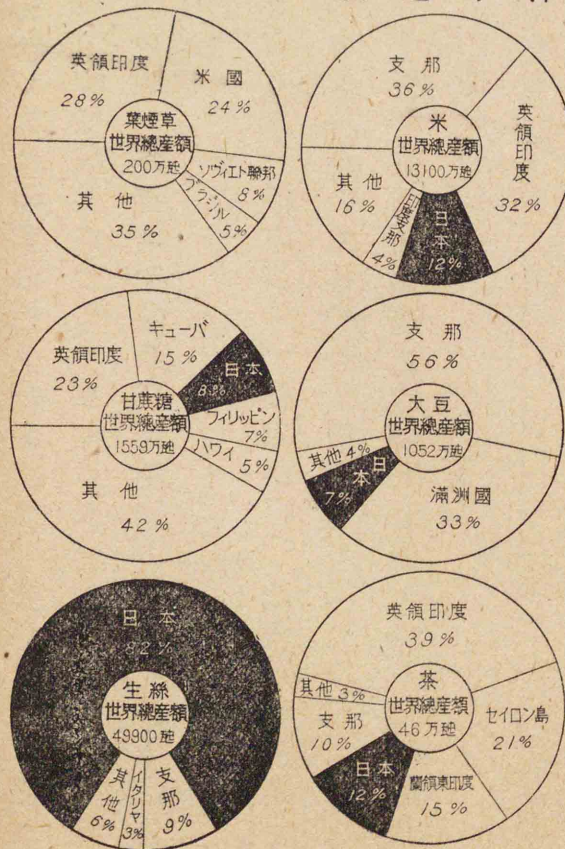
第六章 アジヤの人文總説

産業

古來農業が最も主要な産業で、季節風帯の米・茶・大豆・生絲・ゴム



等は世界に於ける殆ど独占的主産地で、棉煙草砂糖等は新大陸と對立する主産地である。比較的低温寡雨な北滿パンジャブシベリヤ草原帯は小麦を産する。牧畜は耕地帯では舍飼、草原帯では放牧が行はれる。石炭、鐵は東亞、石油は西部高原マレー諸島、金はシベリヤ、錫はマレー半島に産するが、未だ採掘は餘り進んでゐない。近代工業は我が國を除けば一般に盛でなく、ただ東洋風の美術品が所々で手工的に製造されるに過ぎない。アジヤ洲は農産は多いが、工業は振はなないため、歐米及我が國に原料を供給し、精製品を購入する貿易状態にあるが、これは我が國を



近代的工業は我が國を除けば一

指導國とするアジヤのブロック經濟を新に建設すべきである。上海・香港・シンガポールは勿論、幹線より離れた大連・天津・カルカッタ・ボンベイ等も各取引が盛である。

**交通**

鐵道の殆ど無い地域では駱駝・ヤク・馴鹿等が用ひられる。鐵道網は歐米に比して著しく劣るが、シベリヤ鐵道・バグダード鐵道等の如き政治的意義ある鐵道の存在は注目に値する。航路は上海・香港・シンガポール・コロンボ・アデン及スエズ等を経由する幹線が最も交通頻繁で、生産消費能力の最も大な季節風帯を貫いてゐる。

**住民**

ヒンヅ族は東洋化したヨーロッパ人種である。スラヴ族は又シベリヤ鐵道に沿うて極東まで侵入した。これに反し、アジヤ人種はトルコ族は嘗てヨーロッパに威を振つた。漢族は北は滿蒙、南は印度支那半島、マレー諸島まで所謂華僑として大發展をなしてゐる。マレー諸島には大陸と異なるマレー人種がある。ヨーロッパ人種は熱帯植民地に於ては、英・佛・蘭共に支配階級の少數の人に限られ、労働者には漢族・ヒンヅ



族等を使役してゐる。

佛教・基督教・回教等の如き世界の大宗教は悉くこの大陸から發源し、佛教は東部に、回教は西部に、基督教は各地に行はれる。外に喇嘛教・ヒンヅ  
一 教・儒教・道教等がある。

人口は約一二億で世界全人口の過半を占め、その大部分は季節風帯に住み、殊に支那の東部平野と印度平野とは世界有数の人口の集團地である。これに反し、沙漠草原及森林帯は極めて人口が稀薄で、極端な對照をなしてゐる。

### 政治

歐米の植民地又は委任統治地が多く、獨立國は唯一完全な我が國を除いては、滿洲國・支那・タイ・イラン・トルコ等で、而も支那は國威振はず、四疆より列強の勢力が及び、タイ及イランは緩衝地帯として、トルコは縮少された國家として存在するが、今はアジア民族國家として我が國に倣つて新興の意氣に燃えつゝある。然るに英領印度・佛領印度・支那・蘭領東印度・アジヤロシヤ等は皆各本國にとつて最も重要な植民地として維

持に苦心してゐる。イギリスは又主要幹線航路の寄航地として、香港以西適當な間隔をおいて半島部の突端を巧に直轄植民地として所有する。かゝる國際情勢のもとに於て、我が國は東亞の盟主としてアジア民族の指導に任じてゐる。

一 アジヤに於ける産業と氣候との關係を統括して述べよ

二 アジヤに於ける歐米各國の勢力を統括せよ

三 アジヤに於けるブロック經濟について説述せよ

四 我が國にとつてアジヤのどの地方が重要であるかその理由を述べよ

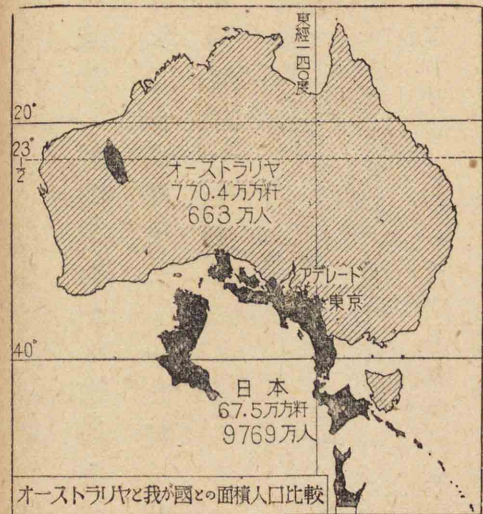


## 第二篇 オセアニヤ(大洋洲)

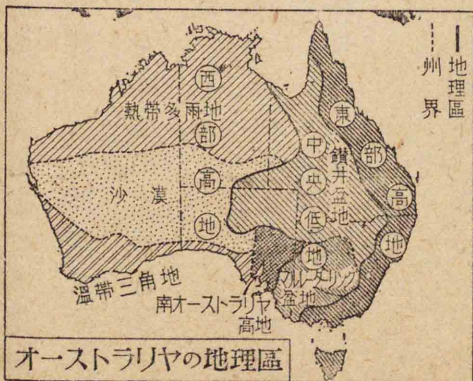
### 第一章 オーストララシヤ

#### 一 オーストラリヤ(濠洲)

#### 位置・区分



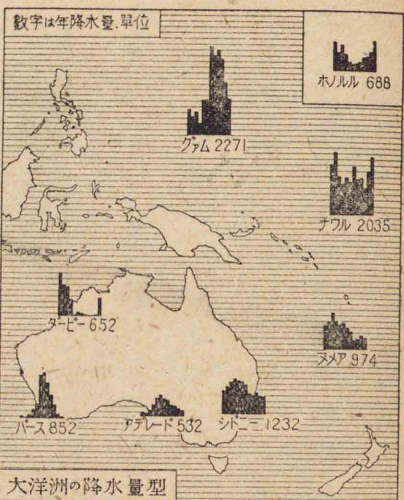
大陸は南半球に於ける我が國と相對的位置にあり、世界最小の大陸である。政治的にはクインズランド・ニューサウスウェルズ・ヴィクトリヤ等の七州に分れるが、地理的には東部高地・中央低



地・西部高地の三區となる。面積は約七七八方キロメートルで、我が國の約一一倍に當る。

#### 地勢

東部高地には褶曲山脈のオーストラリアアルプスが海岸に沿うて南北に走り、大陸の分水界は著しく東に偏し、岸に近く大堡礁が長く連る。西部高地は卓状地で、その邊緣が海に迫る。中央低地は

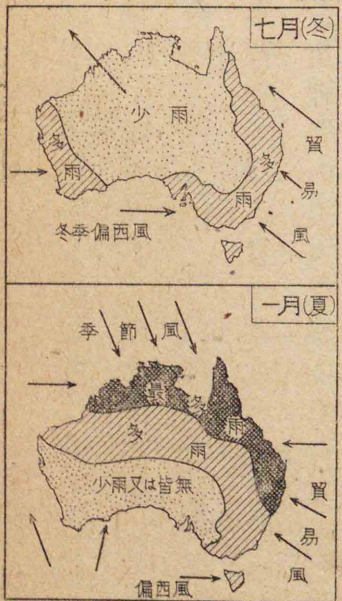


更に三區に分ち、北部には内陸流域の大鑽井盆地、南部のマルレーダーリ

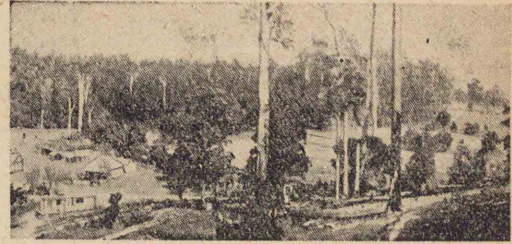
#### 氣候・植物帯

南回歸線が大陸の中央を通過するため、一月即ち南半球の夏は大陸の中央が最高温地帯となり、東北部には北東

オーストラリヤの雨量と風向との關係







ユーカーリの林

貿易風、西北部に北西季節風が卓越し、そこに多量の雨を齎らす。七月即ち南半球の冬は、北部は乾季となる。南部は西風卓越して雨を齎らし、地中海性氣候の特色を現す。夏冬兩降雨の及ばない西部高地の中央部に沙漠が生じ、中央低地も降水量少く、大部分草原をなし、東部高地、西南三角地等の降水量適度の地方にはユーカーリを代表樹とする林野及耕地がある。

處誌

東部高地の北部の海岸は甘蔗玉蜀黍等を産し、タウンズヴィルブ

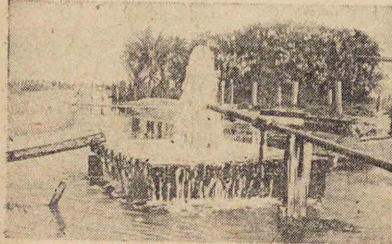
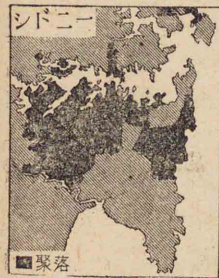
リスベインの諸港がこの地方の中心である。南部のニュー

イサウスウェルス、ウィクトリア二州は本

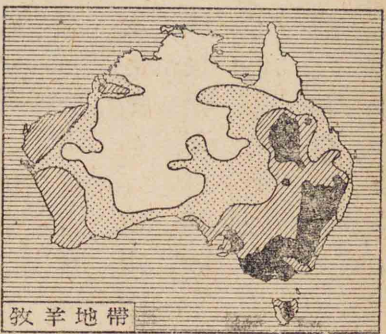
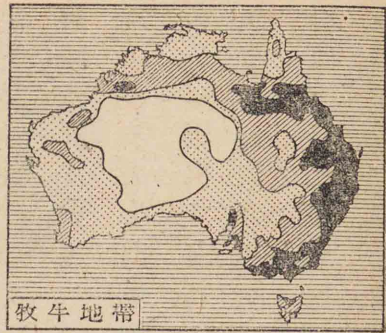
大陸中最も文化の發達した地域で、シド

ニーメルボルの二中心がある。シド

ニーは附近に炭田をもち、その美港はポ



クインズランドの鑽井



トジャクソンの見事な溺れ谷である。東斜面は牧羊が盛で、分水界を越えた西斜面の中央低地は降水量比較的少く、牧羊と小麦の耕作に適し、それ等の羊毛、小麦、肉類等はこの二都に集散し、盛に輸出される。聯邦

の首府は特に山間地域のカンベラの地を選び、新市街が建設された。大

鑽井盆地には鑽井による牧羊が行はれ、南オーストラ

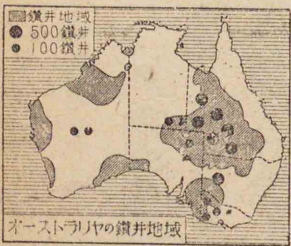
リヤには門戸アデレイドがある。西

部高地は沙漠不毛の地であるが、西南

三角地は冬の降水量の恩恵で、農牧業

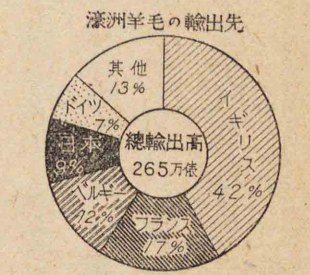
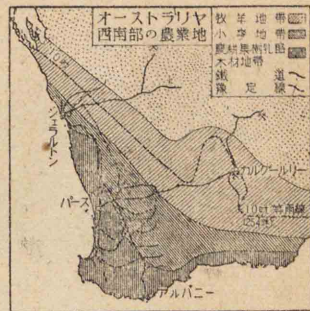
行はれ、パースはその中心である。内

部の草原沙漠ではクールガルチー等





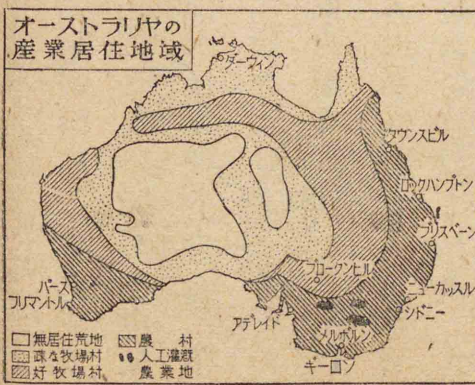
の金産地のみ利用される。タスマニヤは氣候は溫和で農牧業共に進んである。



**産業交通**

出國として三位の栽培に適し、又移民が舊大陸から輸入した羊牛の飼育に適し、何れも世界的産物となつ

た。羊は世界の二割を占め世界第一位で、羊毛も世界の第一位で、この國輸出の首位を占めてゐる。製酪業殊に發達し、バター・チーズの輸出量多く、又冷凍の羊肉・牛肉の輸出も多い。東西山地の金鑛(四位)は豊富で最初の移民潮來の誘因をなし、東岸の石炭は重要視され、工業も次第に興りつゝあるのは注目し値する。航空路はロンドンに通じ、海上交通も本國と關係が深い。貿易は英國が過半

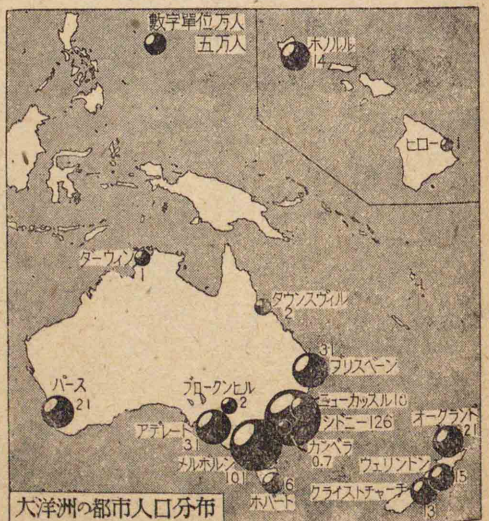
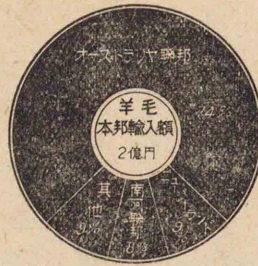


を占め、米國これに次ぎ、我が國は五―六位である。輸出は羊毛・金・バター・小麦・小麦粉・冷凍肉・鉛等の原料品・食料品を主とし、輸入は自動車・石油・綿織物・機械・人絹織物等の精製品である。

**住民政治**

人口は

約七〇〇萬、原住民の土人は全く勢力なく、英人が主な住民である。人口密度が諸大陸中最小であるから移民の必要は大いにあるが、英人は白人濠洲と稱して他の移民殊に日支人を拒絶する。この國は十八世紀の探検以來英國の領有に歸し、オーストラリア聯邦を組織して、英國の有力な自治植民地となり、英國王の任命する總督が行政を統轄するが、本國との關係は漸く變じ、殆ど





獨立の姿をなしつつある。

**我が國との關係**

我が汽船はブリスベーン・シドニー・メルボルン等

に通ひ、羊毛・小麥等を我が國に齎らし、人絹織物・綿織物・生絲等を我が國より送つてゐるが、最近我が商品の進出を恐れて日濠會商によつて輸入を制限することになつた。

我が移民も近時入國不能のため約二千人在留するに過ぎない。

木曜島では眞珠貝の採集に従事してゐる。この國はニュージラ

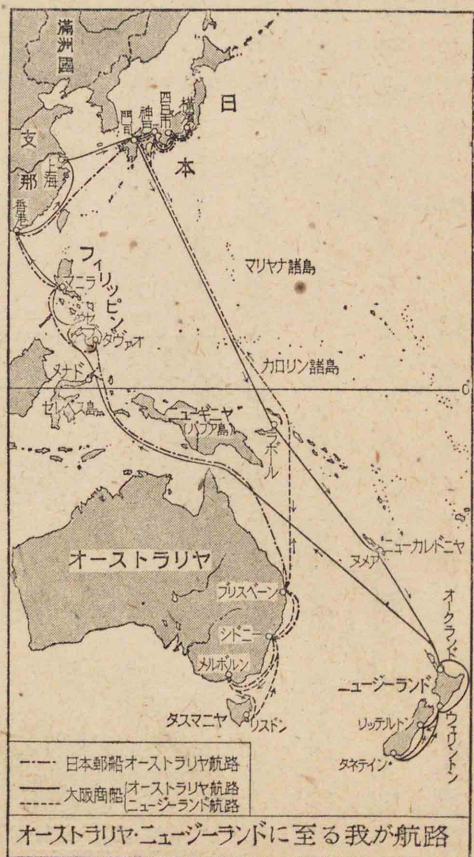
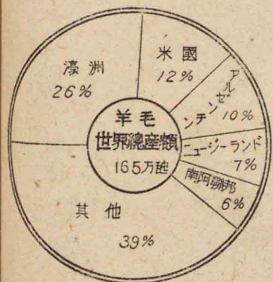
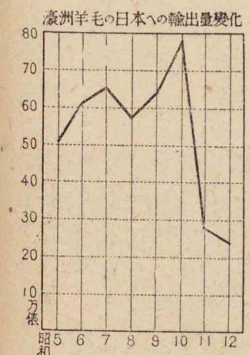
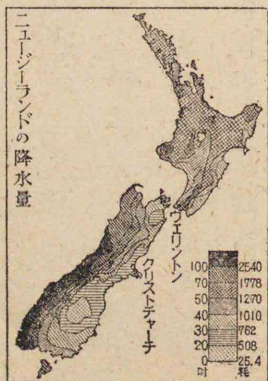
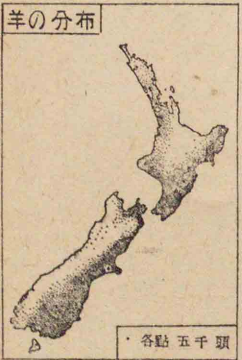
ンドと共に地理的には東亞のブロック經濟を補強する屈竟の條件を持つてゐる。

**二 ニュージラランド(新西蘭)**

北島は二大褶曲の結合點、南島のアルプスはその延長で、火山現象これに伴ひ、北島には無數の間歇泉があるが、南島には水河がある。氣候溫和で、西風が卓越するため南島の西斜面は極めて降水量多く、東は著しく少い。この降水量の程度に左右されて、東岸は小麥を栽培し、牛は北島の西岸に、羊は兩島の東斜面に多く、従つて輸出は酪製品・羊毛

(四位)・凍肉が主で、輸入は織物・自動車等である。取引は英國が主で、米國これに次ぎ、我が國は五―六位で輸入は制限されてゐる。

經濟上凡てがオース





トラリヤの縮圖である。英國の自治植民地で、首府はウェリントンで、商港はオークランドである。

- (一) オーストラリヤ及ニュージーラン  
ドの資源と自然の關係を説述せよ。
- (二) オーストラリヤ及ニュージーラン  
ドと我が國との關係を説述せよ。

## 第二章 太平洋諸島

### 位置區分

オーストラリヤ大陸の東北に位し、太平洋上に散在する諸島で、我が南洋群島を含む。略百八十度の經線と赤道とを境として、東半のポリネシヤ(多島の意)、西北部のミクロネシヤ(小島の意)及西南部のメラネシヤ(黑人島の意)の三區から成る。

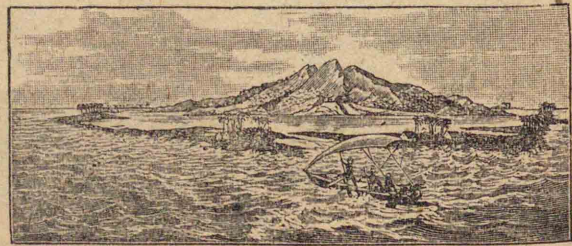
### 自然

諸島の大部分の基盤は海中山脈で、海面に現れた部分は高島といはれる火山島と低島といはれる珊瑚礁島とからなり、赤道海流に洗はれてゐる。南北回歸線の間を完全に占めてゐて、各島は極めて小で、海

洋が主であるから純熱帯海洋性氣候で、北東南東の兩貿易風と赤道無風帯とが規則正しく排列する。常に海風に吹かれ、又熱帯特有の驟雨が毎日降るため比較的凌ぎ易い。

### 處誌

メラネシヤ パプア(蘭領英領濠洲委任統治)はニューギニーとも稱し、面積八〇萬方呎で、我が國よりも大で、西半は蘭領東印度の一部である。人口は凡そ九〇萬と稱し、原始的で野蠻である。熱帯原生林繁茂し、コブラと金とを産するが、將來の開発が有望と見られ、邦人も開拓に一部着手してゐる。貿易政治の中心はモレスビー



珊瑚礁をもつた火山島

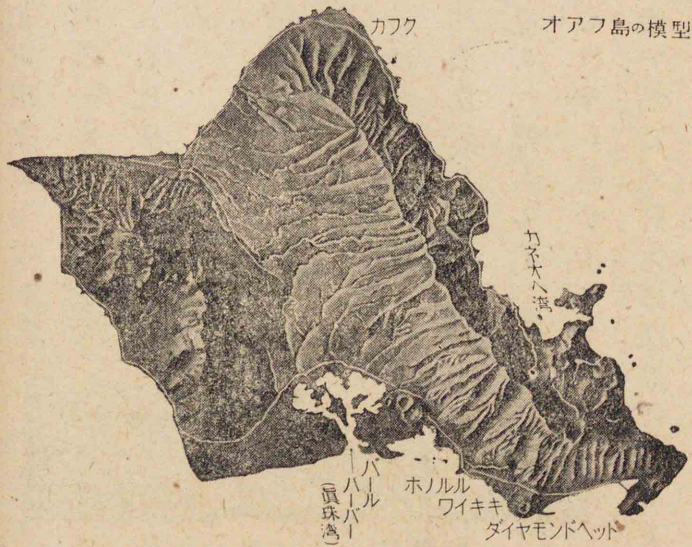
である。ニューカレドニア(佛)はニッケルの産で名高く、邦人の採掘に従事するものもあり、ニッケル及鐵鑛を我が國に輸送する。首府はヌメアといふ。フィジー諸島(英)のヴィチレヴ島には貯炭所を有するスヴァの港がある。

ミクロネシヤ グラム島は米領に屬し、貯炭所、海底電線伸繼所がある。



ナウル島(英委はオーシャン島英)と共に燐礦の特産地である。我が南洋群島もこの地域に屬する。

ポリネシヤ ハワイ群島は太平洋の略中央に位し、火山が多く、キラウエア山は直徑五軒の大火口と灼熱した熔岩湖を持つので有名である。北回歸線の南に位し、熱帯に屬するが、海風常に吹いて涼しく、雨多く、植物よく繁茂し、冬も百花絢爛である。甘蔗、パインアップル、コトヒトバナナ、米等の栽培が盛で、殊に砂糖とパインアップルの罐詰の産額が多く、米本國へ輸出する。面積約一萬七千方軒で、我が四國島と略等しく、住民は約四一萬、その六分の五は移住民で、カナカ土人は文化低く、年々人口が減少する。移



●太平洋篇二二二頁参照

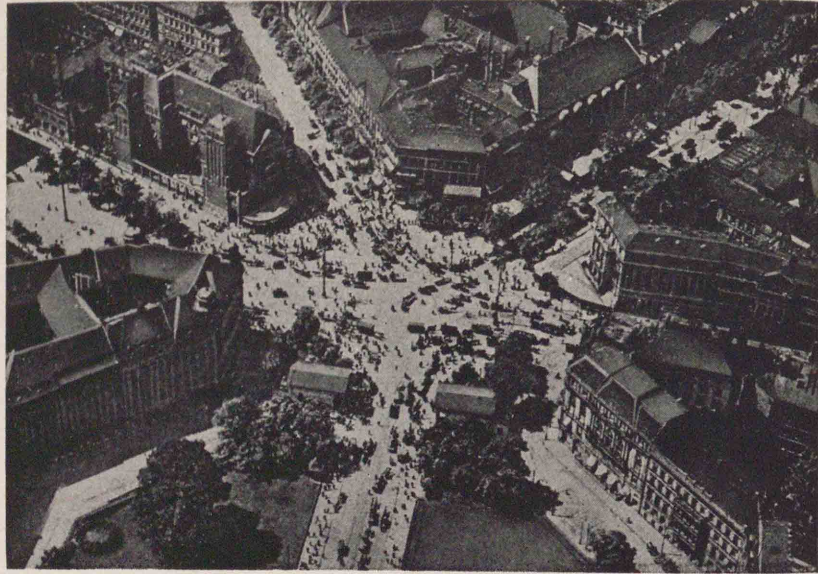


住民中最も多いのは邦人で約一五萬人在外内地人の一六%を算し、總人口の約四割に當り、葡人及支那人がこれに次ぐが、米國と等しく東洋人は今後の移住を禁ぜられた。我が移民は多く甘蔗栽培等の農業及罐詰業に従事し、又商業を營むものも少くない。この島はもと王國であつたが、一八九八年米國に併合され、首府ホノルルはオアフ島の南岸に位し、太平洋上の寄航地で、我が桑港航路は往復とも必ず寄航する。航空港、海底電線の伸繼所としても好位置にある。附近の軍港パールハーバー(眞珠灣)は、山に圍まれた見事な溺れ谷で、海軍根據地である。附近の軍港パールハーバー(眞珠灣)は、山に圍まれた見事な溺れ谷で、海軍根據地である。附近の軍港パールハーバー(眞珠灣)は、山に圍まれた見事な溺れ谷で、海軍根據地である。

人文

風土上、甘蔗糖とコプラとが主要な産物で、燐礦、パインアップルの産もあり、水産業も有望である。然し面積が大で無いから陸産額は大でなく、諸島の價値は寄航地、貯炭所、海底電線伸繼所、海軍根據地、航空港等の所在地として重要である。

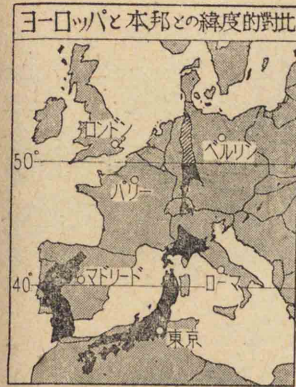




飛行機から見たベルリンの放射状の廣場



ベルリンのウンテルデンリンデンの大通



地勢

北部にはスカンディナヴィヤ半島からイ

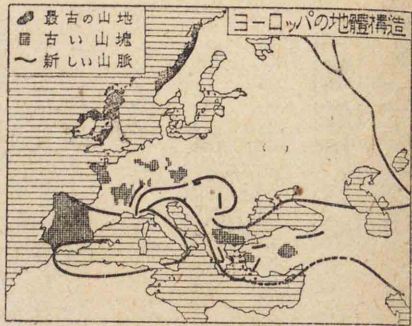
第一章 ヨーロッパの自然總説

位置區分 ヨーロッパはユーラシヤ大陸の一大半島で、面積は約一千万方呎で、アジアの略四分の一に過ぎないが、人口は約五億で世界全人口の約四分の一を有し、且つ世界文化地帯の核心地域であるから獨立した大陸と認められる。然し凡ての現象はアジアと密接な關係がある。本洲には有力な國家が多いが、位置的關係によつて大別すると、東部ヨーロッパ・北部ヨーロッパ・中央ヨーロッパ・西部ヨーロッパ・南部ヨーロッパの五區となる。

序説

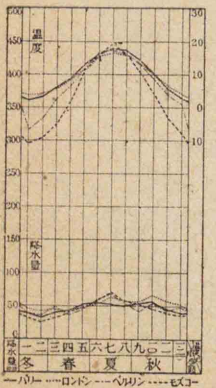
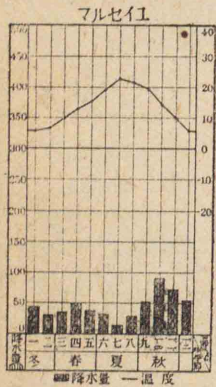
第三篇 ヨーロッパ(歐羅巴)



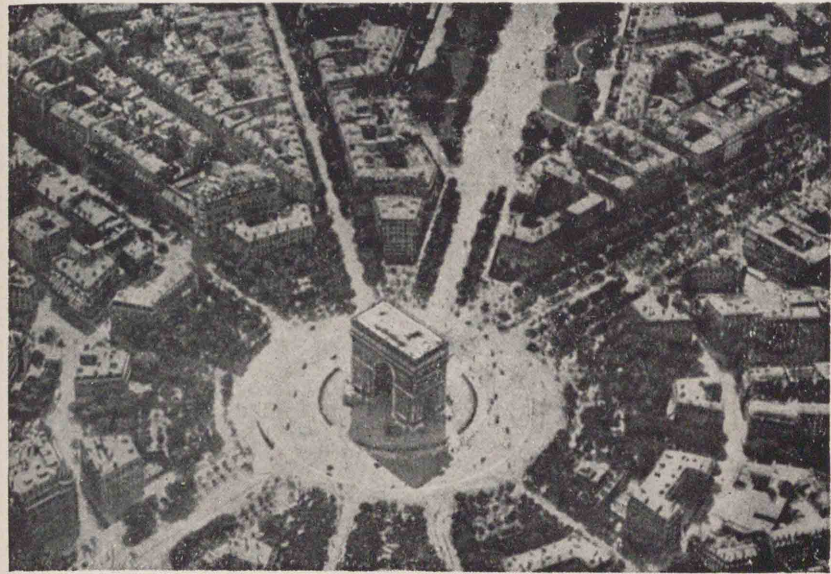


にコーカサス山脈・タウルス山脈を経てヒマラヤ山脈に連る。アルプスのモンブランは四、八〇〇米に達し本州の最高峰である。北部高地と中央高地との間にヨーロッパ平原があり、諸大河の下流を占め、佛・白蘭・丁・獨ソ

ギリス諸島につゞく古い北部高地があり、中部にはそれよりも新しい無数の地塊に分けられた獨佛兩國に互る中山性の中央高地があり、南部には最も新しい大褶曲で且つ高峻な南部山地がある。南部山地はアルプス山脈及其の連続山地で、アルプス山脈を中心として、西はピレネー山脈及シエラネヴァダ山脈に始まり、東はバルカン山脈・ギリシヤ半島に及び、更



の諸國に跨る。水系は各斜面に分れ、ダニユール(下ナウ)・ヴォルガライン等は代表的河

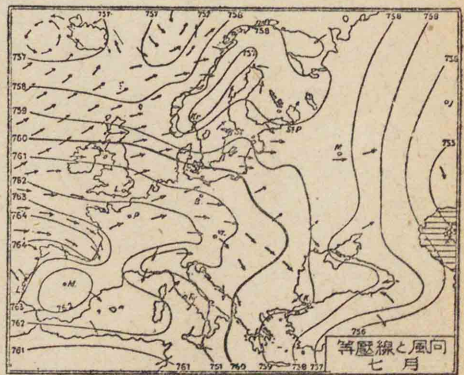
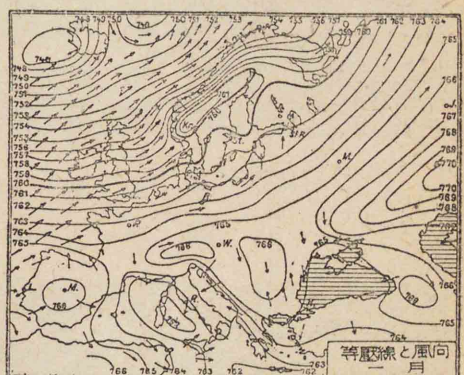
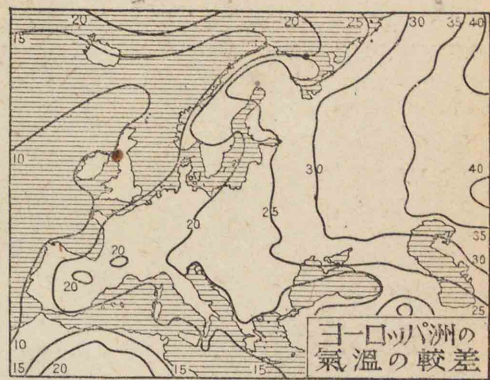


飛行機から見たパリーの凱旋門附近



飛行機から見たパリーの中心





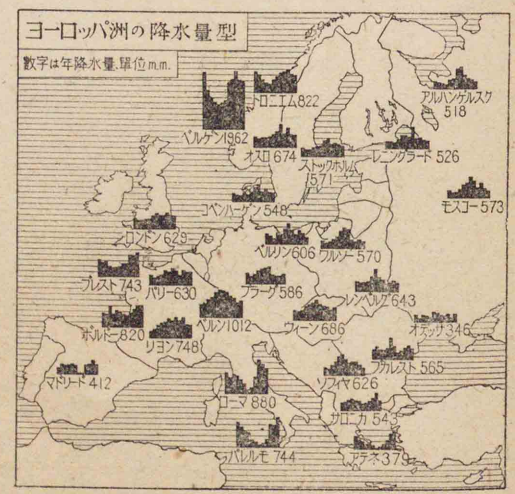
川である。本洲の北半は一般に大陸水河の影響を受けてゐる。北歐に於てはスカンディナヴィヤ半島がボスニヤ灣とバルチック海を抱き、西歐では北海を隔ててイギリス諸島がある。南歐にはイベリヤイタリヤバルカンの三半島があつて地中海とアドリヤ海、黒海とに分つてゐる。

氣候植物帶

一月と七月との等温線が方向を異にするのは、西海岸が著しく海洋性であつて、東部の内陸が大陸性であることを示す。氣温

の較差は東するに従つて大となる。一般に西海岸は緯度に比し著しく温暖で、世界で他にその比を見ない現象である。氣壓の配置はイスランド附近に常に低氣壓があり、アゼレス島附近に常に高氣壓があるため、夏冬を通じて西海岸の地方は偏西風が卓越する。そのため降水量は西海岸に面した斜面殊に山地に多く、東部に向ふに従つて減ずる。かくの如く西海岸と東部内陸とは氣温降水量の點に於て全く相反する氣候區をなすが、他に南部山地によつて境された地中海性氣候區がある。それは亞熱帶性で、夏は暑くて雨少く、冬は暖かで雨が多い。

北から南に凍土帶、寒溫森林帶及亞熱帶林と漸移し、草原帶は東南部に限られ、沙漠は狭少である。





## 第二章 東部ヨーロッパ(東歐)

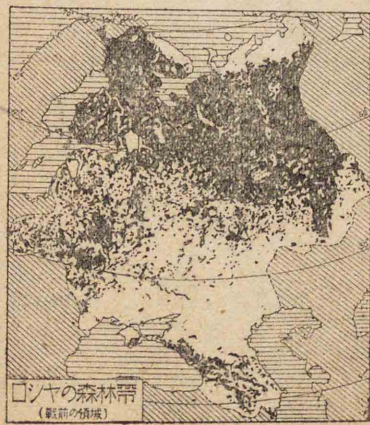
### 一 ソヴェト聯邦(ロシヤ)

#### 位置・區分

ヨーロッパの東部にあつて、面積は約四八〇萬方呎で、歐洲の半を占め、我が國の約七倍に當る。地理的には**南北ロシヤ**(露西亞)の二區に大別される。

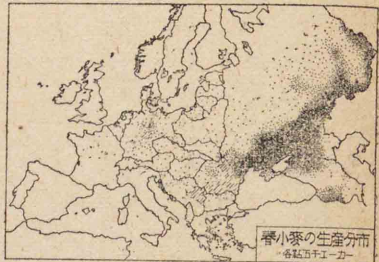
#### 地勢・氣候

この國は廣大な地域に互つて平坦で、諸川の分水界をなすヴァルダイ丘も僅かに三百餘米に過ぎず、ウラル山脈の外には大山脈はない。従つてヴォルガ、ドニエプル等の河は緩かに曲流する。この國はヨーロッパ中最も大陸性氣候で、冬季氣溫低く、河川は北するに従ひその凍結期間が著しく長くなる。氣溫降水量の關係上、凍土帶・森林帶・草原帶と南北に配列する。



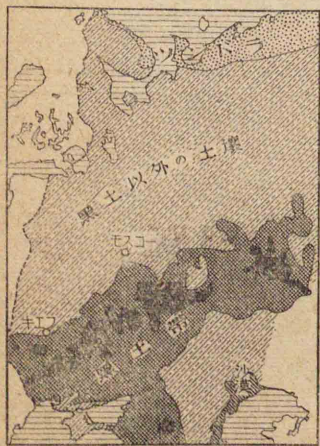
#### 産業・交通

氣溫・降水量・土壤及植物帶に適應して、南北に規則正しく農・牧・林業地帯が排列し、南ロシヤの草原帶は羊・牛馬の牧畜行はれ、その北部は所謂**黒土地方**で、小麥・大麥等の産多く、歐洲の穀物倉と謂はれ、オデッサから輸出する。その北は燕麥、最北はライ麥・黑麥を産し、亞麻



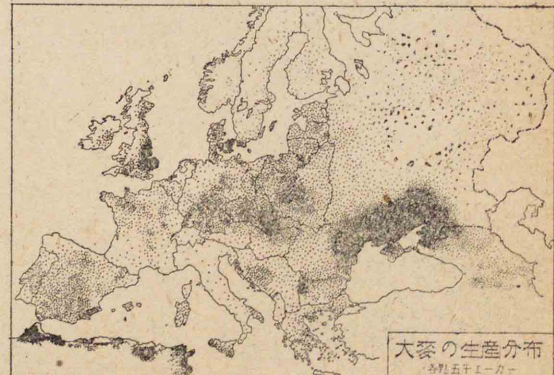
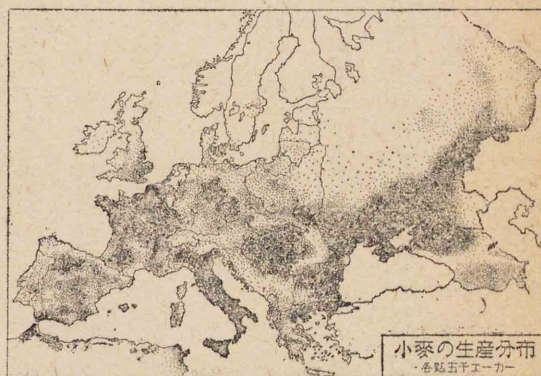
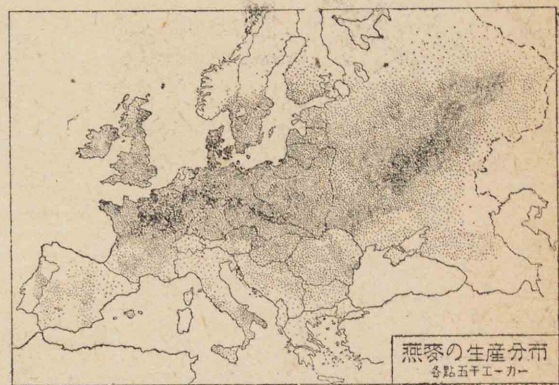
甜菜畑の農民

甜菜の三者は世界の首位である。森林帶はこの國の三分の一を占め、主に針葉樹に蔽はれ、木材は輸出品の首位を占める。鑛産は全ソ聯として、鐵鑛・石油共に世界二位、石炭は四位、白金は二位、金は二位、マンガンは一位、アル





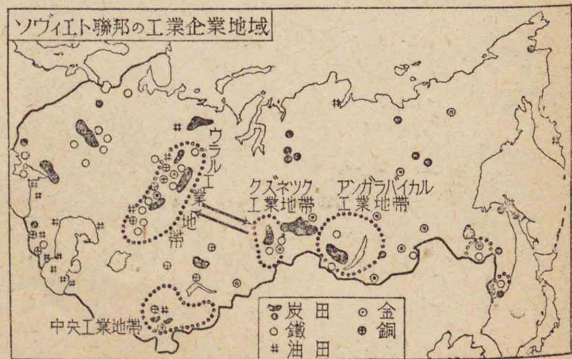
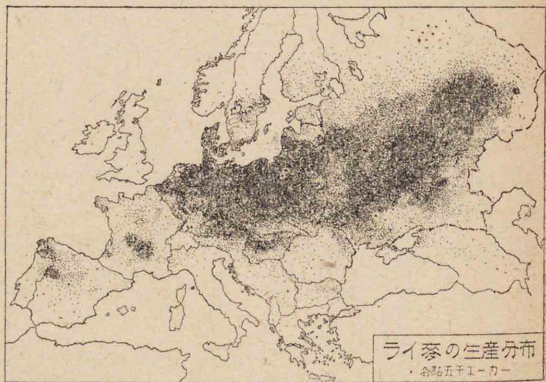
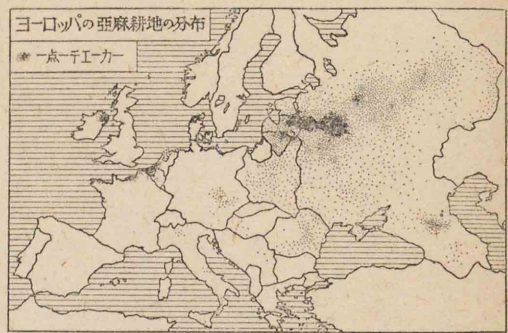
ミ ニ ウ ム は 三 位 を 占



め、ウラル山地は殊に各種の鑛産に富み、金、白金、寶石等は有名である。モスコー附近は夙に近代式工業が行はれてゐたが、新政府は近時各地に大規模な重工業、化學工業促進の計畫を立て、巨大な發電所を設け、鑛工業地帯と結んで綜合企業を行ひ、極東シベリヤのアンガラバイカル西部シベリヤのクズネツク、歐露のウラル等の工業地帯が形成されつゝある。鐵銅

(三位)ト  
ラクタ  
一(二位)

貨物自  
動車(二  
位)農業  
機械(一  
位)の生  
産には

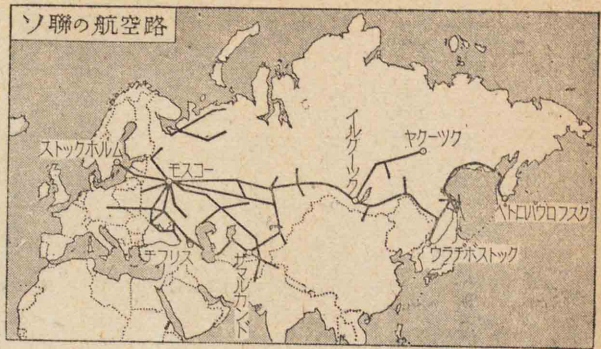


既に好成績を示してゐる。輸出品は木材、石油、毛

皮、亞麻穀物等で、機械、金屬製品等を輸入し、米國との取引が最も多く、英獨これに次ぎ、我が國は政治的打開を見ない限り發展は望まれない。

河は普く舟行に適し、分水界が低いいため容易に運河で連絡し得る。ただ凍結期間が長いのは缺點である。モスコーは鐵道の焦點で、又シベリ





ヤ鐵道とヨーロッパの諸國とを連絡する。航空路はモスコを中心とし、歐洲は勿論、遠く極東・中亞にまで達してゐる。

**住民政治**

舊ロシア帝國は不凍港を求めて黒海・ペルシヤ灣・太平洋に進出を計り、遂にシベリヤ・中亞に領地を獲得し、歐亞に跨る一大帝國となつてゐたが、第一次世界大戦中に革命が起つて民族自決主義に従ひ、フィンランド・ポーランド及バルト海沿岸諸國は獨立し、スラヴ族も亦分立した。全ソ聯の人口は約一億七千萬人で、住民の大部分はスラヴ族で三種の別がある。大ロシア人(五二%)のロシアソヴィエト共和



モスコ

國が中心となり、小ロシア人(二二%)のウクライナ共和國、白ロシア共和國、その他アジアにある諸共和國と合同してソヴィエト社會主義共和國聯邦を組織した。全ソ聯の面積は二、二〇〇萬方呎で世界の一六%に當る。この國は今スタールリンの獨裁政治で、獨ソ不可侵條約を結び、ポーランドの東半を無血占領し、バルト海沿岸諸國を併合し、フィンランドの一部を割譲せしめ、バルカンへの進出を企てたが、近時、獨ソ關係は急激に悪化して、戦端を開くに至つた。

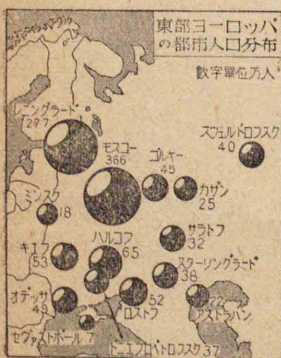
**都邑**

首府モスコ(360)

は略歐露の中央に位し、政治・商工業・交通の中心で、レニングラードは新政前の首府で、この國第一の商港である。ウラル地方の中心はスウェルドロフスクで、南ロシアの中心キエフはウクライナ國の首府である。黒海に臨むオデッサはこの國第二の商港である。

**我が國との關係**

極東に於て我が國と利害關係相反し、日露戦役・シベリヤ出兵を見た。その後





露國の國體政體の變革滿洲國の獨立支那事變の勃發ソ支容共協定の成立日獨伊防共協定の結成等事態の變化は益々兩國の關係を重大化した。依つて我が國は日獨伊三國條約の締結日ソ中立協定の結成等により、平和裡に日滿支との關係の好轉を圖つたが、突如獨ソ開戦をなすに及んで再び兩國の關係は重大性をもつに至つた。

バルト海沿岸諸國 北ロシア平原の續きで、人種がロシアと異なるため、エストニアラトヴィヤリトワニヤの三小共和國が獨立したが、ソ聯の國防上重要な地域に當り、最近併合された。農牧林業が主で、リガ港は貿易上重要で、レヴァル(ターリン)、コヴノ(カウナス)と共に各舊首都であつた。

## 二 フィンランド(芬蘭)

沿海平野に首府ヘルシンキがあり、内陸は大陸氷河のため形成された湖沼地方で殆ど針葉樹林に蔽はれ、木材パルプ

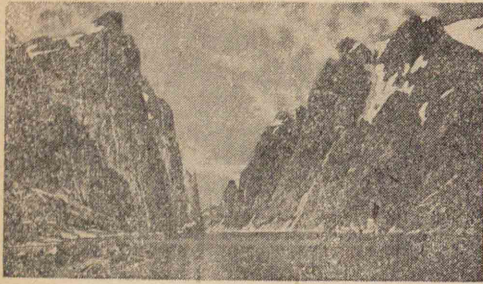
と水力電氣とを供給する。住民はアジア人種のフィン族で、容貌風俗は歐化し、ロシアから獨立した共和國である。

- (一)ソ聯の産業と氣候との關係を述べよ。
- (二)ソ聯と我が國との關係を述べよ。

## 第三章 北部ヨーロッパ(北歐)

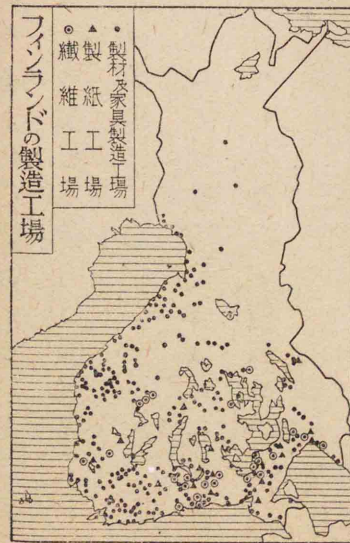
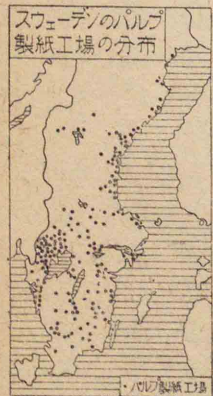
### 一 スカンデナヴィヤ(スウェーデン・ノルウェー)

高原性で、分水界は稍西に偏し、北海斜面は急傾斜をなし、海岸は峽灣で壯絶な美景を呈し、バルト海斜面は緩傾斜をなし、湖沼群がある。冬はメキシコ灣

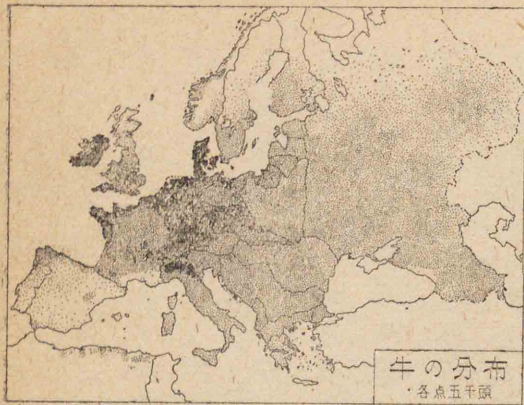


ノルウェーの峽灣

流の影響で、等温線

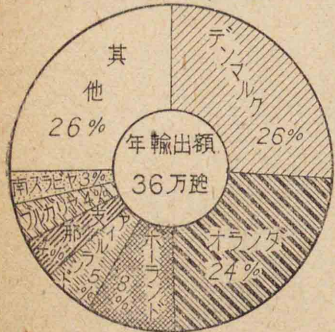




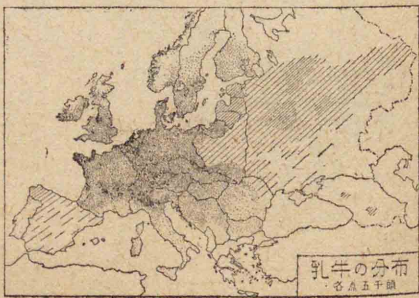


牛の分布  
各点五千頭

世界の鶏卵輸出額百分率



乳牛の放牧地で、バターは總輸出額の過半を占め、主に英國へ送られ、養鶏も盛で、卵も輸出される。住民はチュートン族に属し、政體は立憲王政である。首府コペンハーゲンはバルト海の門戸にあたる。



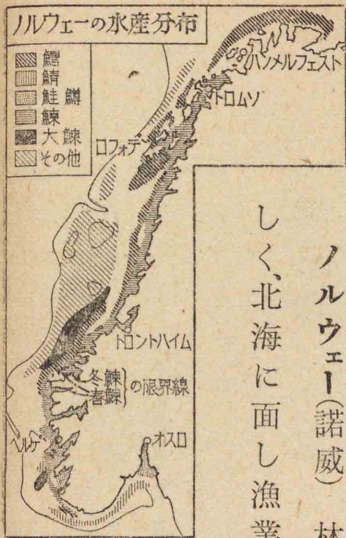
乳牛の分布  
各点五千頭

輸出品はパルプと水産物である。

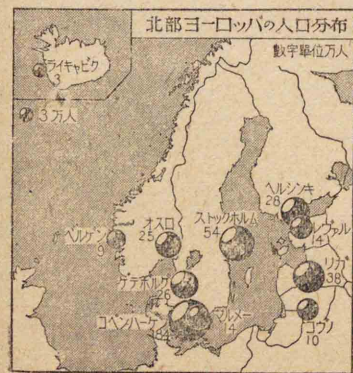
兩國の住民はチュートン族で、各立憲王國を建て、ストックホルム及オスロは各その首府で、共に風光がよい。

## 二 デンマーク(丁抹) 附 イスランド(氷洲)

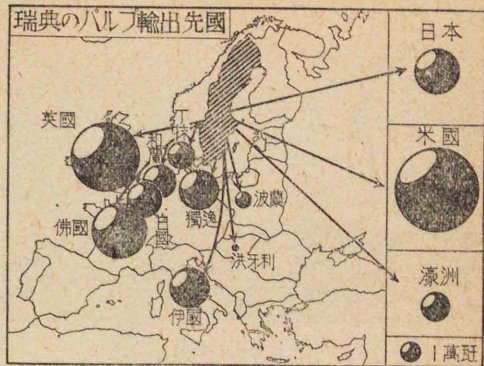
デンマークはユトランド半島及附近の島を占め、土地は低平で、勤勉な國民によつてよく經營され、その半は乳牛の放牧地で、バターは總輸出額の過半を占



しく、北海に面し漁業本位の國で、鱒、鯵、鯨等を漁獲し、ベルゲン及ロフオデ島はその中心である。従つて



北部ヨーロッパの人口分布  
数字単位万人



日本  
米國  
濠洲  
1萬担

は南北に走り、西岸は北まで凍らない。スウェーデン(瑞典) 森林が面積の半を占め、木材パルプ、紙マツチの軸木及箱等の製造が盛である。湖沼瀑布が多いので水力電氣で動力を得る。鐵鑛は極めて良質のものを産するが、石炭がないため鑛石のみ、英獨へ輸出される。輸出品はパルプ、木材、鐵鑛紙等で、輸入品は石炭、電氣、機械類等である。取引はゲテボルグが盛である。



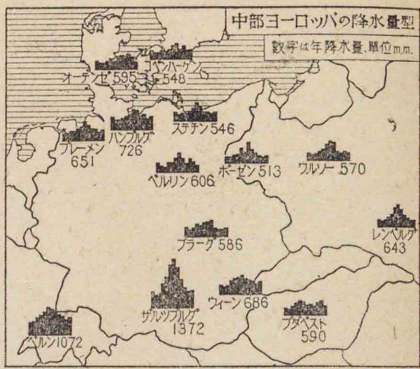
イスラントはデンマルク王が國王を兼ね、間歇泉で名高い。

スウェーデンの林業、ノルウェーの漁業及デンマルクの農牧業と我が國のそれ等とを比較せよ。

### 第四章 中央ヨーロッパ(中欧)

#### 一 ポーランド(波蘭)

ロシアからドイツに至る漸移地帯をなすウイッスツラ河の流域の低平な平野で、ライ麥・馬鈴薯・亞麻等を産し、上シレジヤには大炭田があり、カルパチヤ山麓には石油及岩鹽を産し、工業はロツの紡績業が盛である。首府ワルソーはこの國の中心をなす。住民は西スラヴ族のポーランド人が主で、ドイツ人の間を貫きバルト海に達する所謂ポーランド廻廊を有する。ウイッスツラ河口のダンチヒはドイツ人が多いため國際聯盟の管理する自



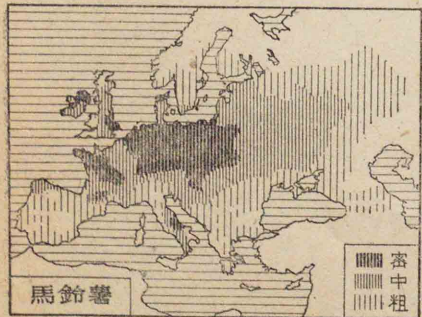
獨ソ兩國に分割占據された。

#### 二 ドイツ(獨逸)

中央ヨーロッパの形勝の位置にあり、隣國との關係は常に緊張する。地理的に大別すれば、北ドイツ・中央ドイツ・南ドイツ・アルプス地方・ボヘミヤ地方・オーストリア地方・ウイッン盆地の六區となる。

#### 地勢・氣候

北ドイツは所謂ヨーロッパ大平原の一



由市とし、ポーランド人は自由に港を使用する權利を得てゐた。この國は面積三八萬方呎、人口三千餘萬で、百數十年前露墺普三國のため分割し盡され、各國語を使用せしめられ、各國化することを強いられた。然るに第一次世界大戰となり、悉く舊領地を回収して國家が復活し、共和國が成立したが、今次の第二次大戰によつてダンチヒと共に

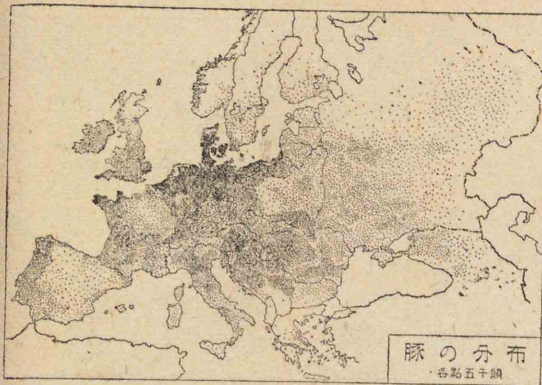




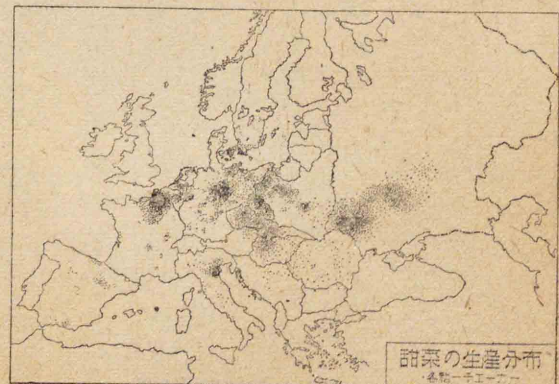
ベルリン市内の近代式住宅區



ドイツのチューリングン山地地方の玩具製造家内工業



部を占め、エルベ・オーデル・ウーゼルの諸河が流れ、中央ドイツは中山性の山地で、而も數多の地塊の集合である。南ドイツはアルプス山麓を含むバヴァリヤ高原で、西にライン地溝帯がある。ダニュブ河はこの高原から東へ流れ、ライン河はこの地溝帯を通つて、マイン河を合せ、ライン地塊に所謂ライン峡谷を造つて北流する。ボヘミヤ地方にはエルベ川上流のボヘミヤ盆地、オーストリア地方にはダニュブ上流のウィーン盆地があり、アルプス山地は伊國との境に横たはつてゐる。氣候は稍溫和で、西歐の海洋性と東歐の大陸性との中間性のもので、たゞラインの谷のみは比較





的溫暖である。

産業・交通

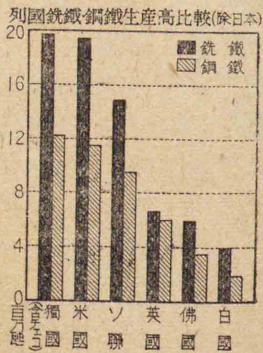
地形・氣候・土壤とも必ずしも恵まれてゐないが、學理の應用と勤勉とにより、各種の産業が平均に發達する。農業ではライ麥(二位)・燕麥(三位)・馬鈴薯・甜菜(二位)等が廣く栽培され、葡萄はラインの谷が名高く葡萄酒を産し、ビールはミュンヘン・ピルゼン等の産が有名で、この國の特色ある飲料である。豚の飼養(歐洲一位)は著しく多い。又鐵石炭・アルミニウム(一位)の埋藏夥しく、鐵鑛は尙スウェーデン・佛西等よりも輸入し、鐵の産額は米國と並んで世界の首位を競ひ、石炭の産額亦米英に次ぎ世界第三位で、ルール・ザール・シレジア・ズデーテン等を主産地として輸出する。鉛・亜鉛も三位を占める。又豊富な岩鹽が採掘される。これ等の増産はこの國の大工業の基を開いた。工業は考案と生産とに獨特の長所を有し、製鐵・機械製造・製藥・化學工業・出版業・硝子等何れも世界第一流で、殊に藥品・化學製品(染料・塗料等)・機械類は無比であ



スウイスの山上の乳牛小屋

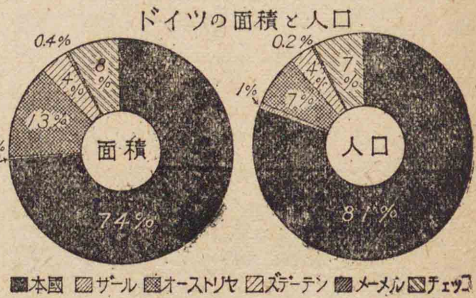
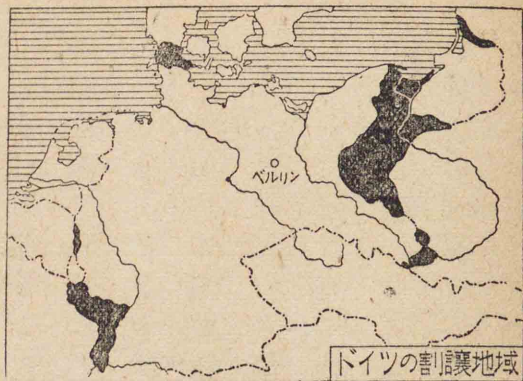


スウイスの山村

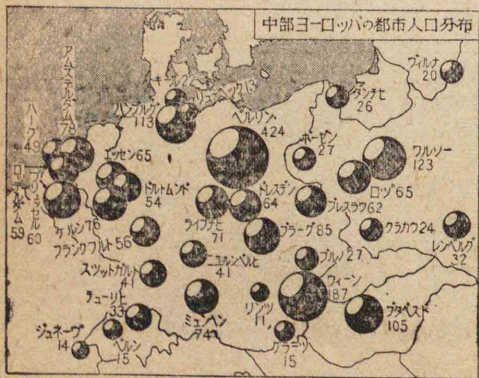




住地をポーランドに割き、ダンチヒを自由市として獨立せしめなどして、面積八萬方呎、人口七五〇萬の地を減じ、海外に於てはアフリカ及太平洋に於ける植民地約三〇〇萬方呎を英、佛及我が國等の勢力に委して割譲したが、新興勢力ナチスは、ヒッ



■本國 ■ザール ■オーストリア ■ズデーテン ■メメル ■チエフ



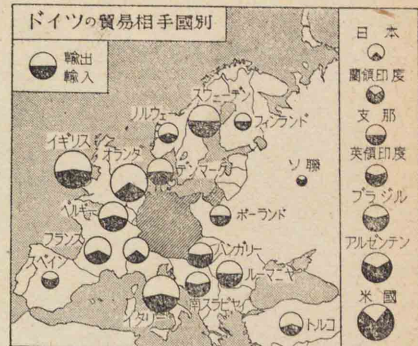
131 中央ヨーロッパ

多い。密度の殊に大な地方はライン河流域及サクソニヤ地方で、ヨーロッパの工業地帯の代表的地域である。ヴェルサイユ條約の結果、曩に佛國から得たアルサス・ロ

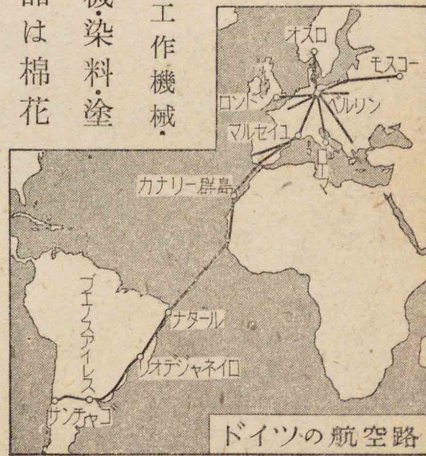
ライントダニューブを結ぶ運河をはじめ、河川を連絡する運河、河川の航  
通、鐵道共に盛で、航空路は國內は勿論、南米にまで延びてゐる。

### 住民政治

この國の住民は主にチュートン族のドイツ人で、大部分は新教を奉ずる。國民は勤儉尙武の氣象に富み、教育及學術の進歩著しく、學界に於ては世界の諸國に秀でた先進國である。人口密度は我が内地よりも稍小で、年々の増加も我より少く、南北アメリカに移住したものは



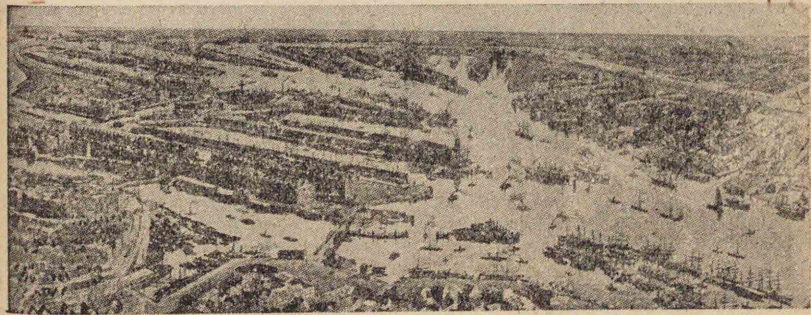
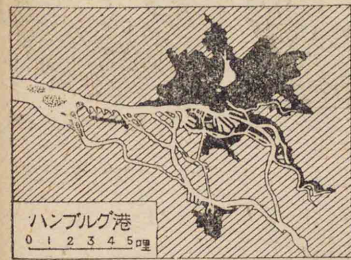
る。又代用品の發明研究に努め、石油は皆無であるから石炭液化業が進んでゐる。輸出品は鐵製品、石炭、機械、電氣機械、工作機械、紡績機械等、自動車、航空機、染料、塗料類、醫療藥品等で、輸入品は棉花、果實、羊毛、油實及油種子、鐵鑛等である。



中央ヨーロッパ 130



トラーを中心として國勢の發展に全力を注ぎつゝある。新政府は單一國家として國防充實産業振興統制經濟等の計畫によつて國力を充實し、日獨伊防共協定を樞軸としてベルサイユ條約の桎梏シツコクを次々に破り、オーストリア・ズデーテン・チエッコ等を併合し、スロヴァキヤを保護國とし、日獨伊同盟獨ソ不可侵條約を締結し、獨ソ關係の好轉を圖つたがならず、遂に獨ソ間に戰端が開かれた。オーストリア・チエッコ等の併合により一六萬方籽を増加して總面積六三萬方籽となり、人口は六〇〇萬を加へ總人口八、五〇〇萬に達し、尙ポーランドその他を占據してゐる。オーストリア地方の住民はドイツ人で、ハンガリヤと共に多種の民族を集めて



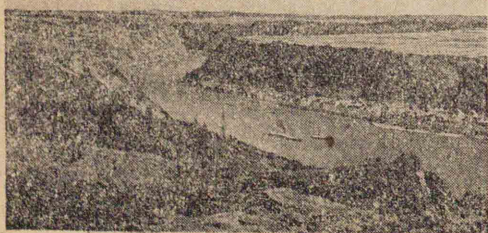
ハンブルグ

オーストリア・ハンガリヤ帝國を維持してゐたが、第一次大戰の結果瓦解し、この國も共和國となつたが、最近遂にドイツに併合された。

**都邑**

北ドイツに首府ベルリン(柏林)があり、この國の政治學術交通

商工業の中心である。北海に於ける門戸はエルベ河港のハンブルグで、優れた繋船岸壁を有し、この國第一の貿易港である。ウエーゼル河港のブレーメンも取引が多い。ライン河港はケルンで、附近のルール炭田は炭量が豊富で製鐵業等が起り、クルップ工場のあるエッセンを始め多數の工業都市が形成されてゐる。中央ドイツのエルベ河畔のドレスデンはサクソニヤの經濟及文化の中心都市である。同地方のライプチヒは出版業では世界一の稱がある。ラインの峽谷地方は葡萄と風光美で知られる。南ドイツのミュンヘンはバヴァリヤの中心で、ニュルンベルヒは鉛筆類で世界的に名高い。ボヘミヤ地方の中心はプラীগで、オーストリア地方の中心はウィー



ラインの峽谷



ンであり、ウィーンは舊奥匈國の首都として美術工藝及文化の發達した大  
都である。

**スロヴァキヤ** 元チッコスロヴァキヤ國は西スラヴ族に屬し、奥匈國から  
獨立した國であつたが、チッコ族のボヘミヤ地方は併合され、スロヴァク族  
のスロヴァキヤ國は保護國となつた。スロヴァキヤ國はカルパチヤ山脈の  
南斜面に位し農牧業が主である。

**我が國との關係** 我が國の文化は彼に負ふ所が大である。我が國  
へは機械類・染料・鐵・人造肥料等を輸出する。今や世界新秩序建設のため  
伊國と共に三國同盟を結成し、國交益親善を加へ、歐亞に於ける相互の指  
導的優位を尊重し、列強の國際對策に備へてゐる。

- (一) 北ドイツと南ドイツとを比較せよ。  
(二) ドイツの産業の特色を詳述せよ。

- (三) ドイツと四周の隣接國との關係を  
述べよ。

### 三 ハンガリヤ(洪牙利)

大弓形をなすカルパチヤ山脈とデナルアルプ  
スとに圍まれた内陸盆地で、中央をダニューブ河が  
貫流する。寡雨のプスタと稱する草原には、牛馬  
羊等が飼養され、又玉蜀黍・小麥等を産する。住民  
はアジア人種のマジヤール族で、言語・風俗の外は歐  
化して歐風の首府ブタペストを建設し、ヨーロッパ  
に於けるアジア人種中最も進歩したものの代表  
で、王國を建ててゐる。

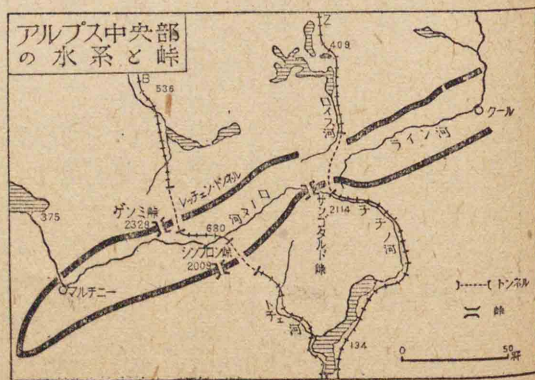
### 四 スイス(瑞西)



アルプスの牧牛

#### 自然

獨・佛・伊三國の間に介在し、アルプスの  
西半を占め、面積は略九州に等しい一小山國であ  
る。南半のアルプス山地は高峻雄大で、萬年雪及  
氷河をもつ。ローヌ・ラインが一大縦谷を造り、谷  
の出口にジュネー・ヴボーデン等の諸湖を湛へる。



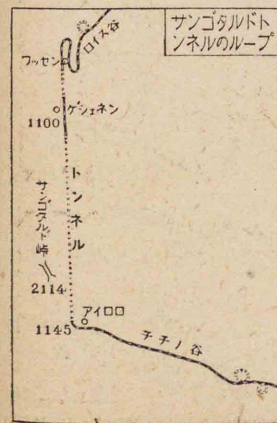


アルプスとジュラ山地との間に中央高原がある。気候は山岳性で、夏は冷涼である。

處誌人文

首府はベルンでジュネーヴ・チューリヒ等は各湖脚に發達した相似形の都市である。面積の四分の一は牧場で、夏季は融雪を待つて山上に牛・羊を遊牧するが、殊に乳牛が良質の乾酪・煉乳等を供給する。水力發電により工業が隆盛になり、内陸國であるから少量の原料を輸入し、熟練した技術によつて精巧に加工する工業が自然に發達した。ジュネーヴ等に盛な時計製造の如きはその適例である。チューリヒ附近には綿織物・化學製品・機械等の工業が行はれる。我が國へは時計染料・機械煉乳等を輸出する。アルプスは交通上の大障壁で、サンゴタルド・シンプロンの二大トンネルが南北を連絡する。

この國は三箇國の接觸地帯であるから、住民はチユートン族・ラテン族から成り、言語は獨佛伊



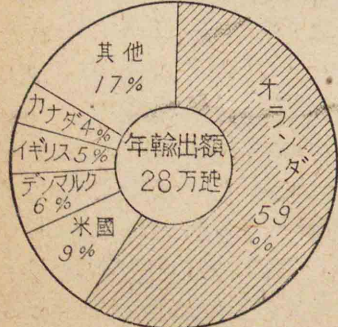
の三箇國語が各國境に近く行はれる。政體は聯合共和國で、永世局外中立國であるのは列強の緩衝地帯のためである。この國は山湖の景色が勝れ、世界の公園といはれ、設備も亦完備し、觀光客極めて多く、巨額の収入を得てゐる。

五 オランダ(和蘭)

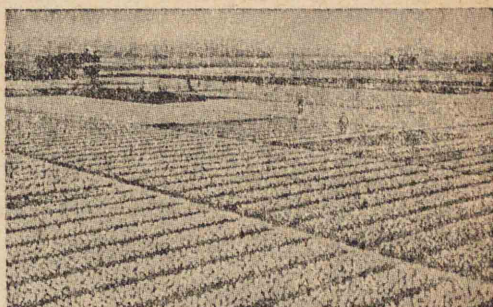
ベルギーと共にライン河口附近の低地を占め、面積は約三萬五千方料で、略臺灣に等しい小國である。ライン河及マース河の舊分流の運んだ土砂と砂丘及堤防で圍まれた水は風車蒸氣ポンプ等で排水され、海面以下の低地となり、それが全面積の四分の一に達した。西風が常に卓越し、海洋性の溫和な氣候である。地形氣候は農牧業に適する。干拓したポルダーは牧場に利用され、バター・チーズ・煉乳の産



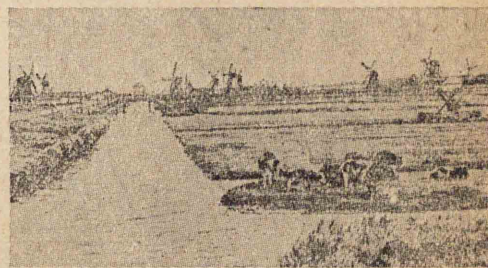
世界の煉乳輸出國百分率







ハーレムの花畠

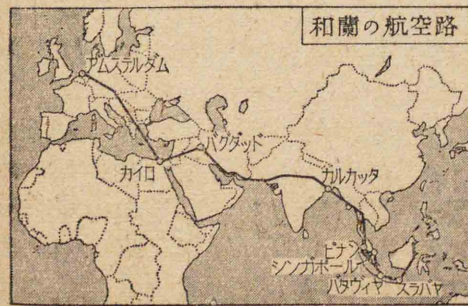


ポルダーの景觀

出が極めて多い。又チューリップ、ピヤシンス等の觀賞植物の栽培が盛で、英、米等へ輸出され、その中心はハーレムである。この國の海外大發展時代の阿姆斯特ルダムは大いに榮えた。ライン河港のロッテルダ

ムは中歐殊にライン地方を後背地とし、莫大な伸繼貿易が行はれ、一般に運河交通が最高の發達をなしてゐる。バター、チーズ、煉乳及蘭領東印度産の錫等を輸出する。遠く蘭印へ航空路を開いてゐる。王國の首府はハーグである。

人口は八七〇萬で、住民はチュートン族であり、言語は



ドイツ語に類似し、新教を奉ずる。人口密度は世界第二位である。昔日に於ける海外發展の餘勢で、本國に六〇倍の領地をもち、蘭領東印度はその主なものである。ベルギーと共に英、佛、獨の緩衝地帯である。

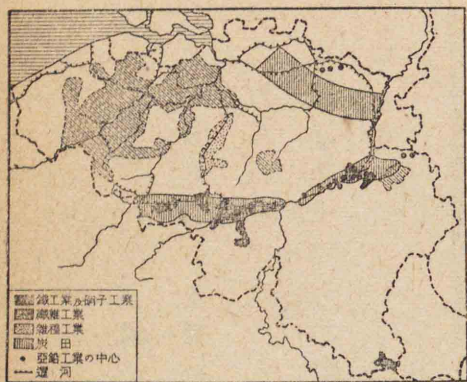
**我が國との關係**

我が鎖國時代には支那以外では唯一の貿易國であつたため、西洋文化はこの國によつて輸入され、醫學、物理學、博物學等の進歩を促した。今は蘭領東印度との關係が密接である。

**六 ベルギー(白耳義)**

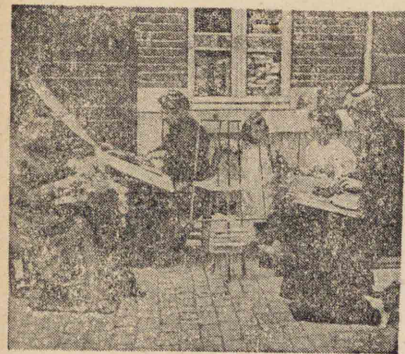
オランダの南に在り、獨佛の間に介在し、海を隔てて英國に對する。白蘭兩國は中歐と西歐との漸移地帯である。面積は約三萬方料で、オランダより稍小さい。地理的に分てば山地、丘陵地、低地の三區となり、略シエルト、マース兩河によつて分たれる。氣候はオランダと略同じく温濕である。

低地は酪製品を産し、丘陵地は農行はれ、マ





ス河及支流の谷からは石炭を産出する。不足する鐵鑛はルクセンブルグから輸入し、この石炭を利用して製鐵製鋼業が盛で、その中心はリエージュである。良質の硝子類、各種の織物、レース等の製造も行はれ、獨佛に續く大陸の大工業地帯の一部を形成する。アントワープ、アムステルダムは自國の貿易のみでなく、中歐及北歐の咽喉港をなし、ロッテルダムと並び、仲繼貿易額は莫大で、我が歐洲航路もこの地を終點とし、我が國へ鐵、光學用硝子等を輸出する。



この國はチュートン族とラテン族との接觸地帯で、公用語としては兩語が併用される。但し宗教は共に舊教で、オランダ人と異なる。人口は約八三〇萬で、密度は世界第一位を占め、我が内地の一三倍半に當る。首府ブリュッセル、ブラッセルは國の中央にあり、市街壯麗で、小パリーの稱があり、凡てに佛國的色彩が強い。この國は立憲王政で、緩衝

地帯であるが、獨佛兩國の間にあるため、第一次、第二次世界大戰共に戰場となつた。コンゴはこの國の有する一大領地で、銅を輸入する。ルクセンブルグ、獨佛、白三國の間に介在する大公國で、同名の首府があり、ローレンに續く鐵の産地である。

- (一) スイスの山國としての利用に就いて我が國と比較せよ。
- (二) オランダに於ける産業と自然との關係を説述せよ。
- (三) ベルギーの商工業の盛な状態を説述せよ。

## 第五章 西部ヨーロッパ(西歐)

### 一 フランス(佛蘭西)

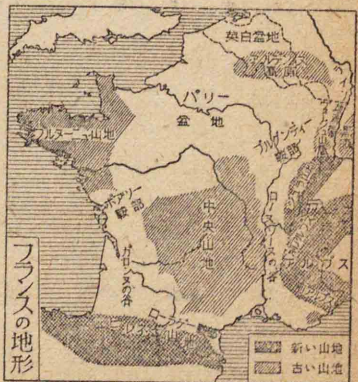
**位置・區分** 西歐の中央に位し、獨伊と境を接し、關係が微妙である。面積は約五五萬方呎で、我が國の約八割に當る。地理的には南北フランスの二區に分れる。



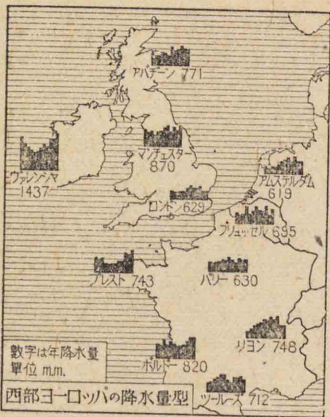
地勢氣候

新しい褶曲山地であるピレネー

山地は高峻で、直線状をなし、アルプス山地は大彎曲をなす。中央山地は東北のヴォージュ山脈、西北のブルターニュ半島に延び、共に古い高原をなす。これ等の新舊山地の間にはセーヌ・ロアール兩河の流域にパリ盆地、ガロンヌ河の流域にガロンヌの谷、ソーヌ・ロアール河の流域にソーヌ・ロアールの谷があり、相互の境は極めて低い。氣候は一般に溫和であるが、殊に東南部は地中海性氣候である。



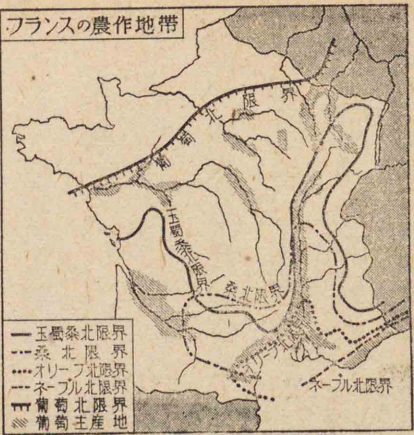
フランスの地形



西部ヨーロッパの降水量型

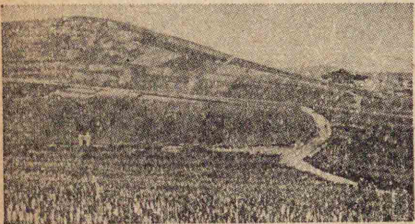
産業・交通處誌

この國の半は農耕地で、パリ盆地は小麥・燕麥・甜菜等の主産地である。葡萄酒は質量共に世界に冠絶し、葡萄はパリ以南を主産地とし、パリ盆地では丘陵地に栽培され、殊にシャンパーニュ産の葡萄酒は最も良質

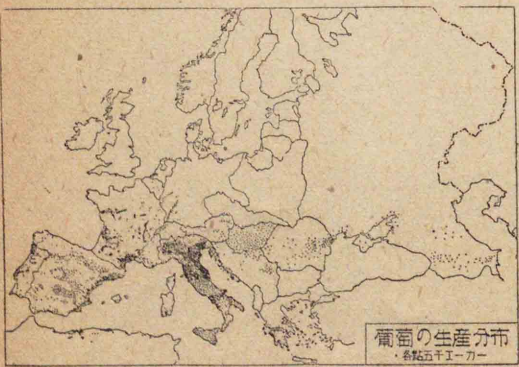


である。ガロンヌの谷は氣候が溫暖で、ガロンヌ河口附近のメドック地方が葡萄の産地で、ポルドーは葡萄酒の醸造が盛で輸出が多い。地中海地方はオリーブ・油・石鹼等をマルセイユから輸出する。又ロアール下流地方は氣候上桑が成育し、養蠶が行はれ、リヨンではその生絲と我が國及イタリヤより輸入したものとによつて世界的に精巧な絹織物を製して輸出する。北部の炭田はベルギー炭田の續きで、リール地方の織物工業の發達を著しく助ける。石炭に富むサ

蠶が行はれ、リヨンではその生絲と我が國及イタリヤより輸入したものとによつて世界的に精巧な絹織物を製して輸出する。北部の炭田はベルギー炭田の續きで、リール地方の織物工業の發達を著しく助ける。石炭に富むサ

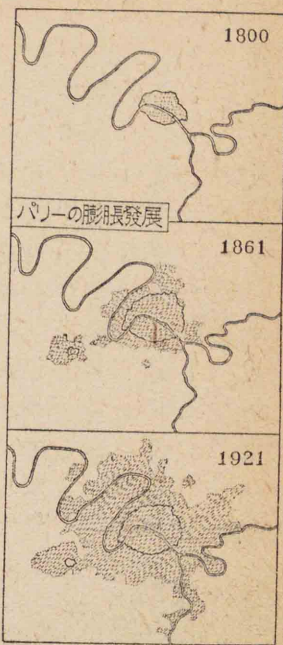


丘陵の緩傾斜面の葡萄畑



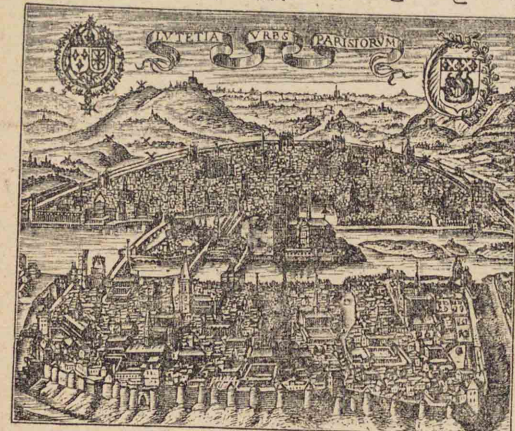
葡萄の生産分布



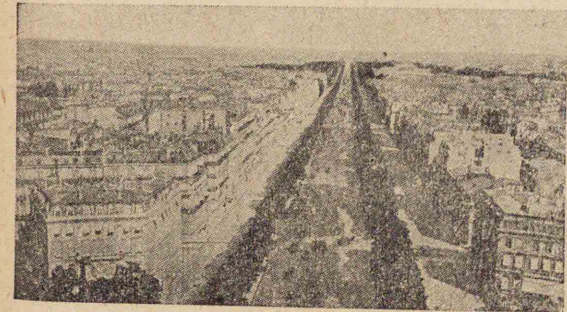


ンテチェンヌは工業が行はれる。ローレンは鐵鑛が豊富で、輸出さへする。美術工藝はこの國の特色で、パリがその中心で、小くて高價な装身具、貴金屬品、化粧品

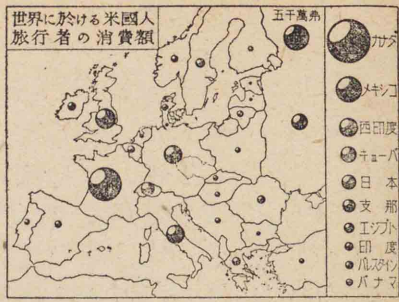
等の製作が著しく進み、世界の流行界の先驅をなし、弘く世界を顧客として供給する。かくてこの國は化學工業品、鐵及鋼、綿織物、絹織物、葡萄酒、石鹼及香水等を輸出し、石油、羊毛、棉花は需要の殆ど全部、石炭は四割



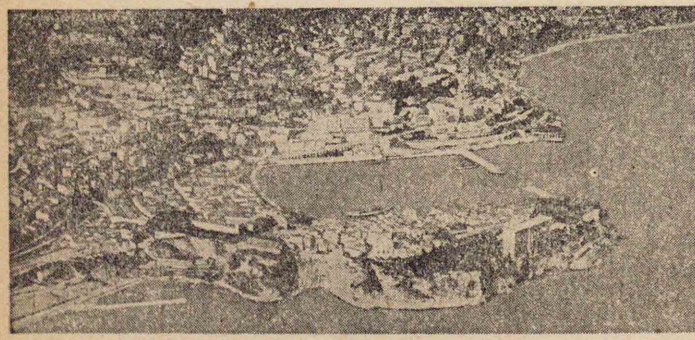
一六〇七年のパリー



パリーのシャンゼリゼー通

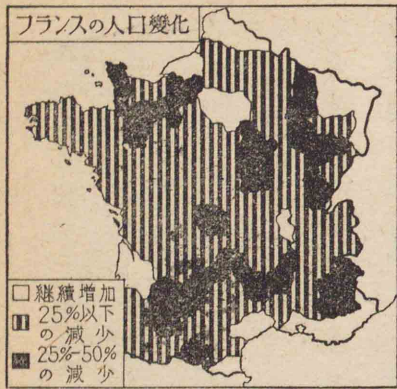


を輸入に仰ぐ。首府パリ(巴里)はこの國の政治・經濟・交通・文化の中心で、セイヌ河に跨り、市街は壯麗で、外人觀光客の多いこと世界一で、環狀道路等よく整ひ、各國は都市計畫の範をこの市に採る。西南郊のヴェルサイユの宮殿と庭園とは善美を盡す。パリーの海の門戸はセイヌ河港のルアーヴルで、この國第二の貿易港をなし、米國通ひの巨船はシエルブル港を利用し、ドーヴァー海峽に面するカレーはイギリスへの渡津である。南佛の中心はボルドーとリヨン、マルセイユで、マルセイユはこの國第一の貿易港で、地中海沿岸及東洋との取引が多く、我が歐洲航路船はこゝに寄航する。



飛行機から瞰たりヴィエラのモナコ

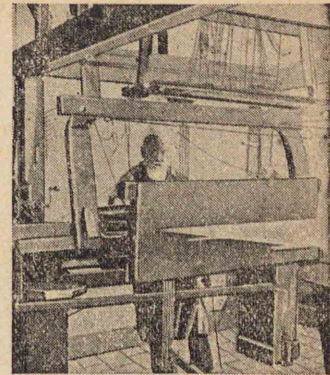
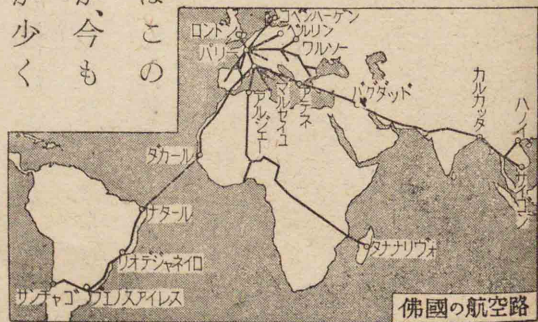




聯盟を保持して國際的地位をはかり、マジノ線を築いて國防につとめてゐたが、國力振はず、今次の大戦には大敗に終つた。領地は英國に次いで大で、略本國の二二倍を有するが、アフリカがその大部分を占め、生産的價値少く、印度支那が生産的な地域の一つである。

我が國との關係

維新後、我が軍事法律學藝等は、この國に範を採る所が多かつたが、今も美術學藝に就いては負ふ所が少くない。我が國からは生絲綿織物等を輸入し、我が國へは機械類、鐵合成染料、皮類、毛織物、化粧品、葡萄酒等を輸出する。國際聯盟、對獨、對伊、支那事變、殊に佛領印度支那等に關しては、彼我相互に國際的關心をもつ所大である。



リヨンの絹織

カンヌ・ニース・モナコ(侯國)を含む沿岸一帯は歐洲第一の休養地帯で、リヴィエラと呼ばれる。河川・運河・鐵道等の交通はよく發達し、各平野の境の鞍部は運河さへ通ずる。航空路は歐洲は勿論、遠くアフリカ・南米・印度支那にまで及んでゐる。

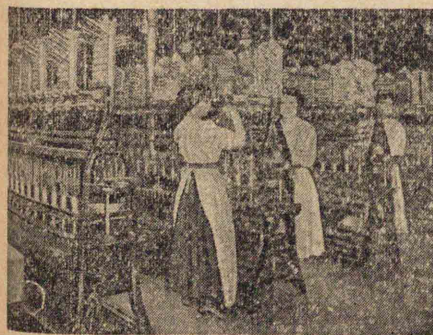
住民

人口は四、一〇〇萬で、その大部分はラテン族で舊教を奉ずる。フランス語は世界の外交語・交際語として尙ばれる。一般に文藝・美術に秀で、趣味は著しく進歩する。人口密度は割合に大でなく、人口が減少する傾向のあることはこの國の弱點である。

政治

極端な變遷を経て現今の共和制となり、獨伊に對して英と協調し、又ソ聯と接近し、國際

●都市人口分布一五五頁参照



リヨンの製絲



- (一) 獨佛の産業を比較せよ。
- (二) パリーの特色を挙げよ。

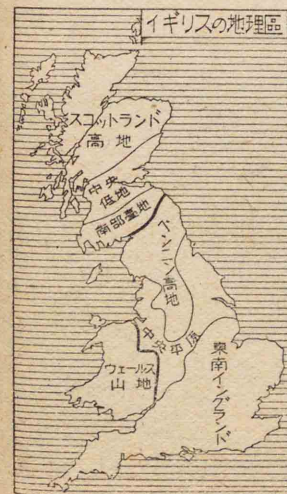
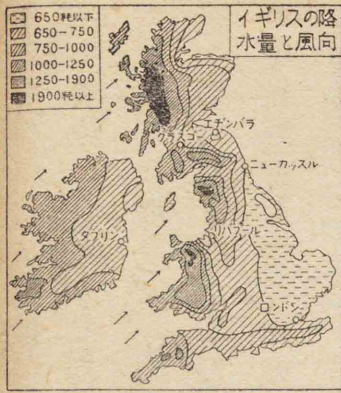
- (三) フランスの産業と自然との關係を説述せよ。

## 二 イギリス(英吉利)

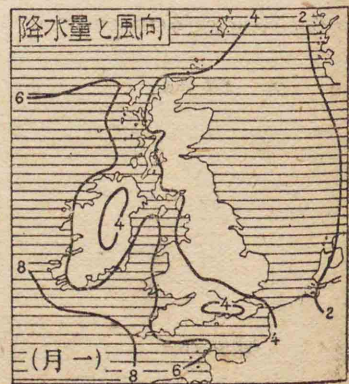
**位置區分** イギリス諸島は大ブリテン・アイルランドの二大島が主で、大陸とは狭いイギリス海峡を挟んで對する。面積は約二三萬方呎で我が國の三分の一に當る。大ブリテン島は地理的にイングランド・スコットランド・ウェールズの三地方に分れ、アイルランド島は北アイルランドとアイルランド國から成る。

### 地勢

イングランドの南部は波浪狀の平野で、ベンニンとウェールズとは山地をなし、テール



ムス河等の河口は喇叭狀をなす。スコットランドは地溝帯をなす中央低地をもつ山地で、湖に富み、景色よく、海岸は沈降して狭長な灣入をなす。アイルランドには沼澤地をなす中央低地がある。北海は淺く、諸島は陸棚上にある。



### 氣候

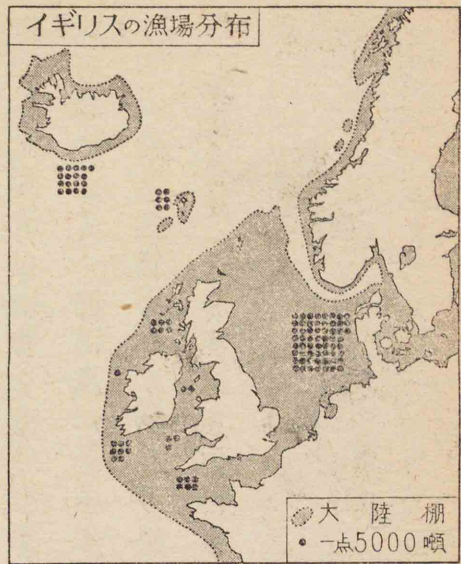
この國は凡て北緯五十度以北にあるに拘らず、灣流の影響を受けて氣候が極めて溫和で、一月に於ては等溫線は南北に走る。偏西風が年中卓越するため山地の西側は著しく雨が多

### 産業處誌

い。一般に濕氣に富み、霧深く、快晴の日は少い。小麥が東部に多いのは氣候の關係で、牧羊が東斜面に、牧牛が西斜面に多いのも雨量と牧草との關係に基く。小麥は輸入小麥に壓倒され、酪製品の需要が増加す







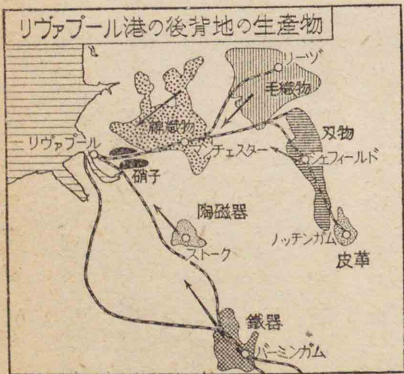
るため、畑を變じて牧場にする傾向がある。耕地面積は小で人口多く、而も工業の勃興は農業の不振を來たし、食料品は不足し、一年の收穫は僅か三箇月を支へ得るに過ぎない。畜産は牛馬共に世界の良種を以て稱せられるが、しかも尙肉類は需要の六割を輸入する。北海は陸棚をな

し、魚族に富むため鯨、鰈等の漁獲多く、東岸には漁港の發達著しく、**ドッガーバンク**に最も近いハルグリムスビーは共に漁港として有名であるが、この國への我が鮭類の罐詰の輸入も多い。石炭二位、鐵の産出は甚だ多量で、且つ兩者は殆ど同一地域に産出して工業の發達を促し、製品



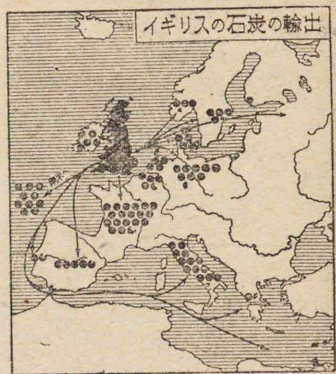
は良質と耐久力とに特色がある。綿絲紡績、綿織物、毛織物、麻織物、造船等の工業は何れも皆世界第一位を、製鐵業は第四位を占め、機械、化學工業も行はれる。ペンニンの東西兩山麓には豊富な炭田がある。それを燃料として西に綿絲紡績及綿織

業が行はれ、その中心は**マンチェスター**で、東麓の炭田には毛織物業行はれ、**リーズ**がその中心である。西側は風上に當り、降水量多く、濕氣に富み、綿絲の紡績に適する。東側は風下で、降水量少く、草地に富み、牧羊が行はれてゐたのが誘因となつて毛織物業が起り、今は遠く海外から原料を輸入する。同じく炭田に恵まれ、又物等の鐵器の製造が盛な**シェフィールド**も東麓にある。南麓の炭田上には**バーミンガム**があり、



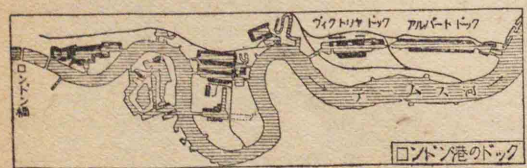
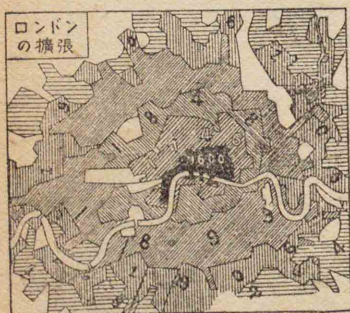


製鐵業が盛で、ペンその他大小の鐵製品を産し、附近は黒郷と稱せられる。タイン河口の東麓炭田の北部のニューカッスルは、石炭の輸出港であると共に大造船所を有し、附近のミッドルズバラは鐵鑛を産し、製鐵業が盛である。ウェルースは良質の無煙炭を多量に産し、カーヂフは石炭輸出港として世界的である。スコットランドの中央低地は炭田を有し、グラスゴは喇叭状のクライド河の港で、造船業はこの國第一で、製鐵業も行はれ、附近は綿絲紡績も盛である。貿易額の大と關係國の廣いことは米國と比肩し、米國と共に世界經濟の中心である。輸入は肉類、小麥(需要の八割)、バター(九割)、果實、茶等の如き食料品、棉花(米國、エジプト等から)、羊毛(濠洲、ニュージーランド等から)、採油原料、鐵鑛(三割)、石油等の如き原料品が多く、輸出は綿絲、綿織物、鐵鋼製品、機械、船車、化學製品、毛織物等の精製品及石炭(佛、伊、獨等)が主で、よく工業國の特色を發揮し、又仲繼貿易も盛である。取引は自國の植民地は勿論、米國を始め世界各國との間に行はれ、實に世界に於ける標式的の商業國である。



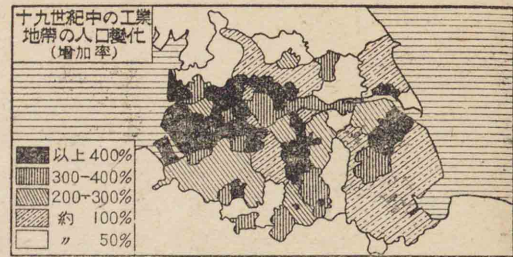
首府ロンドン(倫敦)はロンドン盆地の中央、テムズ河に跨り、人口約八六〇萬、ニューヨークと並ぶ大都市で、又巨船を泊し得る大貿易港である。大英帝國の首都として、又世界經濟の一大中心としての機關と景觀とを備へてゐる。對米航路はザンプトンを起點とし、軍港としては

ポーツマスがある。ランカシャー地方の工業都市の輸出入は喇叭形のマーシー河口にあるリヴァプールがこれに當り、ロンドンと並ぶ貿易港で、南北米との取引が多い。スコットランドの貿易港グラスゴは同地方の經濟の中心、この國第二の大都会で、エデンバラは古都で學藝が盛である。北アイルランドの中心はベルファストである。





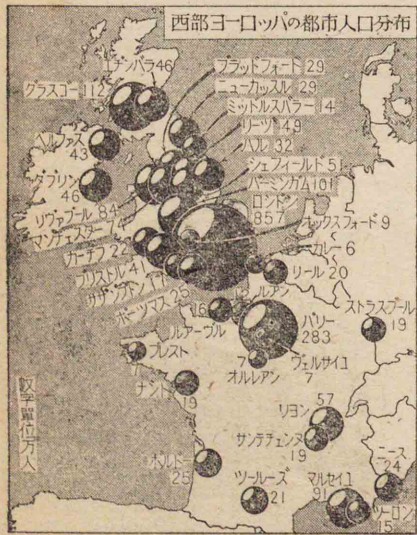
充實し、世界三大海軍國の一である。三百年來海上に活躍し、地球上到る處に領土を獲得し、その總面積は世界陸地の約四分の一に近く、總人口約五億に及び、北半球の熱帯季節風帯のインド、温帯のカ



勢力をもつ。國人は一般に沈着で、實際を重んじ、且つ常識に富む。人口密度は白蘭兩國に次ぎ、その大なる所は工業地帯で、ロンドンを除く他はすべて炭田の分布と一致する。工業の勃興に伴ひ、人口が都市に集中した現象は殊に著しい。

**政治**

この國は立憲君主國で、本國は大ブリテン北部アイルランド聯合王國と稱し、植民地を合せて大英帝國を組織する。海軍は国防及貿易保護のため

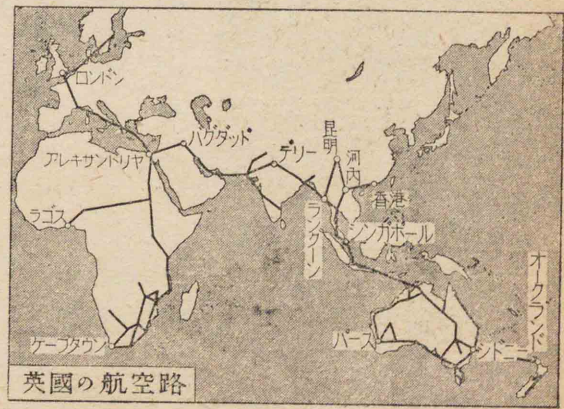


**交通** 分水界が低いため運河網がよく發達し、喇叭狀の河口は満潮に際して巨船を碇泊し得る良港が多い。大陸へはドーヴァーからカレーに連絡する。海運業は世界無比で、船舶は世界の三分の一を占め、地球上到る處に英國の船舶を見ない所がない。航空路は歐洲各國線と連絡し、又遠く南阿印度、濠洲までの自國經營線をもつてゐる。



**住民**

人口は約四、八〇〇萬で、イングランドに於てはチュートン族に屬するアングロサクソン人が多く、英語は世界の商業語として最も



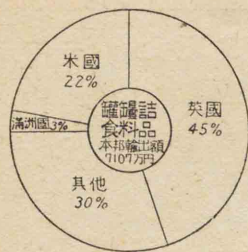


ナダ、南半球温帯のオーストラリア、ニュージーランド、南アフリカの如き好植民地、ジブラルタル、マルタ、アデン、コロンボ、シンガポール、香港等の如き通商上、軍事上の重要地帯を夙に領有し、世界一の植民地所有國となつた。故に國際上從來佛と提携し、米と親しみ現狀維持につとめつゝある。

**我が國との關係**

我が國は海軍、海運業、貿易

業、學藝及造船業その他の工業の發達に於てこの國に負ふ所が多い。イギリスのヨーロッパ大陸に對する地位は、我が國がアジア大陸に對するそれと極めてよく類似し、國情も亦類似の點が少くない。嘗て攻守同盟國であつたが、その後我が國勢の發展に伴ひ、彼我の利害相反し、國際上對立國となつた。彼我の取引關係は我が國へは機械類、毛織物、鐵類等を輸出し、我が國からは生絲、罐詰食料品、木材、絹織物等を輸入する。近時世界の國際市



場に於て彼我の商品、殊に綿絲、綿織物等は激烈な競争状態にあり、英國は大英帝國のブロック經濟を以てこれを防がんとしてゐる。

**アイルランド國(アイル)**(愛蘭) アイルランドの東北部を除く大部分は原住民族のケルト族が住み、舊教を奉じ、農牧業本位の生活をするが、收穫少く、年々新大陸に移住するものも多い。イギリスと種族、宗教、産業、生活等を異にするため抗争やまず、遂に自治領として獨立した。首府はダブリンである。

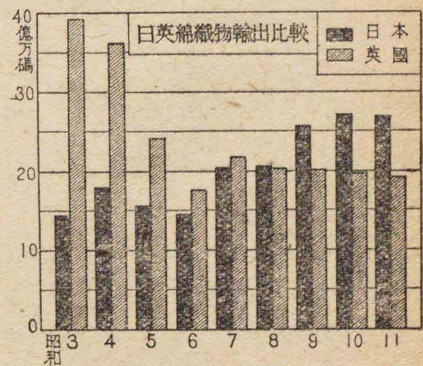
(一) イギリスと我が國との産業を比較せよ。

(二) イギリスの産業及商業が發達した地理的理由を擧げよ。

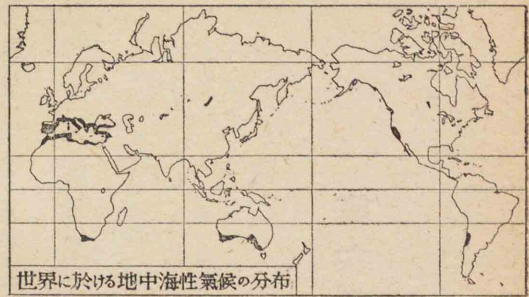
**第六章 南部ヨーロッパ(南歐)―地中海地方**

一 イベリヤ半島 ス페인(西班牙) イスパニヤ、

ポルトガル(葡萄牙)



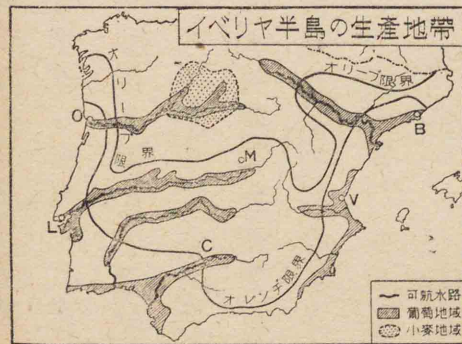




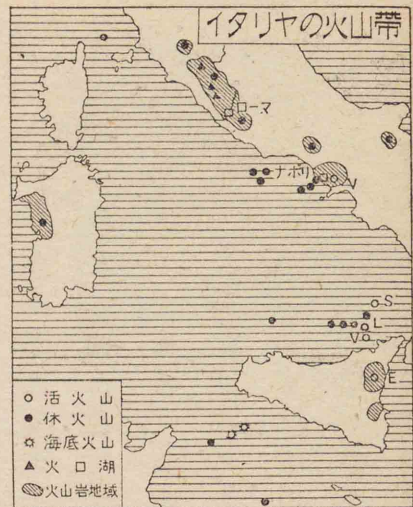
世界に於ける地中海性気候の分布

イベリヤ半島はヨーロッパの西南端に突出し、南はジブラルタル海峡によつてアフリカに對する。中央は一大高原地塊で、南はシエラネヴァダ、北はピレネーの新しい褶曲山地によつて縁どられる。氣候は北部を除いた海岸は地中海性で、中央高原は大陸性である。

スペイン・ポルトガルは共に共和國で、首府は高原上のマドリッドと海港リスボンとである。各溪谷には葡萄・オリヴを産し、オポルトからはポルトワインと稱する葡萄酒を輸出し、オリヴ油・コルクの輸出は共に世界第一位である。スペインは鐵・銅・水銀等に富むが、多く鑛石のまま、英獨等に輸出される。スペインの貿易港はヴァルセロナである。



イベリヤ半島の生産地帯

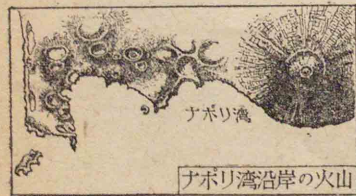


住民はラテン族で、舊教を奉ずる。國民戦線のフランコ新政府は滿洲國を承認し、日滿兩國と防共協定を締結した。地中海の口を扼する要地ジブラルタルは英領となつてゐる。

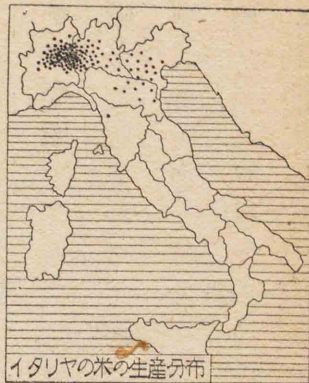
位置地勢氣候

地中海地方の中央に

半島をなして東南に長く延びる。地理的には北イタリア(大陸部)南イタリア(半島部)の二區となる。北イタリアの中樞はロンバルディア平原で、アルプスとアペニン山脈とに圍まれ、ポー河これを貫流し、アドリヤ海に注ぐ。この地域の氣候は稍大陸性である。半島部は長靴狀をなし、その脊梁をなすアペニ







ン山脈はシシリー島を経てアフリカに達し、その内側にはヴェスヴィオエトナ等の火山噴出し、地震も亦多い。半島部の気候は純然たる地中海性である。

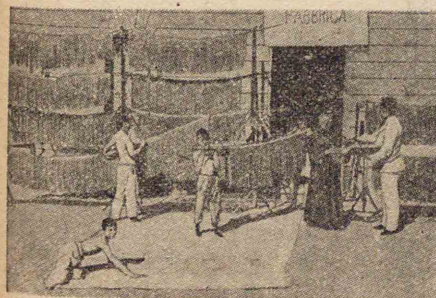
産業交通處誌

農業は最もすぐれ、小麦米(ロ

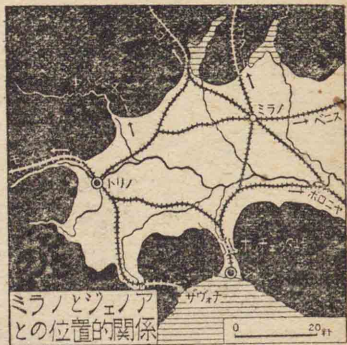


ンバルヂヤ平原・葡萄・オリーブ・オレンジ・レモン・無花果等の亜熱帯性の果實桑等は氣候に恵まれて産額多く、マカロニ・葡萄酒二位、オリーブ油・乾果等が産出して輸出され、繭生絲の産額は歐洲第一である。大理石・硫黄二位、水銀一位の産出は有名である。石炭は乏しいがアルプス山地の水力電氣と豊富な

勞力で近代工業が次第に盛となり、ミラノを中心として製絲業の外、人造絹絲・絹織物・綿絲織物・毛織物

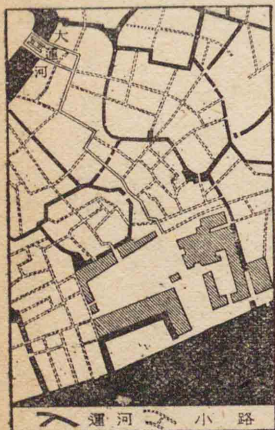


イタリアの名産マカロニ

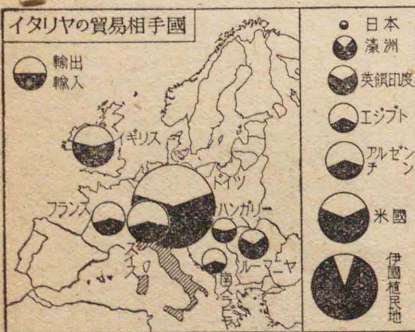


等の製造が行はれる。従つて輸出品は果實・綿織物・人絹・毛織物等が多く、輸入品は石炭・棉花・機械・石油・羊毛・鐵類等を主とし、取引國は獨米が主である。農・商・工業共にロンバルヂヤ平原が盛で、その中心ミラノはアルプスの大障壁を横斷して中歐・西歐と通ずる鐵道の集る所で、ジェノアを咽喉港とする。アドリヤ海灣頭の潟湖を占めるヴェニス

アと共にヨーロッパ内陸部の門戸である。南イタリアには首府ローマ(羅馬)と貿易港ナポリ(ネーブルス)があり、ローマ



ヴェニスの運河と小路

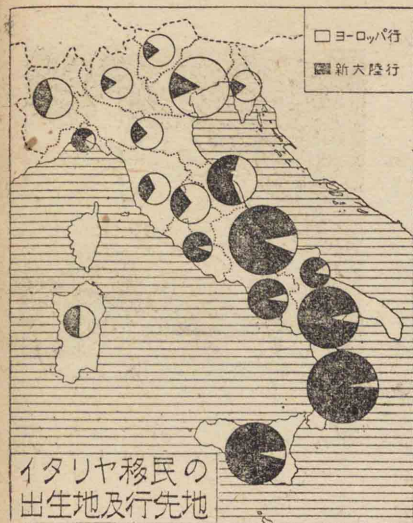




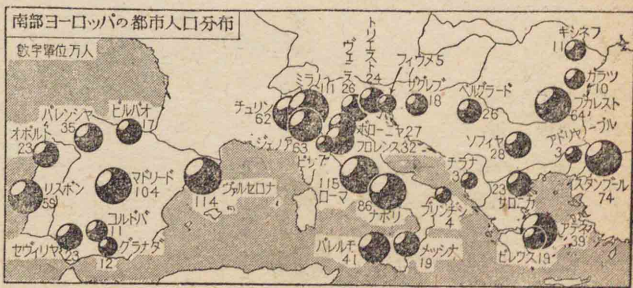
は舊羅馬帝國の首府で遺蹟に富み、遊覽客多く、ナポリは我が汽船の寄航地で、ヴェスヴィオを望むナポリ灣の風景は絶佳である。フロレンスは繪畫彫刻の名作を有する美術都市である。

### 住民政治

ラテン族と舊教の本源地で、文化の發達古く、美術音楽等今に見るべきものが多い。人口密度の大な農業國であつたから、兩米等に出稼するものが極めて多かつたが、今は引留めてゐる。立憲王國で地中海地方では一大勢力を有し、ファッシ



ストが活動して、ムッソリーニ首相國政を執り、ドイツと結び、全體主義國家として國勢の發展に努めてゐる。この國はアルプス



地方とダルマチヤ海岸とに國境を擴め、又近時エチオピア及アルバニヤを併合し、更にアフリカに大飛躍をせんとしてゐる。ローマ市内に法王の君臨するヴァチカン王國があり、マルタ島に英國の軍港がある。

### 我が國との關係

この國は自然・人文共に我と類似する點が少なく、殊に持たざる國の新興國として國情の相通ずるものがある。最近日獨伊三國同盟を結成して一層親交を深めた。我が國から生絲等を輸入し、我が國へ水銀機械等を送る。

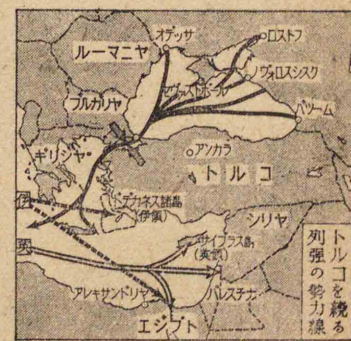
- (一) イタリアと我が國の類似點を挙げよ。
- (二) イタリアの地中海に於ける地位を説述せよ。

### 三 バルカン半島

ヨーロッパの東南隅に突出した半島で、小アジア半島と共に歐亞兩大陸連絡の位置にある。北部はトランシルヴァニアアルプスが乙字形にバルカン山脈に續き、南部はヂナルアルプスがダルマチヤ海岸を走つてギリ



シヤ半島に及んでゐる。エーゲ海(多島海)マルモラ海によつて歐亞の連續は絶たれ、無数の島嶼がある。ダニユーブ河は鐵門を出で、ルーマニヤ平原を東流し黒海に注ぐ。全半島は山がちで到る處に山間盆地を見る。海岸はすべて地中海性の氣候であるが、内陸は稍大陸性を帯びる。



住民は殆ど全部農民である。この地方は歐亞の接觸地帯で、地形も數多の小區域に分れ、最も複雑な人種の分布をなし、國際上の噴火山」と稱せられる。嘗て全半島を支配したトルコ族はアジア人種で回教を奉じ、住民の多數を占めるキリスト教徒のヨーロッパ人種と融和せず、獨立したヨーロッパ人種も南スラヴ族のセルヴィヤ族を中心としてユーゴスラヴィヤ王國を、ブルガリヤ族はブルガリヤ王國を、ラテン族のルーマニヤ族はルーマニヤ王國を、ギリシヤ族はギリシヤ王國を、アルバニヤ族はアルバニヤ王國を各建設したが、近時歐洲戰の勃發に伴ひ、獨伊ソ英の勢力圏爭奪の的となり、獨伊勢力下にクロアチア族及モンテネグロ族は各同名の獨立國を建設し、我が國はクロアチアを承認した。

ユーゴスラヴィヤ 首府ベルグラードはダニユーブ河とサウ河との會合點にあり、バルカン半島縦貫路の要衝に當る。  
ルーマニヤ 平原では小麥を産し、穀物倉と稱せられ、首府ブカレストは平原の中心にあり、山麓では石油と岩鹽とを多量に産する。  
ブルガリヤ 首府ソフィヤは山間盆地の中心で、近東鐵道に沿つてゐる。  
ヨーロッパトルコ トルコは大戦後僅か一部分を残して首府も小アジアに引退したが、イスタンブール(コンスタンチノープル・スタンプール)はボスポロス海峡に臨み、近東鐵道の終點に當り、水陸交通の要地である。この地はもとのトルコ帝國の首府で、羊毛、敷物等を集散する。

アルバニヤ 僻遠な山地で中心をチラナといひ、伊國に併合された。



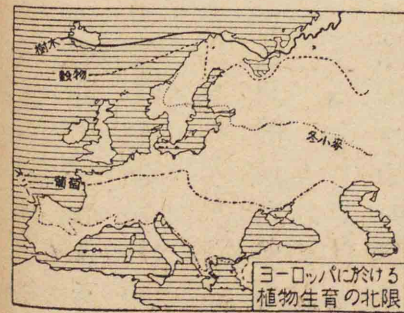
ギリシヤ(希臘) 乾葡萄・無花果・煙草等を産し、又兩米へ出稼するものが多い。古代文明の發祥地であるが、今は首府アテネにはアクロポリス等の遺蹟が残るのみである。サロニカはベルグラードから來る縦貫鐵道の終點に當る門戶港である。この國は近時の歐洲戰に於て、獨伊に敗れて、今はその支配下にある。

- (一) バルカン半島に戰亂の絶えない地  
 (二) バルカン半島の住民について詳述  
 理的理由を擧げよ。 ————— せよ。

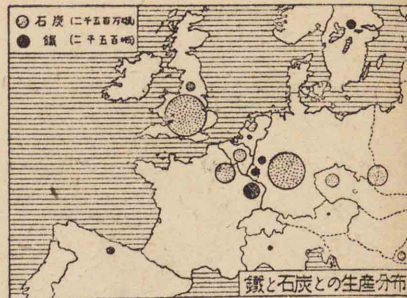
### 第七章 ヨーロッパの人文總説

#### 産業

小麥の産地はロシヤ南部及ルーマニヤが主で、パリ盆地も亦産額が多い。ライ麥はソ聯北部から北歐及中歐の平原に産し、燕麥・大麥も亦略同じ地帯に産する。馬鈴薯及甜菜はドイツとソ聯とが主産地である。地中海地方は亞熱帶性の果實を産し、オリ



ヨーロッパに於ける植物生育の北限



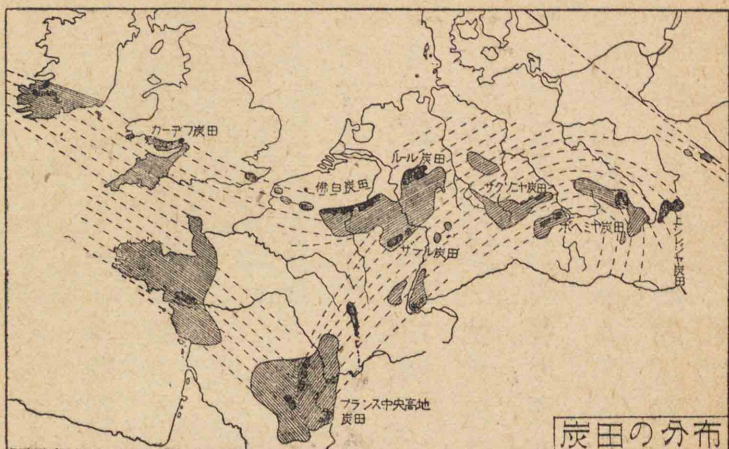
ヱ油の産額が多く、養蠶も亦米作と共にこの地域の特殊産業で、生絲の生産も行はれる。牧畜業も振ひ、デンマルク・オランダ・スイス及イギリスは乳牛に、イギリスは良馬に、ドイツは豚の産に顯はる。林業は北部に盛である。水産は北海に極めて盛で、世界の三大漁場の一と稱せられ、鱈・鯨が多い。石炭は

中央高地の北縁及イギリスの炭田に産し、極めて豊富で、鐵の夾在と相俟つて近代工業の勃興の主要因をなし、延いて一般文化の發達を促したことが莫大で、獨英佛の隆盛は實にこれに負ふところが多い。獨白佛に互るヨーロッパ平原の西部及イギリス即ち中歐及西歐諸國は米國と並び世界の最盛最大最高級の工業地帯で、精製品の産出が夥し



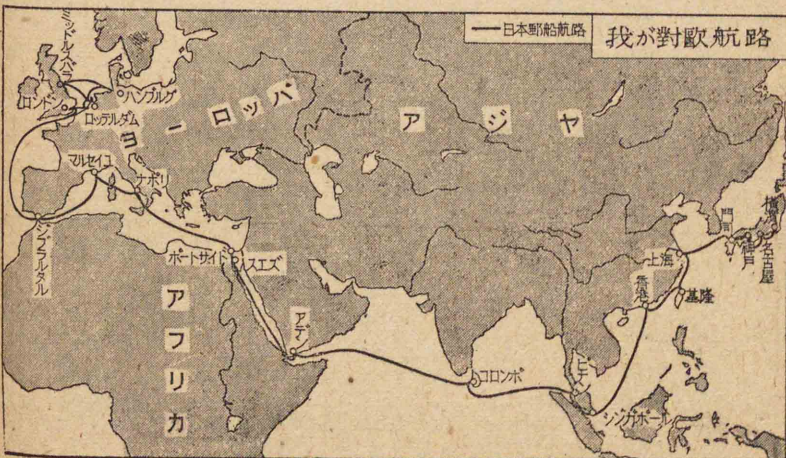
ヨーロッパの炭田分佈  
 ● 普通石炭 ● 瀝青炭  
 ○ 亞炭



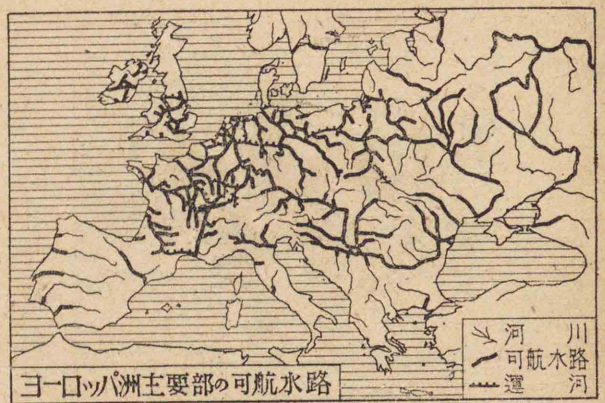


炭田の分布

は概ねその勢力下にある。最も盛で、ロンドンには世界経済の大中樞である。英獨佛は商業が

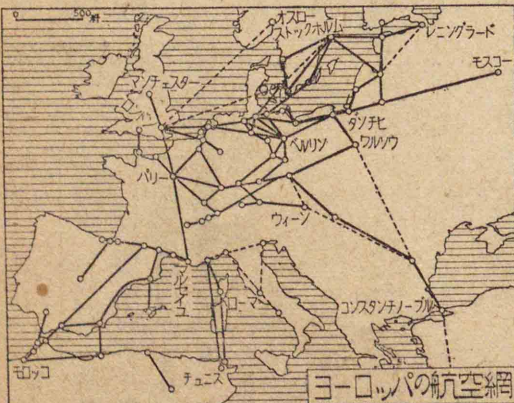


く、他の大陸諸國へ供給する量は甚だ大である。工業原料は大部分は他の大陸から供給を仰ぎ、食料品の如きもヨーロッパ産のみに依ることができないため、諸國の海外貿易は何れも盛大で、米國及我が國を除く他の世界各地



ヨーロッパ主要部の可航水路

ントワープ・ロッテルダム・ハンブルグ等がその活動の大根據地である。近時航空路の發達が目覺しく、ベルリン・パリ・ロンドン等列國の首府を中心として獨佛英ソ伊等の經營線が歐洲は



ヨーロッパの航空網

交通

ロンドン・パリ・ベルリン・モスコイ等を中心として數多の鐵道幹線がある。運河網の發達は

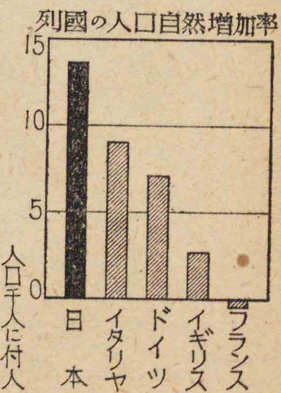
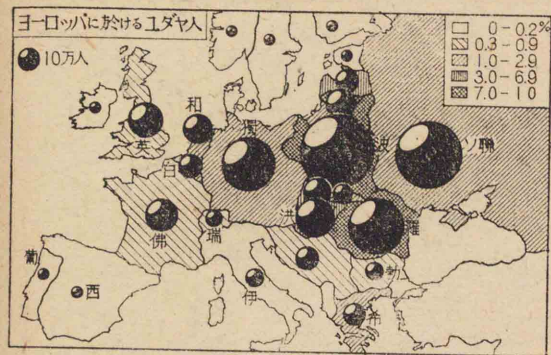
何れの大陸よりも顯著で、重要河川は内陸國と海との國際的連絡に貢獻する。海上交通はロンドン・アムステルダム・ブリッセル・アントワープ・ロンドン・アムステルダム・ブリッセル・アントワープ・ロンドン・アムステルダム・ブリッセル・アントワープ



勿論各大陸に延びてゐる。

### 住民

大部分はヨーロッパ人種で、三大種族があり、そのうち現今最も優勢なものはチュートン族で、ラテン族は概ね昔の隆盛を恢復すること難く、スラヴ族はその發展の過渡期にある。各國の人口の増減が重大な關心事である。チュートン族は中部北部に住し、着實勤勉學術に長じ、商工業に堪能で、新教を奉じ、獨英人はその代表である。ラテン族は西南部に住し、浮華で感情に傾き易いが、優美快活で、文學美術に長じ、舊教を奉じ、伊佛人がその代表である。スラヴ族は東部に住し、多くは質朴な農民で、文化は前二者に劣り、ソ聯人がその代表である。ユダヤ人は經濟力を有し、各國で問題となつてゐる。アジア人種の主なものはマジャー



ル・フィン・トルコの三族で、マジャー族の如きは歐化されて優に白人と伍する。人口は約五億餘、その密度は大陸中最大であつて、その大な地方は主として中歐・西歐の商工業地帯である。

### 政治

國家の分布は密で、三〇餘の大小國が相接し、世界の列強は勿論多くこの中にある。中央にドイツ、西に英佛があり、その緩衝地帯にオランダ・ベルギー・スイスが介在し、ドイツとソ聯との間に緩衝國としてポーランドがあつた。南歐ではイタリヤが獨り優勢で、バルカン半島は小國對立し、常に不安が絶えない。アジア人種の建設する國家はホンガリヤ・フィンランド二國で、トルコはこの大陸に一部の領土を有するのみとなつた。併しトルコの領土以外には、他の大陸の國家の植民地は一もなく、大小の國家が國際競争場裡に群り立つの偉觀を呈する。

(一) 歐亞兩大陸の自然人文を比較せよ。

(二) 獨・伊・英・佛の國勢を比較せよ。

(三) ヨーロッパの文明が最も發達した理由を地理上から説述せよ。



## 第四篇 アフリカ(阿弗利加)

### 序説

#### 位置区分

印度洋を隔ててオーストラリアの西に位し、北は地中海を隔ててヨーロッパに對し、アジアとはスエズ地峽により境する。氣候的には赤道の南北に跨る熱帯大陸で、政治的にはヨーロッパの勢力の最も強大な大陸である。位置的關係により、北部アフリカ、中部アフリカ、東部アフリカ、南部アフリカ及附屬諸島の五區に分つ。面積は約三千萬方呎で、アジア洲の三分の二に當る。

### 第一章 アフリカの自然總説

#### 地勢

全表面殆ど高臺状をなし、河川は高臺の縁邊で概ね急湍又は瀑布をなす。高臺上にはアトラス山脈、コンゴ盆地等の變化の外、東部の

大地溝帯があり、高峻な火山と高原が之に伴ふ。海岸は出入極めて少く、島嶼も乏しい。

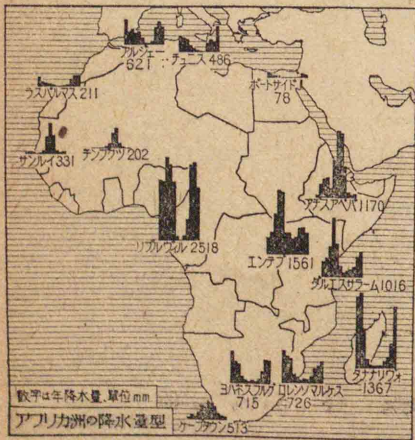
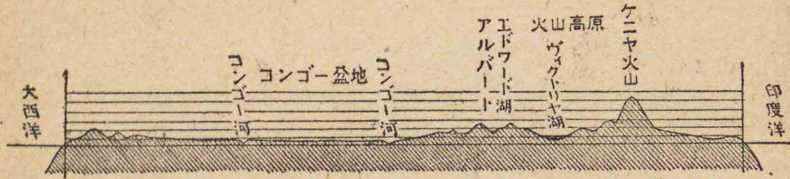
#### 氣候・植物帯

全面積の四分の三は熱帯で、南北兩端のみ地中海性氣候區で、大陸性氣候地域最も廣く展開し、南北兩部に沙漠を生ずるに至つた。ワヂと泉地とは沙漠の一特色である。兩乾燥地帯に挟まれた中央部は、貿易風と季節風とにより多雨地をなす。植物は降水量に支配され、中央の高溫多雨帯に熱帯原生林繁茂し、その南北はサヴァンナ草地(ステップ)・沙漠に漸移する。

### 第二章 北部アフリカ

#### 一 バルバリ諸國

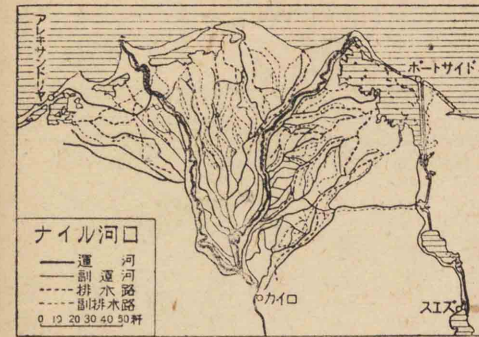
地中海岸の西半をいひ、ヨーロッパの褶曲山



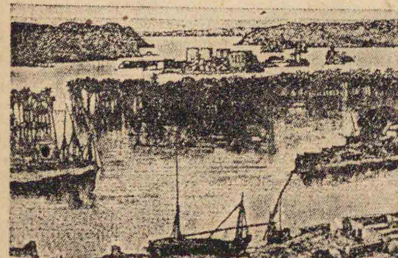
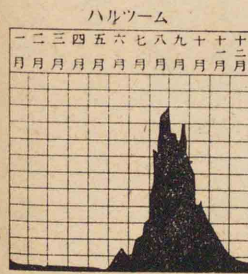


脈のつききであるアトラス山脈の部分で、所謂地中海性氣候を呈し、アルジェリヤの如きは葡萄オリーブの果實を産出する。ヨーロッパの對岸に位置するため、佛はアルジェリヤを領土とし、チュニス・モロッコを保護地とし、伊はトリポリ、イスパニヤはセウタを領有した。

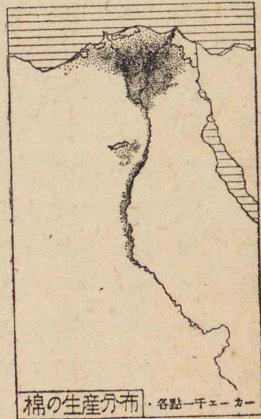
二 エジプト(埃及)



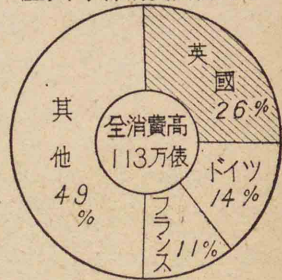
エジプトはナイル河の下流を占め、ナイル河は青ナイルの支流を合せ、沙漠の間を過ぎ下流に標式的三角洲を造る。青ナイルの源アビシニヤ高原は夏季雨量多く、水量激増し、遂にナイル下流に定期の氾濫を起す。そのため三角洲上及兩岸の狭長な洪涵地に沃土が運ばれ、良



氾濫期のナイル河



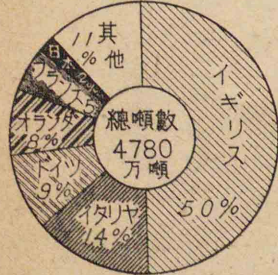
エジプト棉消費高百分率



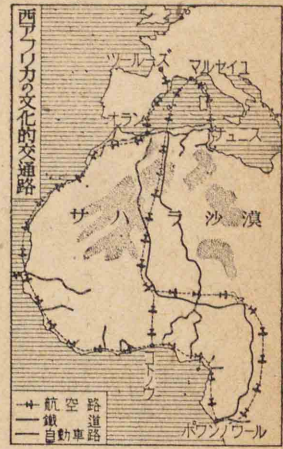
質の棉花、煙草の外、甘蔗、米、小麥、玉蜀黍等も産する。古代文明の發祥地であるのも實

にこれに起因する。三角洲頂點の首府カイロは本大陸最大の都市で、咽喉港アレキサンドリヤは古くから商港として榮えた。所以で、アフリカ縦貫鐵道の北半がこの地から起り、ハルツームの南まで延長した。スエズ運河は延長約一六〇浬、アラビヤとの地峽部に湖を利用して造つた大運河で、歐亞連絡の船艦の通行多く、我が汽船も常にこれを利用する。ポートサイドとスエズとは運河兩端の重要港である。この國は人口一、六〇〇萬の立憲王國で、イギリスから獨立したが、尙イギリスに利權を掌握されてゐる。我が國へ棉

スエズ運河通航船舶

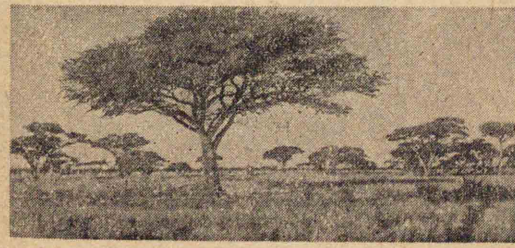
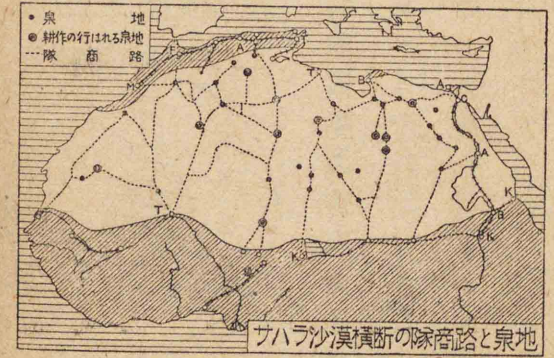






### 第三章 中部アフリカ

スダン地方は大部分サヴァンナをなし、主にスダン黒人の住する未開地である。東部の**アングロ**、**エジプト**スダンは、ナイル上流の一大盆地で、イギリスとエジプトの共同政治が行はれ、首府は**ハルトーム**である。西部では黒人の



雨季のサヴァンナ

花を輸出し、我が國から綿織物等を輸入する。  
 世界第一の大沙漠で**棗椰子**が産物である。隊商は泉地を辿って往來し、今は自動車路航空路があり、大部分は佛國の勢力圏に屬する。

### 三 サハラ

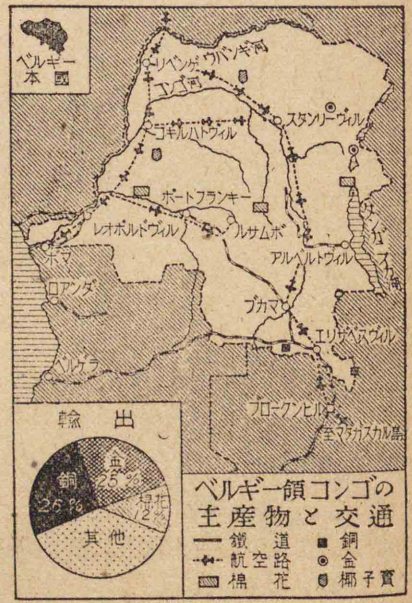
獨立國リベリヤ共和國がある。ベ  
**ルギー**領**コンゴ**は**コンゴ**河流域の**コンゴ**盆地をなし、高温多雨のため熱帯原生林繁茂し、**ゴム**、**椰子**、**象牙**、**銅**、**金**、**ラヂウム**等を産する。

### 第四章 東部アフリカ

紅海の南岸から**モザンビク**海峡に至る地方で、**ケニヤウガンダ**をはじめ、**伊佛**、**英**、**葡**諸國の領地に分れる。紅海から續く地溝帯は湖沼列をなし、



**アビシニヤ**高原は隆起地塊をなし、**キリマンジャロ**等の火山はこれ等の弱線に沿うて噴出する。氣候は純熱帯性で**棉花**、**コーヒー**、**コブラ**等を産し、高原の草地には牧畜が行はれ、天然**曹達象**





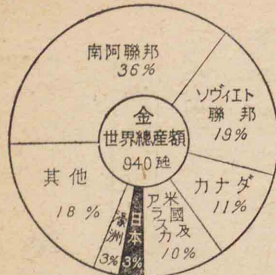
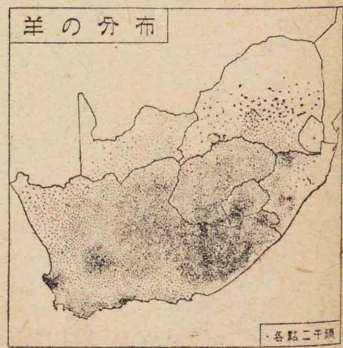
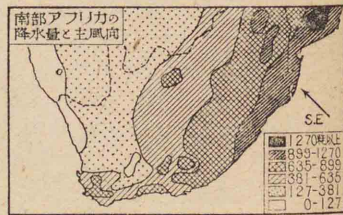
牙の輸出もある。海岸から内地に向ふ開拓鐵道があり、モンバサからヴィクトリア湖畔へ、ダルエスサラムからタンガンイカ湖畔へ、チブチからエチオピアの中心アヂスアベバに達する。ダルエスサラム、モンバサ及ザンジバルは港市で、我が定期航路が開かれ、棉花曹達を輸出し、綿織物を輸入する。

エチオピア(伊領)は高原状をなし、熱帯性の棉、コーヒー、ゴム等を低所に、温帯性の麥類を高所に産する。住民はセム族でキリスト教を奉じ、獨立國であつたが、最近イタリヤに併合せられた。

### 第五章 南部アフリカ(南アフリカ聯邦)

大陸の南部を占め、南端を喜望峰といふ。海岸は温帯及亞熱帯性氣候で、降水量も適度のため小麥、玉蜀黍等を産し、内陸の草原地方では牛、羊の放牧が行はれる。鑛産は最も重要な産業で、キンバリーの金剛石とヨハネスブルグの金とは世界第一で、北ローデシヤの銅三位も重要である。

南阿の經濟上の中心はケープタウンで、交通、商業上重要な位置を占め、金、羊毛、金剛石、皮革を輸出し、大陸縦貫鐵道の南半はこの地を起點とし、コンゴまで開通した。東岸のダーバンは石炭、羊毛を輸出する。取引は英本國が主であるが、我が南米航路の汽船もダーバンとケープタウンに寄航する。住民は土人、英人及最初の開拓者蘭人の子孫のブーア人である。政治上では、四州が南アフリカ聯邦を組織し、行政廳をプレトリアに置き、議院を



ケープタウンに設け、イギリスの自治植民地である。面積約一二〇萬方呎、人口約一千萬である。サヴァンナ地帯の南ローデシヤ(植民地)及北ローデシヤ(保護領)等も英領である。マダガスカル島は佛領に屬する。



## 第六章 アフリカの人文総説

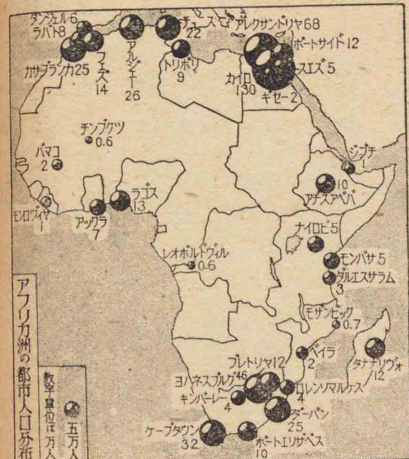
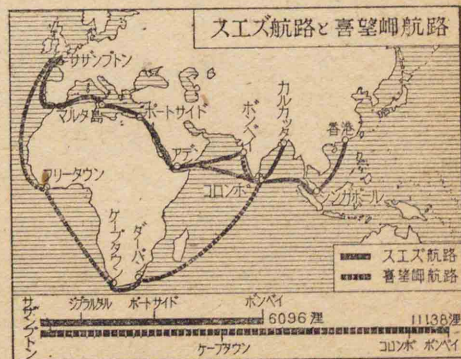
### 産業・交通

産業は未だ發達せず、金銅、金剛石、天然曹達、小麥、羊毛、棉の外は、ゴム、椰子油、象牙等の天産物あるのみである。交通は縦貫鐵道開拓鐵道も進捗し、横斷路も開け、航空路は英佛により各縦貫線が開かれてゐる。

### 住民政治

北部

はヨーロッパ人種のセム・ハム族が住み、中部以南にはアフリカ人種の黒人が主で、氣候良好な南北の兩端地域に白人の居住が可能である。人口密度は極めて小である。一般に「暗黒大陸」とされてゐたが、近世に至り各國の爭奪が行はれ、現在の勢力圏が確定した。南阿

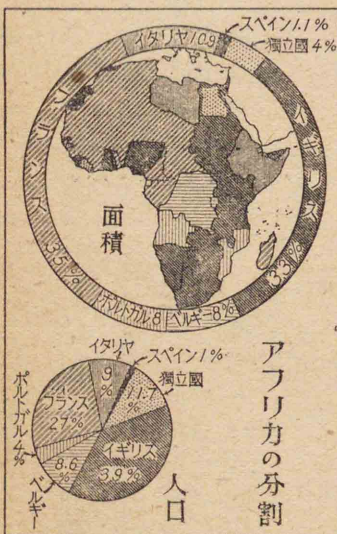
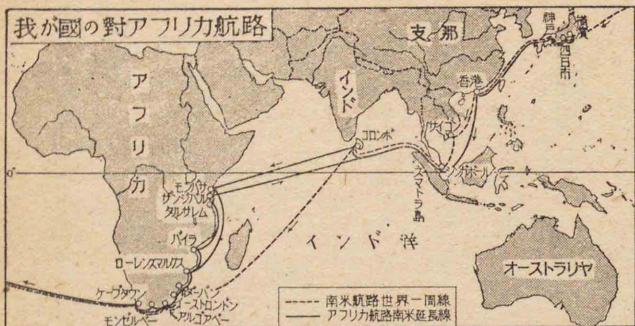
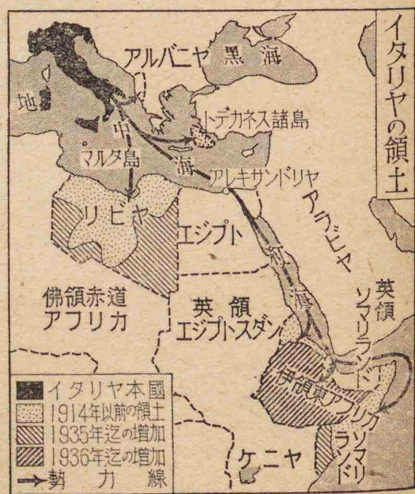


及北阿が最も經濟的價值がある。大戰後ドイツ領土は凡て英佛等の委任統治地となつたが、最近ドイツの舊領地復活

熱が盛となり、又イタリヤのアフリカへの進出は殊に最近著しい。

### 我が國との關係

我が歐洲航路の汽船はスエ



ズ・ポートサイドに寄航し、エジプトと貿易を行ふが、南部へも航路開け、南米航路は南阿に寄航し、又東部アフリカ



にも新に航路を開いた。我が國との貿易は最近大いに發達し、南阿及東阿より棉花、曹達、埃及よりは棉花、燐礦石を我が國へ輸出する。

- (一) アフリカ大陸に於ける降水量と人  
文との關係について説述せよ
- (二) アフリカ大陸に於ける列強の勢力  
圈について説述せよ

## 第五篇 北アメリカ(北亞米利加・北米)

### 序説

#### 位置區分

南アメリカと共に新大陸と稱せられ、大西・太平兩洋に面する。面積は約二、四〇〇萬方呎で、歐洲の二倍に當る。政治上から、カナダ・北米合衆國・メキシコ・中央アメリカ・西印度諸島の五區に分れ、カナダ・北米合衆國は地理上から共に略同じく東西の數帶に區劃される。

### 第一章 北アメリカの自然總説

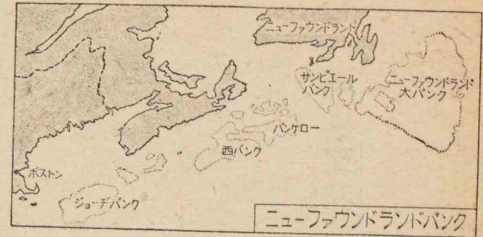
#### 地勢

東部のアパラチヤ山脈は低い山地をなし、海岸に並行して横たはる。西部のコルチレラ山系は大規模な隆起をなして南北に走り、西印度諸島も構成し、南米に連なつてゐる。火山亦これに伴ひ到る處に噴出する。兩山地の間に中央平原とメキシコ灣の陷落地とがある。セン



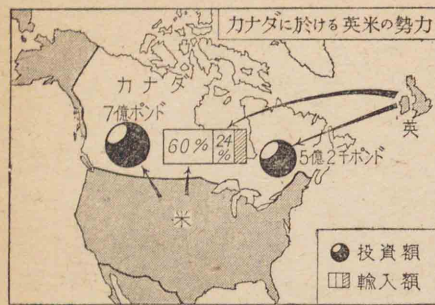
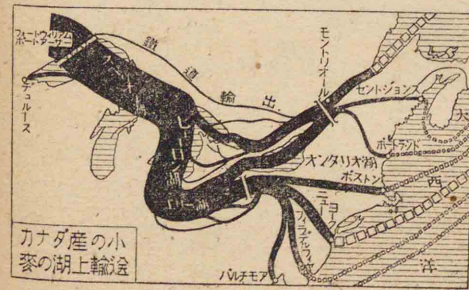




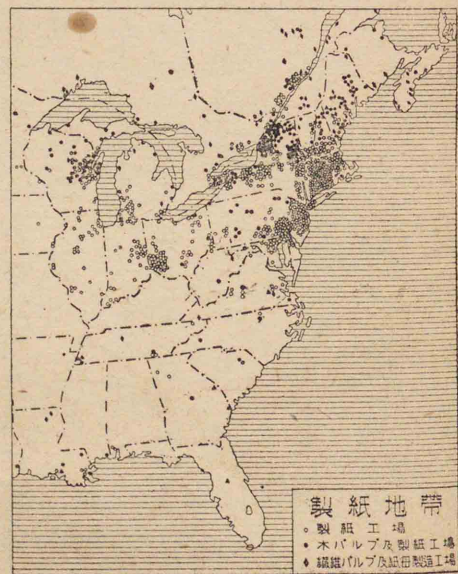


我が國に輸出される。ナイヤガラセウの瀑を始め河湖による水力電氣が豊富で、工業に利用される。この國の輸出品は新聞用紙・小麦・金塊・銅・ニッケル・鉛・亜鉛・パルプ・木材等で、輸入品は石油・石炭・機械・鐵類・棉花・砂糖等で、取引國は米英兩國が主である。二横斷鐵道は兩洋の連絡と共に世界一周捷路の幹線をなす。東の水陸の交通

ある。その北は森林帶で、東部及太平洋岸と共に木材を産し、殊にオッタワを中心として木材・パルプ・紙の製造が盛である。又東西兩岸は有名な漁場で、ニューファウンダランド島（英國自治植民地）沖のニューファウンダランドバンクは魚族の集合に適し、鱈・鯨等獲れ、世界三大漁場の一であり、又アラスカの鮭・鱒、フレザー河の鮭も漁獲多く、邦人の従業するものもある。鑛産は金（二位）銀（三位）銅（三位）ニッケル（二位）鉛・亜鉛等の産出が多く、銅は



の十字路に當り、セントローレンス河の大洋航行船溯航の終點に在り、ハリファクスは歐米連絡の不凍港である。太平洋岸の連絡點はヴァンクーヴァーとプリンスルパートで、ヴィクトリアはヴァンクーヴァーと共に我が商船の寄航地である。首府はオッタワで商



工業の最も盛なのはモントリオールでカナダ第一の大都會である。セントローレンス河口に位するケベックは古い都會である。中央平原の中心はウイニペッグである。  
**住民政治**  
住民はイギリスの移住民の子孫が主であるが、セントローレンス河の谷には先住の佛人の



子孫がゐて、佛語が公用語として許されてゐる。英國の自治植民地中、最も主要なもので、**カナダ領土**と稱し、英國皇帝の任命した總督が治め、議會もあり、獨立國の形態をとり、英本國よりも米國との關係が密接である。

### 我が國との關係

太平洋を隔てた對岸にあり、太平洋岸には夙に我が同胞が移住し、その數約二萬人(在外内地人の二%)で農業・漁業・林業等に從事する。今は移民の制限を受ける。貿易は我が國へ銅・パルプ・木材・アルミニウム・小麥・印刷用紙・亞鉛等を輸出し、我が國から陶磁器・玩具・茶生絲等を輸入する。

(一) カナダの資源と自然との關係を述べよ。

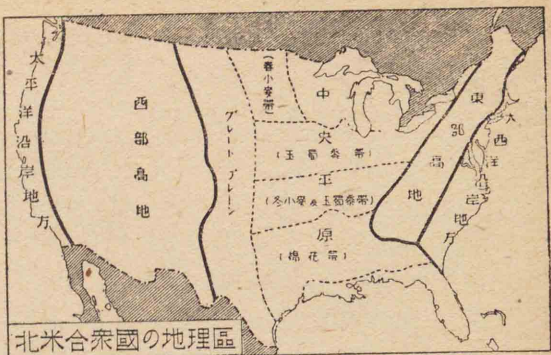
べよ。

(二) カナダと英・米兩國との關係について説述せよ。

## 第三章 北米合衆國

### 位置區分

大陸の中部を占め、面積は約七八〇萬方呎で、我が國の約一二倍に當る。東は大西洋に、西は太平洋に面し、北はカナダに、南はラテ



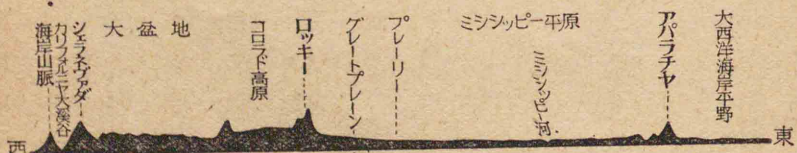
ンアメリカに接し、新大陸中最も形勝の位置にある。行政上は四八州に分たれるが、地理的に分つと大西洋沿岸地方・東部高地・中央平原・西部高地・太平洋沿岸地方の五區となる。

### 地勢

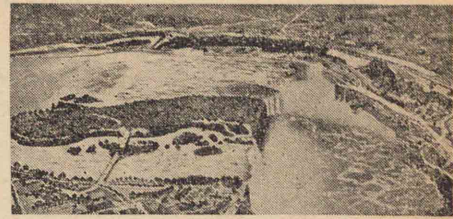
**東部高地**は中山性のアパラチヤ山脈で、その東麓に瀑布線を造る。

**西部高地**はコルデレラ山系の最も幅の廣い部分に當り、東にロッキー、西にカスケ

ード・シエラネヴァダの山脈があり、その間に大峽谷の如き又この中地等がある。黄石公園・コロラド河の大峽谷の如き又この中にある。**太平洋沿岸**には海岸山脈の内側にピュージエットサウンド・カリフォルニアの谷等の狭長な陥没地が並んでゐる。東、西兩高地の間は低平な**中央平原**で、五大湖とナイヤガラの瀑







ナイヤガラの瀑布



サンフランシスコ  
及その湾

の變化が多い。大西洋岸の北部は降水量比較的小く、大陸性である。中央平原の北部は降水量比較的小く、大陸性であるが、メキシコ湾岸は多湿で亞熱帯

**氣候**

とがあり、ミシシッピー河はミズーリ河等を合せてメキシコ湾に注ぐ。

緯度上では温帯に屬するが、地形的の大變化があるため氣候上

性である。西部高地の内陸盆地は乾燥し、最も大陸性で、太平洋岸の南部は地中海性の氣候である。

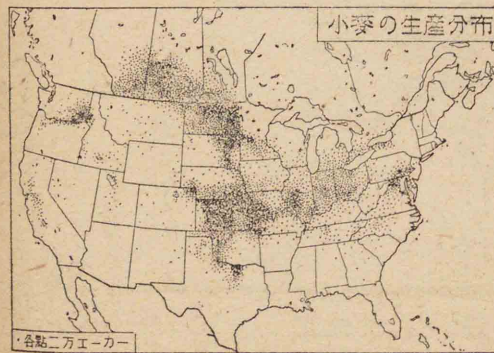
**産業**

農業は大農

法で、機械力を用ひ、大量

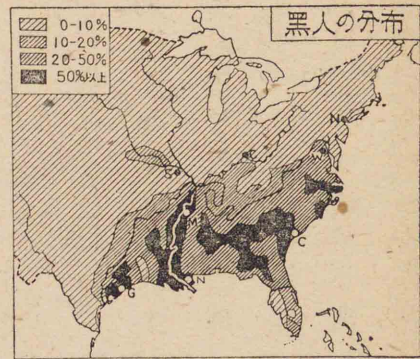


棉の收穫



小麦の生産分布

各點二万エーカー

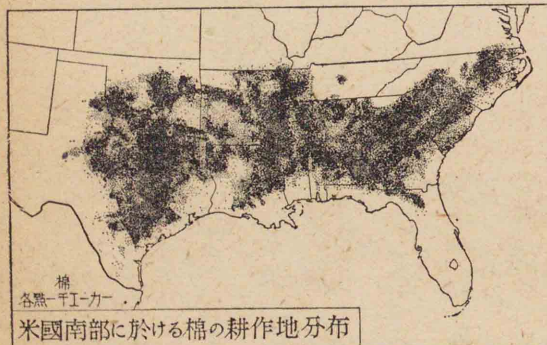


黒人の分布

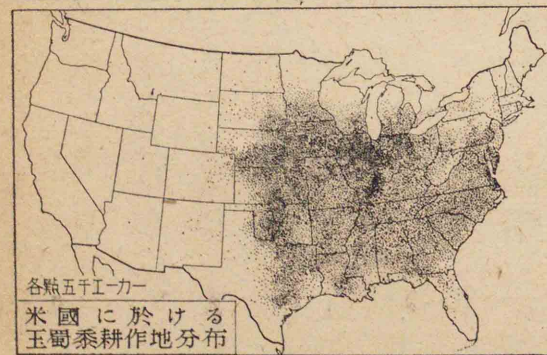
0-10%  
10-20%  
20-50%  
50%以上

生産が行はれる。中央平原に最も盛で、降水量氣温等の關係で北から南へ小麦地帯、玉蜀黍地帯、棉花地帯が横はり、棉花玉蜀黍は世界一位、小麦は二位で、就中棉花は世界の四割に達し、黒人が栽培に従事し、ニューオーリンズ、ガルヴェストンから歐洲及我が國へ輸出する

る。小麦は南部は冬蒔、北部は春蒔で、湖上の水運によりニューヨークに運ばれて輸出され、製粉業はミネアポリスが中心である。玉蜀黍は牛及豚の飼料とするため、この地帯は牛及豚の地帯と一致する。西部のグ

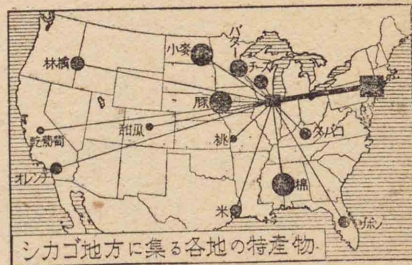
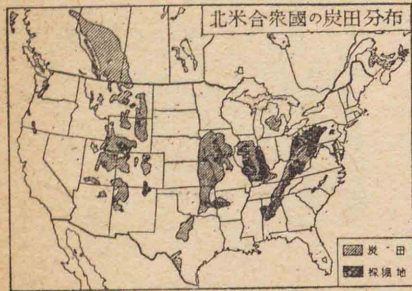


棉の耕作地分布  
米國南部に於ける



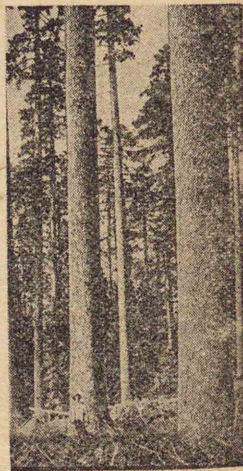
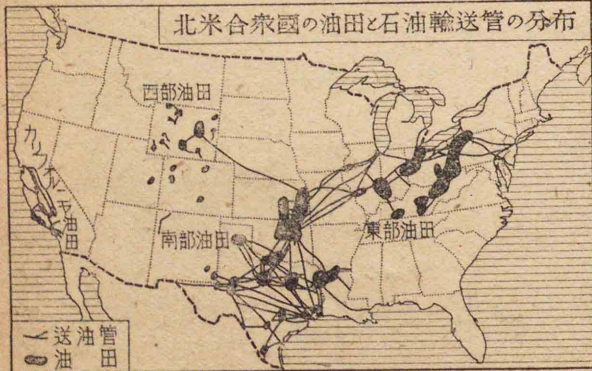
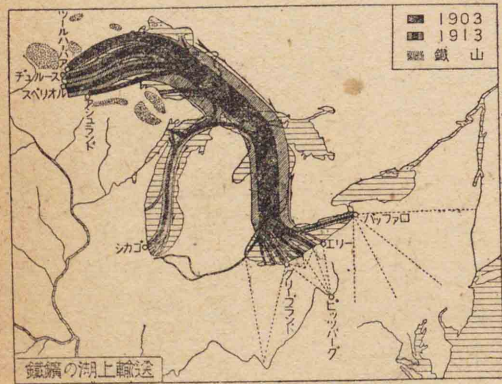
玉蜀黍耕作地分布  
米國に於ける





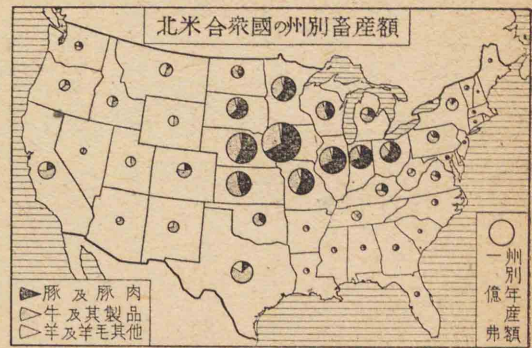
産し、頭近ス、鐵鑛は占める。首位を

人の働いてゐるものもある。鑛産に至つては鐵鑛、石炭、原油、銅、鉛、亜鉛、アルミニウム、タングステン等の産出は皆世界



オレゴン森の林相

果樹及農場が開發され、邦人の移住者が多數

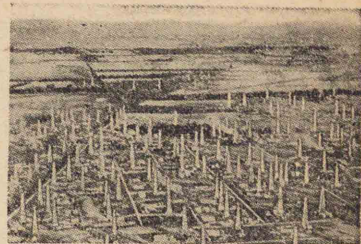


ニヤは地中海性の氣候であるからオレンジ、葡萄、オリーブ等の亞熱帯性の果實を産し、冷蔵貨車で東部地方へ供給し、果實の乾燥にも適する。灌漑による

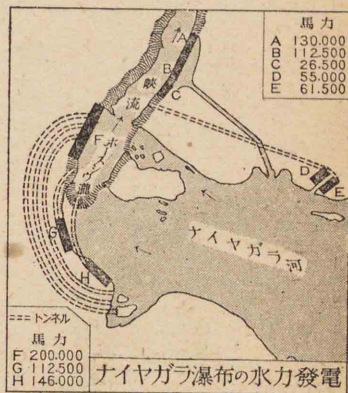


レイトプレーンは放牧を主とする。豚は世界一位、牛は二位を占め、シカゴはその屠殺で著名である。果實は太平洋岸が殊に勝れ、カリフォル

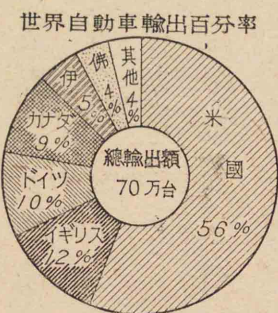
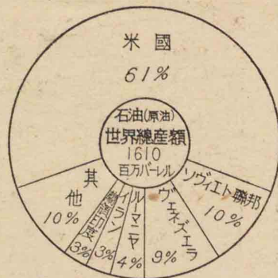




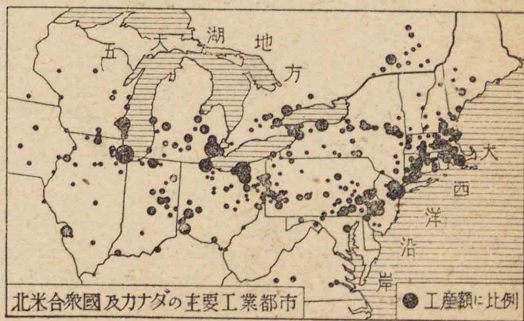
カリフォルニア油田



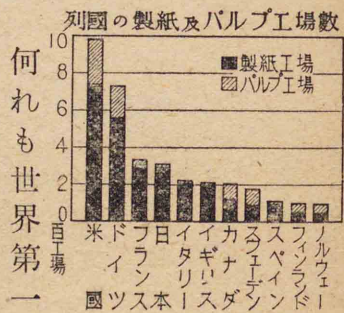
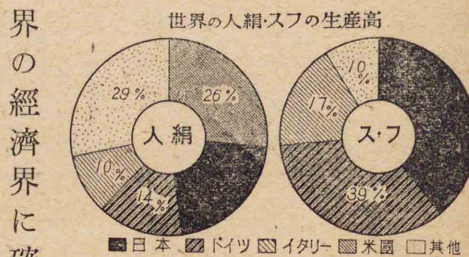
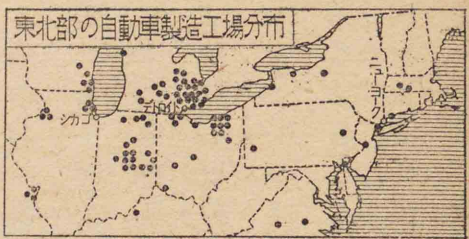
ナイアガラ瀑布の水力発電



ルニヤテキサス諸州、銅は西部山地を主とする。ナイアガラの瀑は米國側も水力發電の源となつてゐる。かく天然の資源に富み、人的要素と相俟つて各種の工業が發達し、ヨーロッパ列強に劣らない。主な工業は紡績



北米合衆國及カナダの主要工業都市



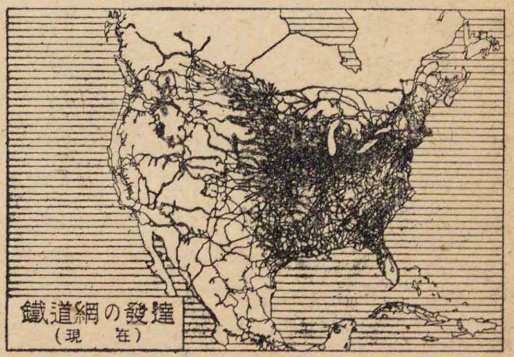
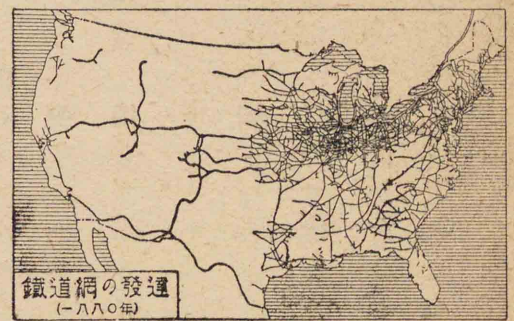
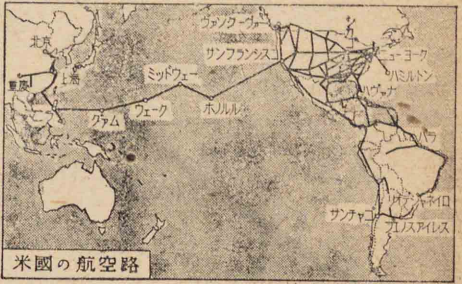
及食料品(麥粉・罐詰等)機械・鐵・船車・化學工業品・人絹等の製造で、殊に自動車・パルプ・洋紙の産額は

の進歩を遂げ、世界金融の中心がロンドンからニューヨークに移つたとさへ言はれるほどで、英國と並ぶ大商業國となつた。主要輸出品は機械・石油・棉花自動車及部分品鐵及鋼・煙草・木材等で、輸入品はコーヒー・生ゴム・パルプ・生絲・錫等である。取引は加英との間に多く、我が國これに次ぐ。

**交通** 鐵道は東部から發達し始め、西部高地も横斷鐵道の幾多の幹線が全通し、鐵道網の密度の増加は速く、東部地方に殊に密である。大湖



地方の水運は利用著しく、鐵鑛・小麥・石炭等の輸送が大規模に行はれ、アメリカに於ける地中海の觀があり、ミシシッピ河も舟運の便がよい。海

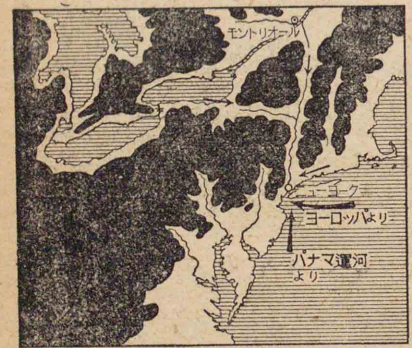
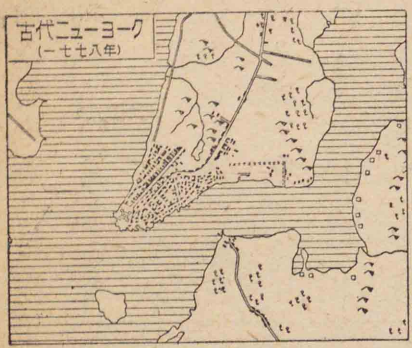
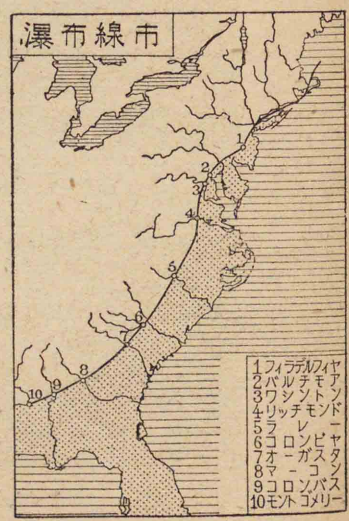
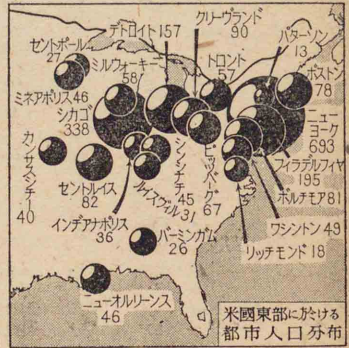


港は歐洲に對してニューヨーク・ボストンがあり、太平洋諸國に對してはサンフランシスコ・シヤトルがあり、第一次大戰後は世界海運界に著しく擡頭してきた。自動車の利用は世界に一頭地を抜き、航空路は國內は勿論南米及東亞にも連絡する。

**都邑**

大西洋沿岸地方の海岸平野の内縁の瀑布線には所謂瀑布線

市が發達し、有力都市が並ぶ。そのうちフィラデルフィヤはニューヨークに續く商工業地帯の主要部分をなし、ボルチモアと共に貿易港である。ワシントン(華府)は首府として特に設計さ

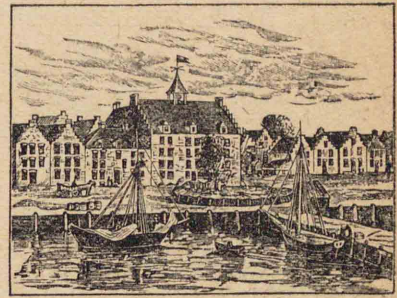


れた政治都市である。ニューヨーク(紐育)は人口約六九〇萬、ロンドンと並ぶ世界の大都市で、ハドソン河口は深くて繋船岸壁が連り、大後背地の中央平原との連絡もよく、その貿易額は世界第一、又金



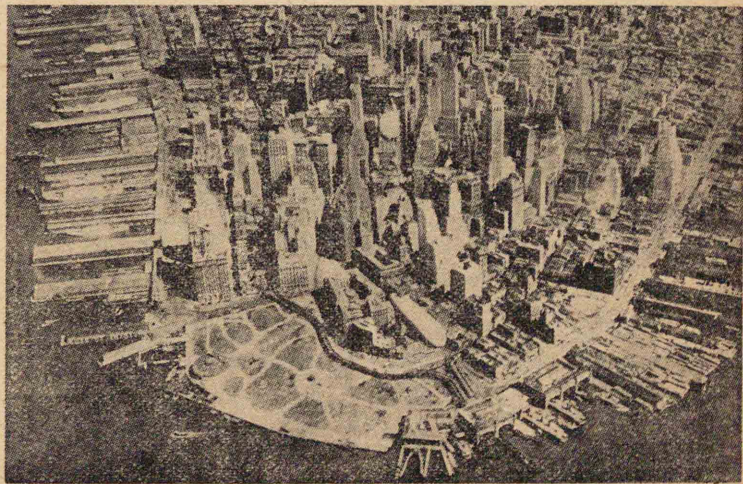
融の大中心で、高層建築が特色である。附近のバターソンは我が生絲で絹織物を盛に製する。

ニューイングランドのボストンは學藝



一七七九年のニューヨーク

都市である。中央平原の大中心のシカゴは合衆國第二の大都會で、ミシガン湖頭に位し、五大湖の水運の要地で、又横斷鐵道等の通過の焦點に當る。附近はもとプリーリーであつたが、今は一大農牧地帯と化し、シカゴはその生産品市場となり、工業も盛となつた。ミシシッピの中流にはセントルイスがあり、河口にはニューオルリーンスがある。



飛行機から瞰たニューヨーク

西部高地の大盆地は著しく寡雨でソルトレーク市以外には顯著な聚落も無い。太平洋沿岸には門戸としてシヤトルサンフランシスコ、ロスアンジェルス、三港市が発達し、大陸横斷鐵道と太平洋航路とを連絡し、世界一周路の役目をなす。シヤトルはタコマと共に我が汽船の着く所、サンフランシスコ(桑港)は太平洋岸の略中央に位し、ハワイ經由の我が汽船の發着點である。南加の中心ロスアンジェルス(羅府)は發達極めて速か、西岸第一の大都となり、附近はサクラメントと共に邦人の農場が多い。

### 住民

人口約一億三千萬、原住民族のインヂアンは壓倒されて僻遠の地に住み、人口は極めて少い。新移住者の中最も勢力あるものは英人の子孫で、従つて國民の多數は英語を用ひ、宗教も新教が多い。獨人はこれに次ぎ、伊佛人も多く、ヨーロッパの各民族が雜居する。近時ユダヤ人の移住も多い。これ等は東部から移住して太平



世界のユダヤ人分布 ● 10万人

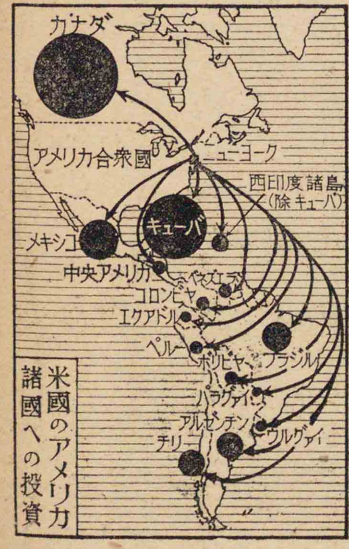


洋岸に達したが、本邦人支那人は太平洋岸に移住した。ことに二つの民族の流れが接觸して移民問題が惹起し、遂に有色人種は新たな移住を禁ぜられた。

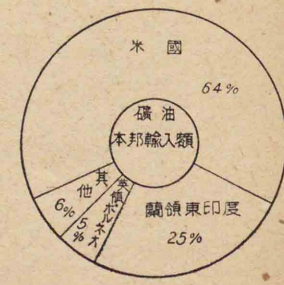
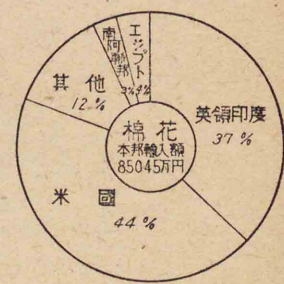
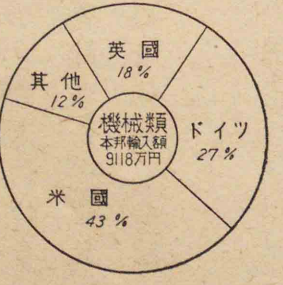
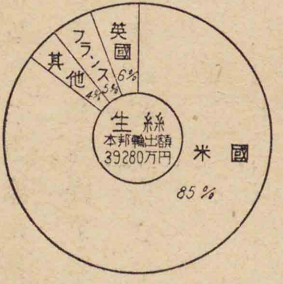
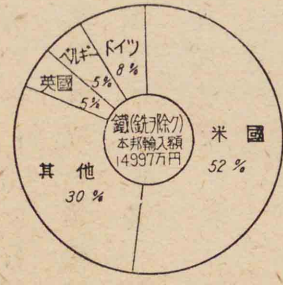
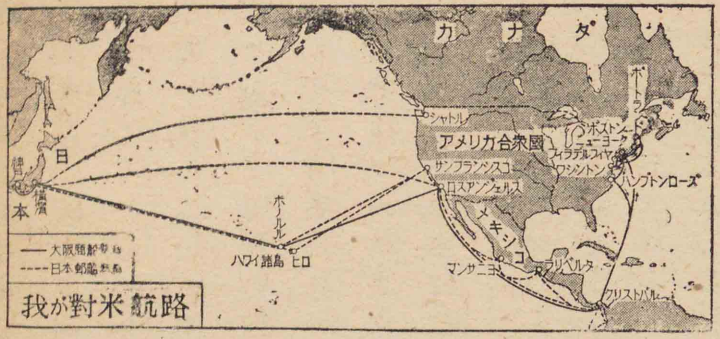
地理的環境の最も適した所に人の蝟集することが舊大陸よりも顯著である。故に人口密度は極めてよくその他の價值を示す。大西洋岸の北部及大湖地方の商工業地帯が最も密で、西部高地が最も疎、太平洋岸も二、三の都市を除けば言ふに足らない。故に移民の必要は十分あるが、種の關係で門戸が鎖されてゐる。

**政治**

最初東部に蘭佛の植民地があつたが、英人優勢となり、本國から獨立し、聯邦共和國が成立した。領地は太平洋にハワイ、グアム、フィリピン及アラスカをもち、大西洋では西印度諸島に勢力を扶植し、更にメキシコ以南



のラテンアメリカをモンロー主義汎米主義のもとに指導し、又パナマ運河地帯を永久租借した。この國は資源豊富にして



産業の發達著しく、國力充實し、歐洲及極東の重要問題に就て常に日英獨佛伊との間に伍して解決にあり、世界に雄飛しつつある。

**我が國との關係** 幕末に於て我が國の開港を



促し、その後も我が文化の彼に負ふ所は少くない。我が移民は一一萬在外内地人の一二%に達し、主として太平洋沿岸地方に移住して農業の發達に貢獻してゐるが、今後の渡航は禁止された。我が國は太平洋を隔てて相對し、我が汽船の往來繁く、貿易關係は極めて密接で、我が國第一の取引國で、我が貿易額の四分の一に當り、我が國からの輸入品の主なものは生絲が七割を占め、その他は綿織物、罐頭詰食料品、陶磁器、植物性脂肪、油、玩具、絹織物、メリヤス、茶、電球等で、我が國への輸出品の主なものは棉花、石油、鐵材、機械、自動車、木材、銅等である。

- (一) 日米兩國の資源を比較せよ。
- (二) 米國の資源と自然との關係を述べよ。
- (三) 英獨と米國との特色を比較せよ。
- (四) 米國の大西洋岸と太平洋岸との自然人文につきて比較せよ。
- (五) 米國の世界に於ける地位を説述せよ。

#### 第四章 メキシコ及中央アメリカ

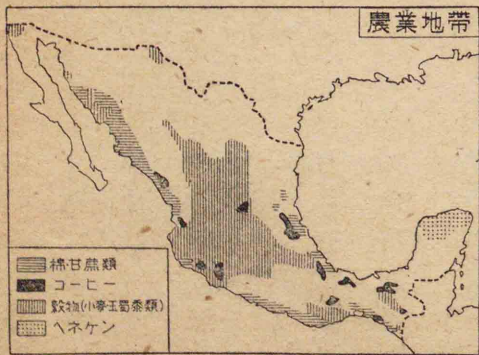
##### 位置地勢

北米合衆國の南にあり、南米との連絡をなす地峽的地域である。コルデレラ山系が脊梁をなし、狹長な海岸平野の外は一帶の高原で、その邊緣は山脈をなし、これに伴つて火山が噴起する。

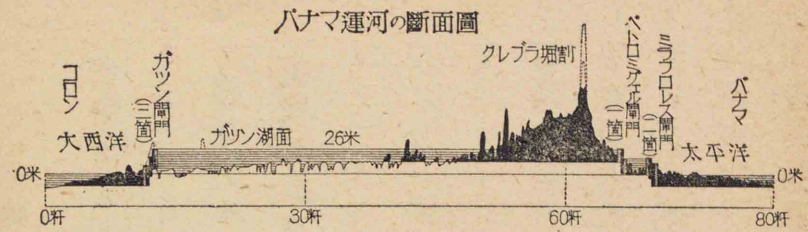
##### 氣候産業交通

大部は北回歸線以南にあり、北東貿易風帶に屬し、約

千米と二千米の高さによつて熱帶・亞熱帶・溫帶の三帶に分れ、海岸平野に甘蔗・米・棉・バナナ、中間地帯に煙草・コーヒ、高原に小麥・玉蜀黍を産する。銀と石油とは多産を以つて知らる。我が國へは棉花を輸出し、我が國からは人絹絲を輸入する。テワンテペク・ニカラグッ兩地峽があるが、兩洋連絡はパナマ運河で行はれてゐる。この運河の交通に與へる影響は頗る大で、我が汽船もこれを通







過して北米東海岸と連絡する。この運河は閘門式で長さ約八〇軒ある。もとコロンビヤ國の地であつたが、米國はパナマ(巴奈馬)共和國を獨立せしめて同國から幅約一六軒の運河地帯を永久に租借し、これに軍事上の設備をした。兩端には首府パナマ・コロンの兩港市がある。

### 住民政治

スペイン植民の子孫が最も勢力をもち、言語宗教風俗悉くスペイン風である。インヂアン及それ等と白人との混血種のメスチゾ人もある。邦人は約四千人で、メキシコの南部に移住して農業に従事する。都市は氣候上メキシコの如く多く高原に建設せられるが、海岸にも所々に門戸の港市がある。政治的にはメキシコ(墨西哥)共和國(首府メキシコ)を始めとし、グアテマラ、サルヴァドル、ホンチユラス、ニカラグワ、コスタリカ、パナマ等の群小國がある。

## 第五章 西印度諸島

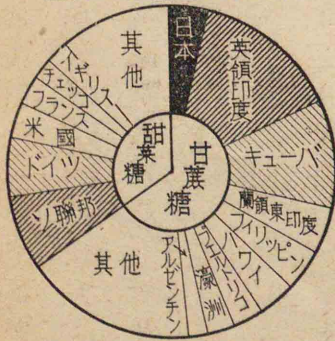
大アンチル及小アンチル列島は中米及南米を連絡する弓形の海中山脈で、氣候は標式的の北東貿易風帯に屬する。各島嶼は何れも甘蔗、コーヒ、煙草、バナナ等を多く産する。殊にキューバ島は砂糖の産額世界二位で、首府ハヴァナは煙草で名高い。ハイチ、ドミニカの外、英、米、佛領の島がある。

## 第六章 北アメリカの人文總説

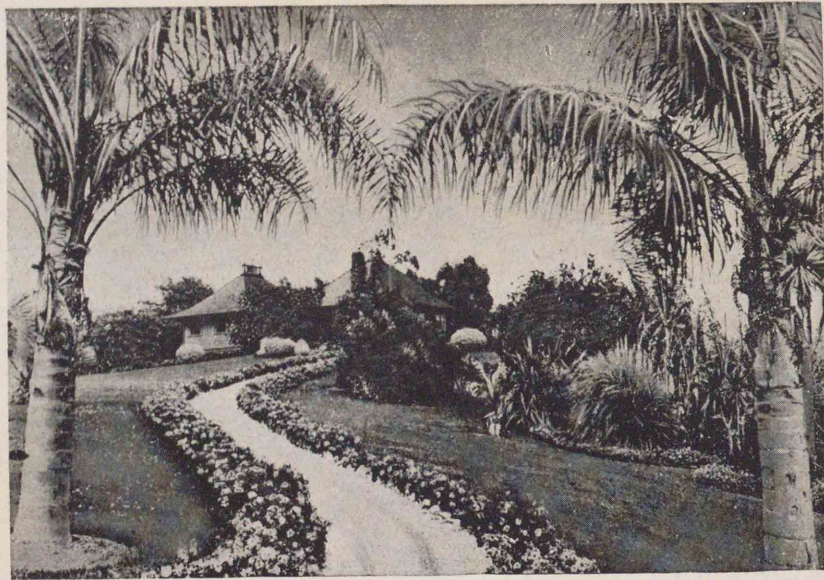
### 産業交通

農業は大農法で機械の使用著しく、農牧共に生産潤澤で、舊大陸への供給が大で、合衆國及カナダの南部を通じた大平原が最もその生産が多い。石炭、鐵、石油、銅、木材等の自然の富源に富み、その額は舊大陸の諸國を凌ぐ。従つて工

世界の砂糖産額比較





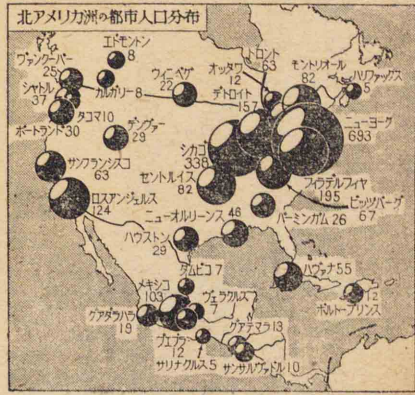


カルフォルニアの標式的のバンガロー住宅



山頂から見たリオデジャネイロ

断する。



**住民政治**

人口は約一億八千萬、インディアンは今は退歩し、南部はラテン族、中央はチユートン族が占め、外に東南部の黒人、北部のエスキモー人がゐるが、チユートン族の米人が最も勢力をもつ。

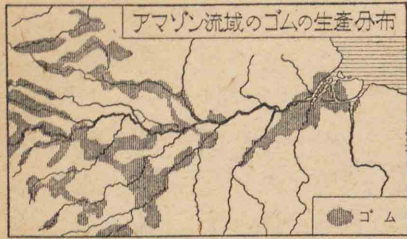
- (一) 我が國と北米諸國との關係を統括せよ。
- (二) 北米とアジヤとを比較せよ。
- (三) 北米とヨーロッパとを比較せよ。
- (四) パナマ運河の交通・經濟・政治・軍事の諸點に於ける價值を説述せよ。

業も近時著しく發達した。凡てこれ等は合衆國が主でカナダこれに次ぎ、南部諸國は言ふに足らない。一〇數條の大陸横斷鐵道は兩洋を連絡し、パナマ運河により水運も連絡した。港は東岸に發達し、西岸も漸次發展した。取引は英國と最も關係が深い。航空路は兩米連絡は勿論、南米に通じ、歐洲とも連絡し、又太平洋も横









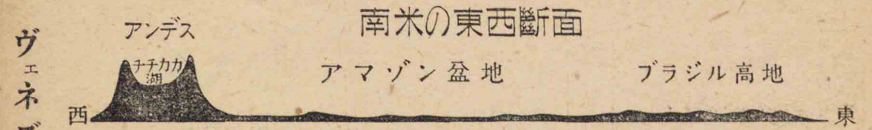
アマゾン流域のゴムの生産分布

地帯で、亞熱帯性の氣候に恵まれた世界第一の珈琲の栽培地をなし、世界産額の約六割を占め、邦人移住者の多數在住するサンパウロ州に最も多く生産する。サンパウロはその中心、外港はサントスで、貿易額はこの國第一、而もコーヒーがその大部分を占める。このコーヒー園の労働者の大多數は邦人であるが、近年棉花の好調に鑑み、その栽培をなすものが多く、同州生産の大半を占め、漸次増大の機運にあ

しく増加し、原油の輸出は世界の首位である。ギヤナは英・蘭・佛の三國に分屬する。ブラジル(伯刺西爾)は大陸の東部にあり、面積は約八五〇萬方呎で、我が國の約一二倍半に當る。アマゾン河流域の熱帯原生林セルヴァはゴムの自然林としては世界第一で、中流のマナオス及河口のパラはその集散地である。ブラジル高地の南部は最も價值ある農業



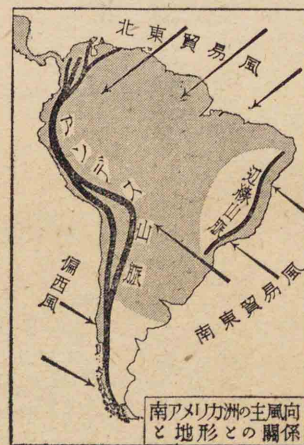
アマゾン流域のセルヴァ



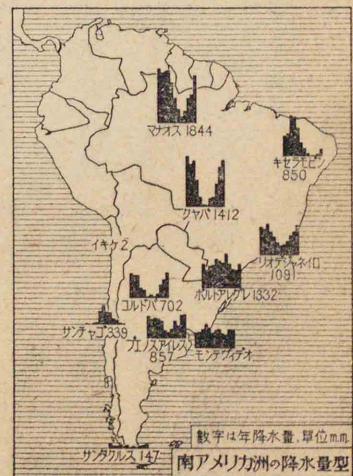
東アマゾン盆地に充分吹き込み、多量の雨を齎らす。七月は南東貿易風卓越し、ブラジル高地の東岸に雨を齎らす。チリの中部は冬季偏西風卓越する地中海性の特性を有する。四時雨を齎らされない地域にアタカマ沙漠が生じた。中央平原は氣候により、リャノ・セルヴァ・パンパと變化し、熱帯アンデス山地に於ては垂直的に熱帯・亞熱帯・温帯・寒帯の植物景觀が現れる。

## 第二章 東部南アメリカ(ブラジル)

ヴェネズエラ(首府カラカス)のリャノは牧牛に適し、石油三位は近時産額著



南アメリカ州の主風向と地形との關係





ると共に伯國棉花の日本向輸出高は年々増加し、邦人の棉花の栽培に成功するものも多い。邦人の手による農産額は一億二千萬圓に達すると謂はれる。我が移民は約二三萬人(在外内地人の二三%)で、その中心地はサンパウロの外リベイロンプレート・パウルー等である。輸出はコーヒー棉花等でココアも輸出される。首府リオデジャネイロは良港灣を有し、風光明媚で、コーヒー取引の一中心である。人口は約四、四〇〇萬、人口密度は我が内地の約四〇分の一に過ぎないため移民の入國を必要とするが、種々の事情により歐洲及我が國の移民に對し最近は制限が行はれてゐる。この國は南米三大共和國の一である。

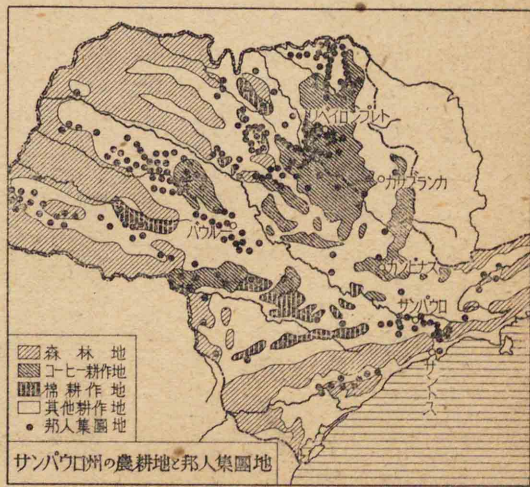
ブラジルに於ける我が移住地について詳述せよ。

### 第三章 南部南アメリカ(アルゼンチン)

大陸の南部を占め、アルゼンチン・パラグワイ・ウルグワイの三國を含み、大部分はブラジル山地の南端と南アンデスとに挟まれたラプラタ河流域の平原である。中央部は南米中最良の温帯性氣候であるが、降水量少く、パンパの草原をなす。

パラグワイ(首府アスンシオン)は草原帯をなし、牧牛が主で、肉類を輸出する。ウルグワイは全國到る處牛羊の牧場に適し、肉類羊毛等を首府モンテヴィデオから盛に輸出する。

アルゼンチン(亞爾然丁)は面積約三〇〇萬方呎で、我が國の四倍に當り、南米第二の大國で、而もその大部分をなす低



南アメリカ 210



211 南アメリカ



平なパンパは最良の農牧地で、羊と牛とは殊に多く、羊毛の産額は世界第三位を占め、肉類羊毛、皮革、バター等は盛に輸出される。氣候が白人の生活に適するため、ヨーロッパの移民が續々移住し、遂に小麦六位の一大産地と化し、世界の市場に於ては首位を占める。工業は未だ農牧的工業で、製粉及冷蔵肉の製造が盛である。首府ブエノスアイレスは南半球の最大都市で、水陸交通の要地となり、我が南米航路の終點で、ロサリオと共に農牧産の集散地である。鐵道網の密なことは南米に於て一頭地を抜き、二條のアンデス横斷鐵道は海拔高度の大なアンデスを越えてチリに達する。取引は英國が盛で、我が國は六―七位に當り、我より綿織物を輸入し、我へ羊毛を輸出する。我が移民は約六千人で、主として農牧業に従事してゐる。この國はスペイン人の子孫の建てた共和國で、人口約一、三〇〇萬を有し、南米第一の強國である。



アルゼンチンが南米に於て最強國となつた理由を説述せよ

#### 第四章 西部南アメリカ(チリ・ペルー)

アンデス山地及太平洋岸を含み、そのうちにコロンビヤ・エクワドル・ペルー・ボリヴィヤ・チリの五共和國がある。アンデス山脈は南米に於けるコルデラ山系で、中央部にボリヴィヤ高原をもち、チリには海岸山脈の内側に狭長な縦谷がある。北部は純熱帯性氣候であるが、土地が高峻であるから垂直的に亞熱帶温帶と變化し、ボリヴィヤ高原は溫和である。南部は偏西風卓越し、降水量が多いが、中部は偏西風の北限外に當り、アタカマ沙漠をなす。

コロンビヤ コーヒー(二位)石油等を産出して輸出し、首府ボゴタは二、六〇〇米の高地にある。

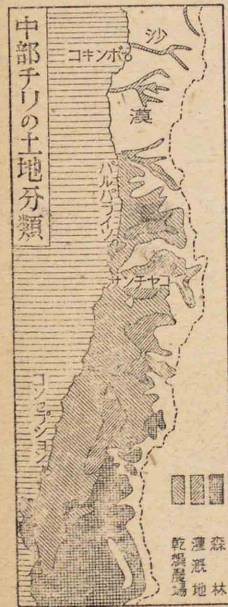
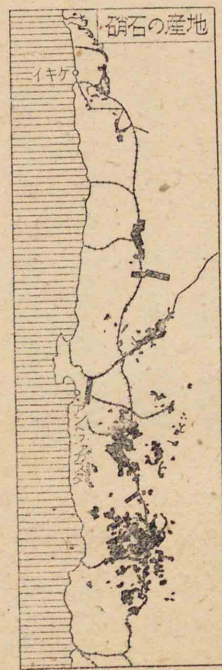
エクワドル ココア、石油等を産して輸出し、パナマ帽は特産である。首府キトーは三千米の高地にあり、グワヤキルを外港とする。



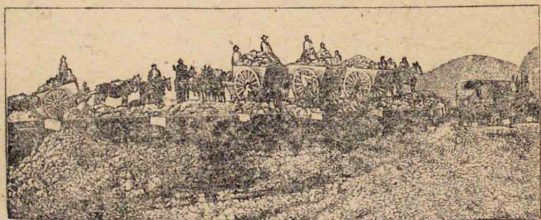
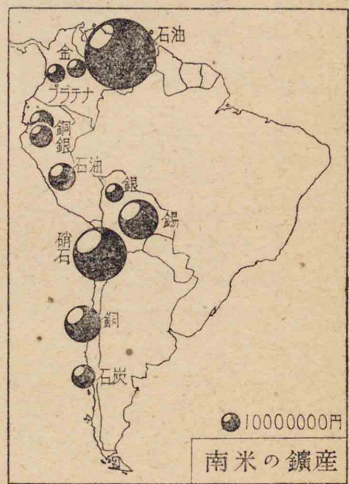
ペルー(秘露) 海岸带状地には甘蔗・棉・米等を栽培し、又石油・銅銀の産もあり、棉花・石油・銅等を輸出する。首府リマはスペイン風の都市で、外港カリアオはこの國第一の港、我が汽船の寄航地である。我が移住民約二萬人(在外内地人の二%)の大部分は商業を営み、又棉花栽培に従事してゐるものもある。

ボリヴィヤ 高原を主とする内陸國で、錫(三位)、アンチモニー(三位)等を産し、首府はラパスで、チリのアリカをその外港とする。

チリ(智利) 南北緯度三八度に互る狭長な國で、熱帯から寒帯までの氣候をもつ。山地の銅(二位)は世界的に注目されるに至つた。アタカマ沙漠の不毛地の縦谷に硝石(二位)の産があり、精製してイキケ等



から輸出し、我が國へも送られる。中部は地中海性氣候で、灌漑地域に小麦・葡萄等を産する。首府サンチャゴはこの縦谷の中心で、西は外港ヴァルパライソに通じ、東はアンデス横断鐵道によりブエノスアイレスに達する。ヴァルパライソは我が汽船の寄航地である。大陸南端にはマゼラン海峽がある。この國は面積約七〇萬方呎、人口約五〇〇萬の共和國である。



硝石の貨車積込み

### 第五章 南アメリカの人文總説

#### 産業・交通

農牧業及鑛業が主で、ブラジルのゴム・コーヒー、アルゼンチンの小麦・羊肉類、ヴェネズエラの石油、チリの硝石・銅等は南米の代表的



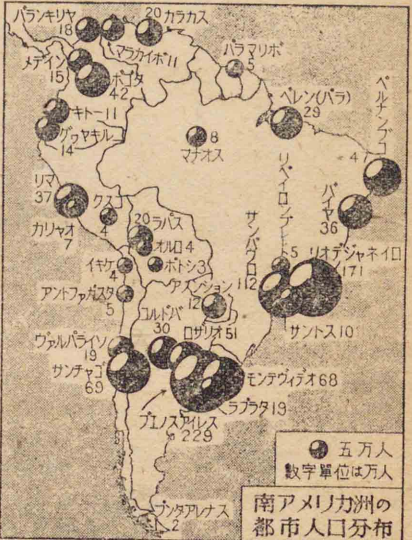
産物で、食料品・原料品の世界的供給地である。工業は未だ見るべきものがなく、繊維品・機械・鐵及銅燃料・自動車等が輸入される。ラプラタ・アマゾン等の河流は溯航が自在である。鐵道はパンパのみ密で、チリには縦貫線がある。アンデスは一大障壁であるが、横斷鐵道が敷設され、その高地都市と外港とを結ぶ山岳鐵道は到る處にある。航空路は米獨等により經營され、北米及歐洲と連絡する。



南アメリカ 216  
高地都市の分布

**住民政治** もと西葡兩國の植民地であつたが、植民政策を誤つたため、悉く獨立の共和國となり、所謂ABC三國が優勢で、ポルトガル系のブラジルを除けばすべてスペイン系の共和國である。伊獨等の移民は續續渡米し、新興の氣分を増進しつゝある。主要國の産業・交通の發達は米英等の資本に負ふ所が大で、貿易は米英の外ドイツの進出が著しい。米國は汎米政策を實現し、この大陸に偉大な勢力をもつてゐる。

住民は約九千萬で、うち最も多數を占めるものは土人及土人と白人の混血種で、白人は總人口の四分の一に過ぎず、居住地域も殆ど温帯に限られる。人口總數は我が國の人口にも及ばず、密度が極めて小であるから各國とも移民を必要としてゐる。

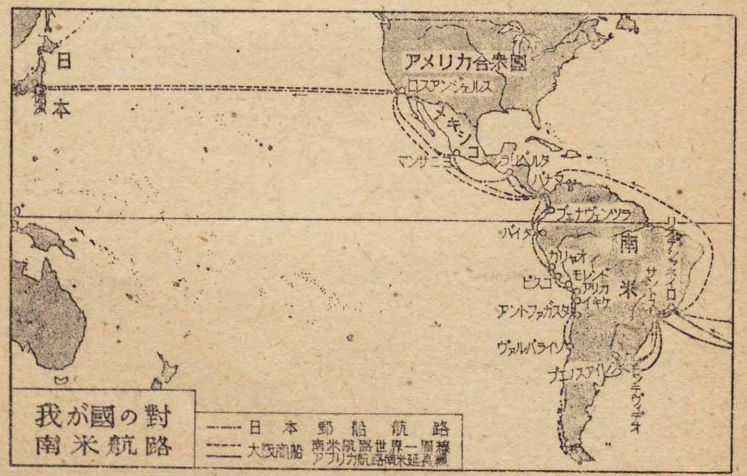


南アメリカ洲の都市人口分布

**我が國との關係**

亞熱帯のブラジルと

熱帯のペルー等に約二〇餘萬の我が移住民が活動する。北米・濠洲に我國を禁ぜられた我が國人にとつては絶好の移住地であつたが、最近或程



我が國の對南米航路



度の移民制限の實施を見るに至つた。貿易は今後盛になるべき地域で、東海岸と西海岸とは共に我が汽船の定期航路が開かれてゐる。

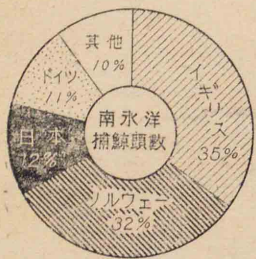
- (一) 南北兩米を比較せよ。
- (二) 南米の氣候と産業との關係を總括せよ。
- (三) 南半球に於ける三大陸を比較せよ。
- (四) 邦人の發展地としての南米の價値を説述せよ。

## 第七篇 兩極地方

**北極地方** 北極を圍む北緯六六度半以内をいひ、スピッツベルゲン、ノヴァヤゼムリヤ、グリーンランド等を含む。北極探檢は十九世紀頃から試みられ、遂に一九〇九年米國のペアリーが北極に達し、且つ北極は堅く凍結した深海であることが確められた。磁極と寒極とは一致しないことも夙に明らかとなつてゐた。イタリヤのノビレは飛行船で北極上を飛翔す

ることに成功した。

**南極地方** 本大陸は探檢により一大高原であることが明らかにされ、一九一一年ノルウェー人アムンゼンは遂に南極に達し、英人スコットは約一ヶ月遅れて同じく南極に達したが、歸途高原上で遂に斃れ、最近又米國のバードは飛行機で南極上を飛翔した。南極大陸近海に於ては英諾獨船と伍して我が捕鯨船は國際的に活躍してゐる。



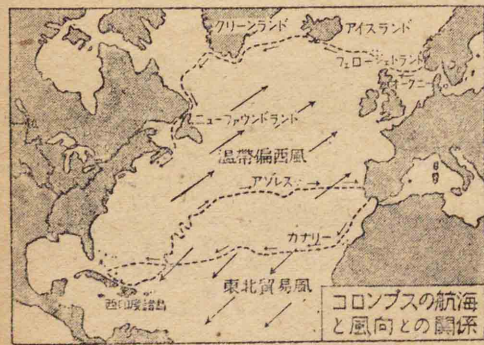
南極探檢中のアムンゼン



## 第八篇 大西洋と太平洋

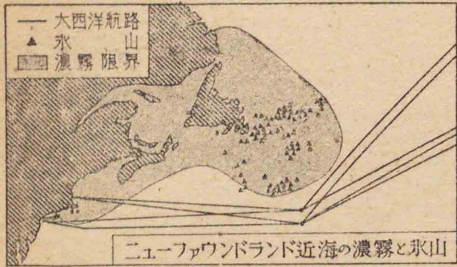
大西洋及太平洋を中心とした諸國民の活動は顯著で、大西洋は既に歐米人によつて十分よく利用され、勢力圏も略確定してゐるが、太平洋は今や世界列強の競争場裡と化し、この間に處して我が國は歐米民族及國家に對するアジアの代表としてこの太平洋問題に關し重大な關心をもつてゐる。この問題についても我が國は八紘一宇の肇國の精神により世界の平和に貢獻する使命を果さなければならぬ。

**大西洋** 北大西洋は歐米兩大陸、南大西洋はアフリカ・南米兩大陸の間を占め、メキシコ灣流、カナリヤ海流、北赤道海流、ブラドル海流、南赤道海流、ブラジル海流、ベンゲラ海流等の暖流・寒流が略環狀に流れ、貿易風偏西風が吹いてゐる。コロンプスの新大陸



発見の往航は航海に於てはカナリヤ島海流貿易風の力により、歸航は偏西風とアゾレス島によつて容易に到達し得たのである。

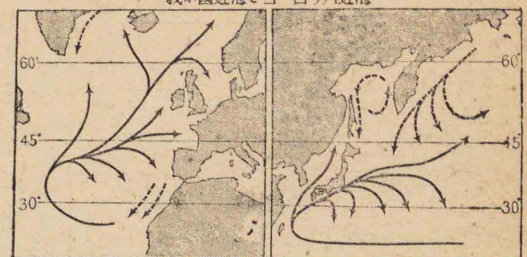
リヴァプール・ロンドン・サンザンプトン・ハンブルグ・シエルブル等の歐洲諸港から北米諸港、殊にニューヨークへの航路約三〇〇〇哩は最も殷賑を極める。従つてその最短距離に當るニューファウンドランド島近海の濃霧と氷山とが常に警戒される。歐洲からパナマ直通航路の外、南米東岸航路がある。兩米の石油・小麥・棉花・羊毛・肉類等の衣食の原料品・燃料等と歐洲の工業品との交易のためこれ等の航路が発達した。渡洋航空路も歐洲と兩米との間に各直通線が開けてゐる。歐洲列強は完全にアフリカ大陸をその支配下に置き、北米合衆國は汎米主義のもとに中・南米の指導者となり、カナダと共同防衛を結び、ニューファウンドランド島・バミューダ島及西印度諸島は西半球防衛の海軍基地とし



●ドイツ航空路一三〇頁参照



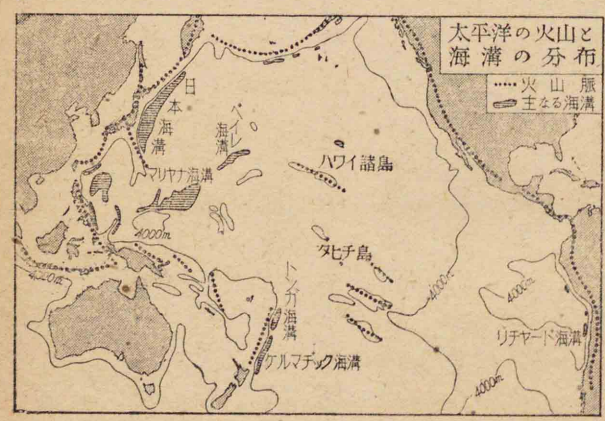
我が國近海とヨーロッパ近海



で注意を惹いてゐる。

**太平洋**、北太平洋はアジア・北米兩大陸、南太平洋はオーストラリア・南米兩大陸の間を占め、日本海流・黒潮・カリフォルニア海流・北赤道海流・千島海流（親潮）・南赤道海流・東オーストラリア海流・ルー海流等の寒暖兩流が略環狀に流れ、貿易風・偏西風等の吹くことは大西洋と類似した。東亞沿海が季節風の卓越することが異なる。太平洋の周縁には火山と海溝とが列狀に並んでゐることも特色である。

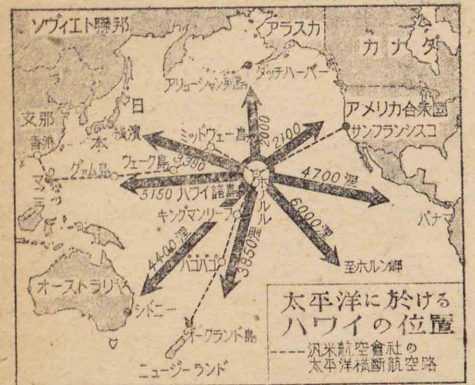
北太平洋に於ける北方航路は香港・上海・神戸・横濱等からホノルル・横濱・ホノルル間約三、〇〇〇哩



經由サンフランシスコ（ホノルル・桑港間約二、〇〇〇哩）又はシヤトルへ、南方航路はロスアン

ゼルス又はパナマを経て南北兩米東岸に直通し、我が汽船會社は米加等と並んでこれ等の航路に就航してゐる。南太平洋に於ては我が國から内外南洋を経てシドニーへ、ホノルルからフィジー諸島（スツア）を経てシドニーへ、サンフランシスコからサモア・フィジーを経てシドニーへ、パナマからソシエテ諸島・ニュージラランドを経てシドニーへ到る諸航路がある。渡洋航空路はサンフランシスコからハワイ・ミッドウェー・ウェーク・グアム・フィリピン諸島を経て香港へ至る線と、ハワイからシドニーへ至る線とが開けてゐる。歐洲から英佛蘭經營の航空路は南洋に至り、英

- 太平洋諸島 一〇八頁参照
- 對米航路 二〇一頁参照
- 南米航路 二一七頁参照
- 濠洲航路 一〇六頁参照

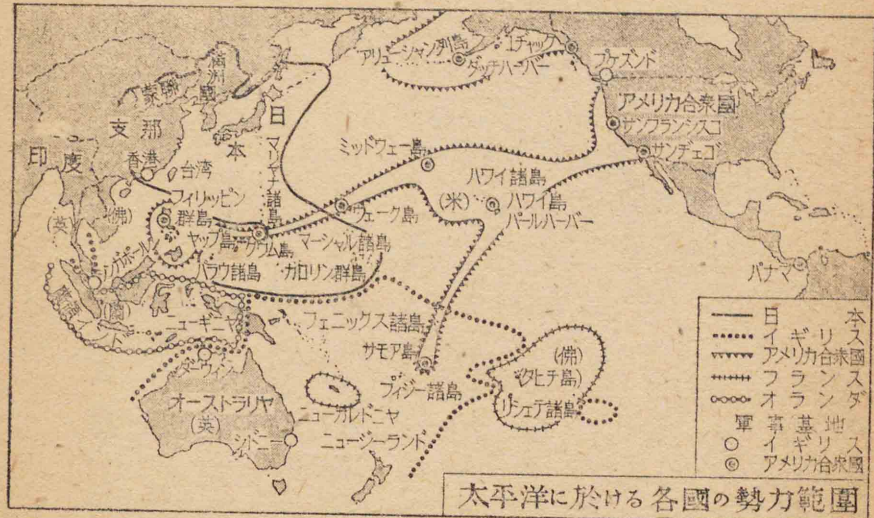


● 米國航空路 一九六頁参照  
 ● 英國航空路 一五四頁参照



南太平洋は英國の勢力範圍で、外南洋は、蘭英佛と日米との新舊勢力が交錯してゐる。海軍根據地又は海軍航空基地として我が南洋群島、ハワイ諸島、眞珠灣、グアム島、カヴィテ(比島)、香港、シンガポール、シドニー、オークランド、フエニックス諸島(カントン島)、エンダーベリー島、ガラパゴス島、パナマ、サンチェゴ、サンフランシスコ、ピュージェットサウンド、シトカ、コチャック島(アラスカ)、ウナラスカ島(ダッチハーバー)等が注意を惹くのは、複雑國際情勢を反映し、我が南洋群島の存在が西太平洋制海權確保の上に如何に重大な意義を有するかを知ることが出来る。

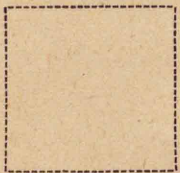
一 我が南洋群島の國防上の價値を説  
 二 太平洋に於ける列強の勢力圏に就いて説述せよ。



國線は更に濠洲へ、ソ聯線は極東の太平洋岸に達してゐる。海底電線は南北兩洋にそれ〴〵横斷線があり、我が小笠原經由の線はグム島に於て幹線と連絡する。これ等各種の交通通信線は洋上のハワイ島に於て集中し、フィジー島がこれに次いでゐる。これ等を通じて兩岸の大陸の生絲、綿織物、絹織物、茶、石油、鐵機械、ゴム、錫、小麥、羊毛、肉類等が洋上を交互に輸送されてゐる。大西洋との相違の一つは兩海岸の隔りが大なこと、従つて貯炭所、寄航地、航空港、海底電線伸繼所等として島の利用價値が大なことである。北太平洋の西半は我が國、東半は米國、



昭昭昭昭昭  
 和和和和和  
 十十十十十  
 八八六六二二  
 年年年年年  
 八八十八八  
 月月月月月  
 行三十一  
 五十五二十六  
 日日日日日  
 修修修修發印  
 正正正正  
 五五四四  
 版版版版  
 發印發印  
 行刷行刷行刷



發  
行  
所

著  
作  
者

田  
中  
啓  
爾

發  
行  
者

東京都神田區岩本町三番地  
 中等學校教科書株式會社

印  
刷  
者

東京都蒲田區仲六郷一丁目五番地  
 株式會社 三省堂蒲田工場  
 代表者 岸本玄男

女子	外國地理
中等	(改訂版)
定價	金壹圓拾貳錢

(略名) 三省田中女外地

東京都神田區岩本町三番地  
 中等學校教科書株式會社  
 日本出版會會員番號 一七五三二

配給元 日本出版配給株式會社  
 東京都神田區淡路町二ノ九







縣女  
三ノ二  
須磨

広島大学図書

2000034391

